

注3

大学番号：私018

[平成27年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

東北福祉大学

教育学部 教育学科

教育学部 教育学科 初等教育専攻

教育学部 教育学科 中等教育専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 梅檀学園

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務部

職名・氏名 キョウムフブチョウ 教務部部長 アベ 阿部 ユウジ 裕二

電話番号 022-233-3111

（夜間） 022-717-3315

F A X 022-301-1280

e-mail yuji@tfu-mail.tfu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

<教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	30
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	32
5. 教員組織の状況	34
6. 留意事項等に対する履行状況等	80
7. その他全般的事項	81

<初等教育専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	87
2. 授業科目の概要	91
3. 施設・設備の整備状況、経費	103
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	105
5. 教員組織の状況	107
6. 留意事項等に対する履行状況等	118
7. その他全般的事項	119

<中等教育専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	125
2. 授業科目の概要	129
3. 施設・設備の整備状況、経費	142
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	144
5. 教員組織の状況	146
6. 留意事項等に対する履行状況等	156
7. その他全般的事項	157

別添資料

別紙1) -1~3	「FD委員会規定」
別紙2) -1~2	「学科等FD委員会規定」
別紙3) -1~2	「就業規則（関連部分）」
別紙4) -1~2	「嘱託教授任用規定」

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人梅檀学園

(2) 大学名

東北福祉大学

(3) 大学の位置

〒981-8522

宮城県仙台市青葉区国見1丁目8番-1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コジマ タイドウ) 小島 泰道 (平成24年11月)	(キミコウベ ケンシ) 喜美候部 謙史 (平成27年5月)	前理事長が平成27年4月30日付けで辞任のため(27)
		(ヨコイ シンシ) 横井 真之 (平成29年2月)	平成29年2月16日をもって前理事長が辞任したため(29)
学長	(ハギノ コウキ) 萩野 浩基 (平成6年7月)	(オオタニ テツオ) 大谷 哲夫 (平成27年12月)	前学長が平成27年10月18日に死亡のため(28)
学部長	(キムラ ススム) 木村 進 (平成27年4月)	(オカダ セイイチ) 岡田 清一 (平成27年4月)	木村進、東北福祉大学大学院教育学研究科科長就任のため(27)
		(テラシタ アキラ) 寺下 明 (平成29年4月)	平成29年3月をもって前学部長が、任期満了となったため(29)
学科長等	(オカダ セイイチ) 岡田 清一 (平成27年4月)	(イシハラ スナオ) 石原 直 (平成29年4月)	平成29年3月をもって前学科長が、任期満了となったため(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学関係	4年	250人	— 年次人	1,000人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	250人 () [-]	— () [-]	250人 () [-]	— () [-]	250人 () [-]	— () [-]	250人 () [-]	— () [-]	1.12倍	
志願者数	1,780人 () [-]	— () [-]	1,571人 () [-]	— () [-]	1,926人 () [-]	— () [-]	1,685人 () [-]	— () [-]		
受験者数	1,759人 () [-]	— () [-]	1,534人 () [-]	— () [-]	1,906人 () [-]	— () [-]	1,630人 () [-]	— () [-]		
合格者数	581人 () [-]	— () [-]	648人 () [-]	— () [-]	622人 () [-]	— () [-]	609人 () [-]	— () [-]		
B 入学者数	266人 () [-]	— () [-]	302人 () [-]	— () [-]	274人 () [-]	— () [-]	288人 () [-]	— () [-]		
入学定員超過率 B/A	1.06		1.20		1.09		1.15			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	265人 [-] (-)	[-] (-)	300人 [-] (-)	[-] (-)	274人 [-] (-)	[-] (-)	288人 [-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		264人 [-] (-)	[-] (-)	300人 [-] (-)	[-] (-)	273人 [-] (1) (-)	[-] (-)	
3年次			/		/		261人 [-] (-)	[-] (-)	293人 [-] (-)
4年次	/						/		/
計			265人 [-] (-)	[-] (-)	564人 [-] (-)	[-] (-)			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	265 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	一身上の都合により(1名)
平成28年度	564 人	3 人	平成27年度	1 人	0 人	体調不良のため(1名)
			平成28年度	2 人	0 人	進路変更のため(1名)、一身上の都合のため(1名)
平成29年度	835 人	13 人	平成27年度	6 人	0 人	就職のため(1名)、進路変更のため(2名)、経済的理由のため(1名)、転科のため(2名)、
			平成28年度	5 人	0 人	家業に従事のため(1名)、経済的理由のため(1名)、就職のため(1名)、体調不良のため(1名)、進路変更のため(1名)
			平成29年度	2 人	0 人	進路変更のため(1名)、体調不良のため(1名)
平成30年度	1,111 人	2 人	平成27年度	1 人	0 人	転籍(通信教育部)のため(1名)
			平成28年度	1 人	0 人	進路変更のため(1名)
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	2,775 人	19 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{265} = \boxed{0.37} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{564} = \boxed{0.53} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{13}{835} = \boxed{1.55} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{1111} = \boxed{0.18} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎教育科目 教養の基礎知	リエゾンゼミⅠ（基礎演習）	1通	2			7	10	4				
	禅のこころ	1通	1									4
	仏教入門（建学の精神・理念を含む）	1後		2								1
	哲学入門	1前・後		2								1
	倫理学入門	1前		2								1
	宗教学入門	1前		2								1
	文学入門	1前・後		2								1
	芸術入門	1後		2								1
	ことばと表現	1前・後		2		1						3
	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1前	2									4
	英語Ⅱ	1後	2									4
	英語Ⅲ	2通	2									3
	実用英語A	2前		1								2
	実用英語B	2後		1								2
	実用英語C	2前		1								2
	実用英語D	2後		1								2
	実用英語E	2前		1								2
	実用英語F	2後		1								2
	ドイツ語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1前		2								4
	ドイツ語Ⅱ	1後		2								4
	ドイツ語Ⅲ	2通		2								3
	実用ドイツ語A	2通		2								1
	実用ドイツ語B	2通		2								1
	ハンブル講座Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1前		2								3
	ハンブル講座Ⅱ	1後		2								3
	ハンブル講座Ⅲ	2通		2								3
	実用ハンブル講座A	2通		2								1
	実用ハンブル講座B	2通		2								1
	中国語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1前		2								3
	中国語Ⅱ	1後		2								3
	中国語Ⅲ	2通		2								3
	実用中国語A	2通		2								1
	実用中国語B	2通		2								1
日本語Ⅰ	1前		2								1	
日本語Ⅱ	1後		2								1	
日本語Ⅲ	2通		2								1	
実用日本語A	2通		2								1	
実用日本語B	2通		2								1	
グローバルコミュニケーションⅠ	1通		2								3	
グローバルコミュニケーションⅡ	2通		2								3	
異文化コミュニケーション	2前		2								1	
アジア共同体に向けて	1前		2								1	
総合基礎教育科目	生物学の基礎	1前・後		2								2
	化学の基礎	1後		2								1
	物理学の基礎	1後		2								1
	数学の基礎	1前		2								1
	統計学の基礎	1前・後		2								1
	心理学の基礎	1前・後		2								1
	地理学の基礎	1前・後		2			1					
	現代社会を見る眼	1前		2								1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎教育科目 教養の基礎知	リエゾンゼミⅠ（基礎演習）	1通	2				5	12	3			
	キャンパスライフ入門	1通	1					2	2			
	禅のこころ	1通	1									6
	仏教入門（建学の精神・理念を含む）	1前		2								1
	哲学入門	1前・後		2								1
	倫理学入門	1前		2					1			
	知的財産入門	1後		2								1
	宗教学入門	1前		2								1
	文学入門	1前・後		2								1
	芸術入門	1後		2								1
	ことばと表現	1前・後		2		1						4
	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1前	2						1			23
	英語Ⅱ	1後	2						1			23
	英語Ⅲ	2通	2									22
	実用英語A	2前		1								6
	実用英語B	2後		1								6
	実用英語C	2前		1								6
	実用英語D	2後		1								6
	実用英語E	2前		1								6
	実用英語F	2後		1								6
	ドイツ語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1前		2								4
	ドイツ語Ⅱ	1後		2								4
	ドイツ語Ⅲ	2通		2								3
	実用ドイツ語A	2通		2								1
	実用ドイツ語B	2通		2								1
	ハンブル講座Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1前		2								3
	ハンブル講座Ⅱ	1後		2								3
	ハンブル講座Ⅲ	2通		2								3
	実用ハンブル講座A	2通		2								1
	実用ハンブル講座B	2通		2								1
	中国語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1前		2								3
	中国語Ⅱ	1後		2								3
	中国語Ⅲ	2通		2								3
実用中国語A	2通		2								1	
実用中国語B	2通		2								1	
日本語Ⅰ	1前		2								2	
日本語Ⅱ	1後		2								2	
日本語Ⅲ	2通		2								1	
実用日本語A	2通		2								1	
実用日本語B	2通		2								1	
グローバルコミュニケーションⅠ	1通		2								2	
グローバルコミュニケーションⅡ	2通		2								2	
異文化コミュニケーション	2前		2								1	
アジア共同体に向けて	1前		2			1	1				14	
総合基礎教育科目	生物学の基礎	1前・後		2								2
	化学の基礎	1後		2								1
	物理学の基礎	1前		2					1			1
	天文学の基礎	1後		2								1
	数学の基礎	1前		2								1
	統計学の基礎	1前・後		2								2
	心理学の基礎	1前・後		2					1			2
地理学の基礎	1前・後		2				1	1				
現代社会を見る眼	1前		2				1				3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科学知	現代福祉の基礎	1前・後		2								1
	法の基礎	1前		2								2
	政治学の基礎	1前		2		1						
	経済学の基礎	1前・後		2								3
	社会学の基礎	1前・後		2								1
	歴史学の基礎	1前・後		2		2						1
	教育学の基礎	1前	2			2						
総合基礎教育科目 実践知	情報処理論	1前・後		2								1
	情報処理実習	1通	2									6
	情報処理応用実習	1通		2								3
	キャリアデザインⅠ	1前		2				1				8
	キャリアデザインⅡ	2前		2								7
	キャリアデザインⅢ	3前		2								3
	インターンシップⅠ	2通		4				1				6
	インターンシップⅡ	3通		4				1				6
	Study Abroad A(アジア)	1通		1								1
	Study Abroad B(北米)	1通		1								1
	Study Abroad C(オセアニア)	1通		1								1
	Study Abroad D(ヨーロッパ)	1通		1			1					1
	Study Abroad E(その他の地域)	1通		1								1
	リスクと社会	1後		2								1
	災害と社会	1後		2								1
	情報と社会	1後		2								1
	ボランティア論	1前・後		2								1
福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む)	1通		1								1	
福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む)	2通		1								1	
福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む)	3通		1								1	
福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)	4通		1								1	
総合基礎教育科目 健康知	スポーツⅠ	1通	2				1			1		8
	スポーツⅡ	2前		1			1					2
	スポーツⅢ	3前		1								2
	健康科学	1前・後		2		1	1					
	食と生活	1後		2		1						
	生涯スポーツ論	1前・後		2								3
	レクリエーション論	1前		2								1
	スポーツ社会学	2前		2					1			
	スポーツの心理学	2前		2								1
	スポーツ医学	2前		2								1
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論A	1後		2		1						
	教育学概論B	1後		2		1						
	教育社会学概論A	2前		2		1						1
	教育社会学概論B	2前		2								1
	教育社会学各論	2後		2		1						2
	家族社会学	2前		2								1
	生涯学習概論	1通		4		1						
	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通		4		1						1
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1					1
	生涯発達心理学概論	2前		2		1						1
	生涯発達心理学各論	2後		2		1						1
	教育心理学概論A	2前		2			1					
	教育心理学概論B	2前		2		1						2
	教育心理学各論	2後		2		1	1					2
	教職論A	1前		2		1						
	教職論B	1前		2			1					
	教育法規の研究	2前		2								1
	教育史	2通		4		1						
保育原理	1前		2		1						1	
保育者論	1後		2		1						1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科学知	現代福祉の基礎	1前・後		2								2
	法の基礎	1前		2								3
	政治学の基礎	1前		2		1						
	経済学の基礎	1前・後		2								1
	社会学の基礎	1前・後		2								1
	歴史学の基礎	1前・後		2				3				
	教育学の基礎	1前	2					2				
総合基礎教育科目 実践知	情報処理論	1前・後		2								2
	情報処理実習	1通	2									7
	情報処理応用実習	1通		2								2
	キャリアデザインⅠ	1前		2					1			1
	キャリアデザインⅡ	2前		2								4
	キャリアデザインⅢ	3前		2								4
	インターンシップⅠ	2通		4				1	1			16
	インターンシップⅡ	3通		4				1	1			16
	Study Abroad A(アジア)	1通		1								3
	Study Abroad B(北米)	1通		1				1				
	Study Abroad C(オセアニア)	1通		1								3
	Study Abroad D(ヨーロッパ)	1通		1			2	1				1
	Study Abroad E(その他の地域)	1通		1			1					
	リスクと社会	1後		2								1
	災害と社会	1後		2								1
	情報と社会	1後		2								4
	ボランティア論	1前・後		2								1
福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む)	1通		1				1					
福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む)	2通		1				1				1	
福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む)	3通		1				1					
福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)	4通		1				1					
総合基礎教育科目 健康知	スポーツⅠ	1通	2						1			13
	スポーツⅡ	2前		1					1			2
	スポーツⅢ	3前		1								2
	健康科学	1前・後		2					1			1
	食と生活	1後		2				1				
	生涯スポーツ論	1前・後		2								2
	レクリエーション論	1前		2								1
	スポーツ社会学	2前		2								1
	スポーツの心理学	2前		2								1
	スポーツ医学	2前		2								2
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論A	1後		2		1						
	教育学概論B	1後		2		1						
	教育社会学概論A	2前		2		1						1
	教育社会学概論B	2前		2								1
	教育社会学各論	2後		2		1						2
	家族社会学	2前		2								1
	生涯学習概論	1通		4		1						
	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通		4		1						1
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1					3
	生涯発達心理学概論	2前		2		1						2
	生涯発達心理学各論	2後		2		1						1
	教育心理学概論A	2前		2			1					
	教育心理学概論B	2前		2		1						2
	教育心理学各論	2後		2		1	1					2
	教職論A	1前		2		1						
	教職論B	1前		2			1					
	教育情報学の基礎	2前		2						1		
	教育法規の研究	2前		2								1
教育史	2通		4		1							
保育原理	1前		2		1						1	
保育者論	1後		2		1				1		1	
特別支援教育の基礎	2前	2							2	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育実践活動Ⅰ	1通		1			2					
	教育実践活動Ⅱ	2通		1		1	1					
	教育実践活動Ⅲ	3通		1		2						
	教育実践活動Ⅳ	4通		1		2						
専門基幹科目L・C群	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)	2通		2		1	1					
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通		2		11	10	5				
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	3通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	4通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	3通		2			1	2				
	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	4通		2			1	2				
	地域マネジメント論	2前		2							2	
	地域活性化マネジメント論	2前		2		1		1			9	
	地域共創福祉論	2後		2							1	
	地域共創実学教育Ⅰ	1通		4							1	
	地域共創実学教育Ⅱ	2通		4							1	
	地域共創実学教育Ⅲ	3通		4							1	
	地域共創実学教育Ⅳ	4通		4							1	
	卒業論文	4通		4		20	12	5				
専門基幹科目A群	保育相談支援	3前		1		1						
	幼児理解と教育相談	3後		2			1					
	社会的養護	2前		2			1					
	社会的養護内容	3前		1						1		
	保育の心理学Ⅰ	2前		2		1						
	保育の心理学Ⅱ	2後		1		1						
	子どもの保健Ⅰ	1通		4							2	
	子どもの保健Ⅱ	2後		1							2	
	子どもの食と栄養	1通		2		1						
	乳児保育	2通		2							2	
	障害児保育	2通		2		1						
	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A	2前・後		2		1					1	
	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B	2前		2		1						
	教育相談の理論と方法A	3前		2			1					
	教育相談の理論と方法B	3前		2							1	
	道徳の指導法A	2前		2			1				1	
	道徳の指導法B	2前		2		1						
	道徳の教材研究	2後		2			1					
特別活動の指導法A	2前		2							1		
特別活動の指導法B	2前		2							1		
生徒指導論(進路指導を含む)A	3前		2		1	1						
生徒指導論(進路指導を含む)B	3前		2							1		
教職実践演習	4後		2		8	6	2					
	保育課程論	3前		2		1						1
	保育内容総論	2後		1		1						1
	保育内容研究(健康)	2通		2		1						
	保育内容研究(環境)	2後		1								1
	保育内容研究(人間関係)	2通		2								1
	保育内容研究(言葉)	2通		2								2
	保育内容研究(表現・音楽)	2通		2			1					1
	保育内容研究(表現・美術)	2通		2			1					
	保育内容研究(運動あそび)	2通		2							2	
	保育実習指導Ⅰ	2通		2		1	2					2
	保育実習指導Ⅱ	3前		1		1	2					2
	保育実習Ⅰ(保育所・入所施設)	3前		4		1	2					2
	保育実習Ⅱ(保育所)	3後		2		1	2					2
	保育実践演習	3通		2		1	2					2
	初等教育課程の意義と編成	2前		2		1						1
	国語科概論(書写を含む)	1後		2		1	1					
	国語科の指導法	2前		2		1	1					2
	国語科教材研究	2後		2		1	1					2
社会科概論	1後		2			1					1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育実践活動Ⅰ	1通		1		1	4					
	教育実践活動Ⅱ	2通		1			3					
	教育実践活動Ⅲ	3通		1		1	3	1				
	教育実践活動Ⅳ	4通		1		2	2	1				
専門基幹科目L・C群	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)	2通		2		1	2					4
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通		2		16	18	5				
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	3通	2			19	17	5				
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	4通	2			19	15	5				
	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	3通		2		8	5					
	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	4通		2		8	3	2				1
	地域マネジメント論	2前		2								1
	地域活性化マネジメント論	2前		2								12
	地域共創福祉論	2後		2								1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通		4						1		5
	地域共創実学教育Ⅱ	2通		4								6
	地域共創実学教育Ⅲ	3通		4								7
	地域共創実学教育Ⅳ	4通		4								1
	卒業論文	4通		4		19	15	4				
専門基幹科目A群	保育相談支援	3前		1								1
	幼児理解と教育相談	3後		2			1					
	社会的養護	2前		2								1
	社会的養護内容	3前		1		1						1
	保育の心理学Ⅰ	2前		2			1					1
	保育の心理学Ⅱ	2後		1			1					1
	子どもの保健Ⅰ	1通		4								3
	子どもの保健Ⅱ	2後		1								3
	子どもの食と栄養	1通		2		1						1
	乳児保育	2通		2								2
	障害児保育	2通		2		1						1
	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A	2前・後		2		1			1			
	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B	2前		2		1						
	教育デジタルコンテンツ作成論	2後		2					1			
	教育相談の理論と方法A	3前		2			1					
	教育相談の理論と方法B	3前		2								1
	道徳の指導法A	2前		2			1	2				1
	道徳の指導法B	2前		2		1						
道徳の教材研究	2後		2				1					
特別活動の指導法A	2前		2								2	
特別活動の指導法B	2前		2								1	
生徒指導・進路指導論A	3前		2				1					
生徒指導・進路指導論B	3前		2				1					
教職実践演習	4後		2			9	8					
	保育課程論	3前		2		1						1
	保育内容総論	2後		1		1		1				1
	保育内容研究(健康)	2通		2		1						
	保育内容研究(環境)	2後		1								1
	保育内容研究(人間関係)	2通		2								1
	保育内容研究(言葉)	2通		2								2
	保育内容研究(表現・音楽)	2通		2				1				1
	保育内容研究(表現・美術)	2通		2				1				
	保育内容研究(運動あそび)	2通		2								2
	保育実習指導Ⅰ	2通		2		1	2					11
	保育実習指導Ⅱ	3前		1		1	2					11
	保育実習Ⅰ(保育所・入所施設)	3前		4		1	2					4
	保育実習Ⅱ(保育所)	3後		2		1	2					4
	保育実践演習	3通		2		1	2					4
	初等教育課程の意義と編成	2前		2		1		2				1
	国語科概論(書写を含む)	1後		2		1	1					
	国語科の指導法	2前		2		1	1					
	国語科教材研究	2後		2		1	1					1
社会科概論	1後		2			3	1				1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基幹科目B群	社会科の指導法	2前		2			1				2
	社会科教材研究	2後		2			1				2
	地域研究法(調査を含む)	3通		2		1					
	算数概論	1後		2		1					
	算数科の指導法	2前		2		1					2
	算数科教材研究	2後		2		1					2
	理科概論	2前		2							2
	理科の指導法	2後		2		1					2
	理科教材研究(実験)	3前		2		1					3
	生活科概論	2前		2		1	1				
	生活科の指導法	2後		2		1	1				
	生活科教材研究	3前		2		1	1				
	表現技術I(音楽)	1通		2					1		3
	表現技術II(音楽)	2通		2					1		3
	音楽科の指導法	2前		2					1		
	音楽教育	3前		2					1		
	表現技術III(美術)	2前・後		1		1	1				
	図画工作科の指導法	2後		2		1					
	児童美術論	3前		2		1					
	家庭科概論	2前		2							1
	家庭科の指導法	2後		2							2
	家庭科教材研究	3前		2							1
	表現技術IV(体育実技)	2前		1			1				
	体育科の指導法	2後		2			1				1
	体育科教材研究	3前		2							1
	幼児運動論	2前		2			1				
	英語活動概論	2前		2							1
	英語活動の指導法	2後		2							1
	英語活動の教材研究	3前		2							1
	NIE活動論	2前		2							1
NIE活動の教材研究	2後		2							1	
教育実習(幼・小)の事前指導	2後		1		3	3	1			4	
教育実習(幼・小)の事前事後指導	3前		1		3	3	1			4	
教育実習(幼・小)	3通		4		3	3	1			4	
専門基幹科目C群	中等社会科の教育課程(高校地理公民の教育課程を含む)	2前		2		2					
	社会科の指導法I(地理歴史)	2後		2		2					
	社会科の指導法II(公民)	2後		2							1
	地理歴史科指導法	2後		2		1					
	公民科指導法	2後		2							1
	人文地理学	2通		4							1
	自然地理学	2通		4				1			
	地誌	2通		4				1			
	日本史概説	1通		4		2					
	日本文化史	2通		4		1					
	日本仏教史	2前		2							1
	日本思想史	3通		4		1					
	日本美術史	3前		2				1			
	東洋史概説	2後		2							1
	西洋史概説	2前・後		2		1					
	西洋美術史	3後		2							1
	社会学原論	2通		4							3
	福祉社会学	1前		2							3
	経済原論(国際経済を含む)	2通		4							2
	政治学原論(国際政治を含む)	2通		4		1					1
	法学概論(国際法を含む)	2前		2							1
	倫理学概論	2通		4							1
	心理学概論	2前		2					1		2
	宗教学概論	2後		2							1
	仏教学概論	2通		4							1
	教育実習(中・高)の事前指導	2後		1		3					
	教育実習(中・高)の事前事後指導	3前		1		3					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基幹科目B群	社会科の指導法	2前		2			1				1
	社会科教材研究	2後		2			1				2
	地域研究法(調査を含む)	3通		2		1					
	算数概論	1後		2		1			1		
	算数科の指導法	2前		2		1		1			
	算数科教材研究	2後		2		1		1			1
	理科概論	2前		2				1			1
	理科の指導法	2後		2		1		1			
	理科教材研究(実験)	3前		2		1		1			1
	生活科概論	2前		2				1			
	生活科の指導法	2後		2				1			1
	生活科教材研究	3前		2				1			1
	表現技術I(音楽)	1通		2					1		3
	表現技術II(音楽)	2通		2					1		3
	音楽科の指導法	2前		2					1		
	音楽教育	3前		2					1		2
	表現技術III(美術)	2前・後		1		1	1				
	図画工作科の指導法	2後		2		1					1
	児童美術論	3前		2		1					
	家庭科概論	2前		2					1		
	家庭科の指導法	2後		2					1		1
	家庭科教材研究	3前		2							1
	表現技術IV(体育実技)	2前		1			1				
	体育科の指導法	2後		2			1				1
	体育科教材研究	3前		2							1
	幼児運動論	2前		2			1				
	英語活動概論	2前		2					1		2
	英語活動の指導法	2後		2					2		
	英語活動の教材研究	3前		2					1		1
	NIE活動論	2前		2							1
NIE活動の教材研究	2後		2							1	
教育実習(幼・小)の事前指導	2後		1		3	3	5			4	
教育実習(幼・小)の事前事後指導	3前		1		4	3				4	
教育実習(幼・小)	3通		4		4	5				4	
専門基幹科目C群	中等教育課程の意義と編成	2前		2			1				
	社会科の指導法I(地理歴史)	2通		4			1	1			
	社会科の指導法II(公民)	2通		4							1
	地理歴史科指導法	2通		4		1		1			
	公民科指導法	2通		4							1
	人文地理学	2通		4							1
	自然地理学	2通		4				1			
	地誌	2通		4				1			
	日本史概説	1通		4		2					
	日本文化史	2通		4		1			1		
	日本仏教史	2前		2							1
	日本思想史	3通		4					1		
	日本美術史	3前		2					1		
	東洋史概説	2後		2							1
	西洋史概説	2前・後		2		1					
	西洋美術史	3後		2							1
	社会学原論	2通		4							3
	福祉社会学	1前		2							3
	経済原論(国際経済を含む)	2通		4							2
	政治学原論(国際政治を含む)	2通		4		1					1
	法学概論(国際法を含む)	2前		2							1
	倫理学概論	2通		4							1
	心理学概論	2前		2					1		2
	宗教学概論	2後		2							1
	仏教学概論	2通		4							1
	教育実習(中・高)の事前指導	2後		1		1	2				
	教育実習(中・高)の事前事後指導	3前		1		1	2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育実習(中・高)	3通		4		3						
専門基幹科目D群	特別支援教育総論	2通	4				1					
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2			1					1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2								2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2								2
	聴覚障害者の心理	3前		2		1						
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2								1
	知的障害者教育論	3前		2		1						
	肢体不自由者教育論	2前		2								1
	病弱者教育論	2後		2								1
	聴覚障害者教育論	3通		4		1						
	重複障害者教育総論	3後		2								1
	発達障害者教育総論	3前		2					1			
	自閉症者教育総論	3後		2		1						
	言語障害者教育総論	3後		2		1						
	視覚障害者教育総論	2前		2								1
	特別支援教育実習の事前指導	3後		1		2	1					
特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		2	1						
特別支援教育実習	4通		2		2	1						
専門発展科目	障害児の学習支援	3後	2					1				
	学校経営と学校図書館	3前		2								1
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3前		2								1
	児童精神医学	3後		2								1
	睡眠健康科学	2前		2			1					
	家庭支援論	2前		2								1
	人間関係論	2前		2								1
	家族心理学	2前		2								1
	思春期の発達と臨床	2後		2								1
	臨床心理学	2前・後		2								3
	発達臨床心理学	2後		2			1					
	発達心理アセスメント概論	2後		2								1
	健康心理アセスメント概論	3前		2								1
	健康心理カウンセリング概論	3前		2			1					
	災害概論	2通		4								1
	地域減災論 I	2前		2								1
原子力災害論	2前		2								1	
社会貢献論	2前		2								1	
教育学特殊講義 I	2前		2								1	
教育学特殊講義 II	3前		2								1	
教育学特殊講義 III	3後		2								1	
社会教育計画	社会教育計画	2通		4		1						
	現代社会と社会教育 I	3前		2								2
	現代社会と社会教育 II	3前		2								3
	社会教育実習(野外活動実習等を含む)	3通		2		1			1			1
	社会教育課題研究	4通		2		1			1			1
	社会教育史	1後		2								1
	社会教育行政論	2前		2								1
	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2		1						
	博物館経営論	3後		2								1
	博物館資料論	2後		2								1
	博物館資料保存論	3前		2								1
	博物館展示論	3前		2					1			
	博物館教育論	3前		2								1
	博物館情報・メディア論	3前		2								1
	博物館実習	3通		3		1			1			2
	文化財概論	2前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育実習(中・高)	3通		4		1	2					
専門基幹科目D群	特別支援教育総論	2後		2		2	1					
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2			1					2
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2				1				2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2				1				2
	聴覚障害者の心理	3前		2		1			1			
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2								1
	知的障害者教育論	3前		2		1						
	肢体不自由者教育論	2前		2		1	1					
	病弱者教育論	2後		2		1						
	聴覚障害者教育論	3通		4		1	1					
	重複障害者教育総論	3後		2		1	1					
	発達障害者教育総論	3前		2		1	1					
	自閉症者教育総論	3後		2		1						
	言語障害者教育総論	3後		2		2			1			
	視覚障害者教育総論	2前		2								1
	特別支援教育実習の事前指導	3後		1		2	3	1				
特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		1	3	1					
特別支援教育実習	4通		2		1	3	1					
専門発展科目	障害児の学習支援	3前	2			1	1					
	学校経営と学校図書館	3前		2			1					
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3前		2				1				
	児童精神医学	3後		2								1
	睡眠健康科学	2前		2			1					
	家庭支援論	2前		2								2
	人間関係論	2前		2								1
	家族心理学	2前		2								1
	思春期の発達と臨床	2後		2								1
	臨床心理学	2前・後		2								2
	発達臨床心理学	2後		2			1					
	発達心理アセスメント概論	2後		2								1
	健康心理アセスメント概論	3前		2								1
	健康心理カウンセリング概論	3前		2				1				
	災害概論	2通		4								1
	地域減災論 I	2前		2			1					9
原子力災害論	2後		2								1	
社会貢献論	2前		2								1	
教育学特殊講義 I	2前		2					1			1	
教育学特殊講義 II	3前		2					1			1	
教育学特殊講義 III	3後		2								1	
社会教育計画	社会教育計画	2通		4		1						
	現代社会と社会教育 I	3前		2								1
	現代社会と社会教育 II	3前		2								1
	社会教育実習(野外活動実習等を含む)	3通		2		1			1			1
	社会教育課題研究	4通		2		1			2			1
	社会教育史	1後		2								1
	社会教育行政論	2前		2								1
	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2		1						
	博物館経営論	3後		2								1
	博物館資料論	2後		2								1
	博物館資料保存論	3前		2								1
	博物館展示論	3前		2						1		
	博物館教育論	3前		2								1
	博物館情報・メディア論	3前		2								1
	博物館実習	3通		3		1			2			4
	文化財概論	2前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目	文化財各論 (文化財保護法を含む)	2後		2		1						3
	考古学概論	2前		2		1						
	考古学各論	2後		2		2						
	考古学特殊講義	3前		2		1						1
	考古学実習	3通		2		1						1
	古文書学概論	2前		2		1						
	古文書学各論	2後		2		1						
	日本史特殊講義	3後		2								1
	古文書学実習	3通		2		1						
	民俗学概論	2前		2								1
	民俗学各論	2後		2								1
	民俗学特殊講義	3前		2			1					
	民俗学実習	3前		2			1					
	文化人類学	2前		2			1					
	美術史特殊講義	3後		2				1				
	美術実習	3通		2					1			
	図書館概論	2前		2				1				
	図書館情報技術論	3前		2								1
	図書館制度・経営論	3前		2								1
	図書館サービス概論	2前		2								1
	情報サービス論	2後		2				1				
	児童サービス論	3前		2								1
	情報サービス演習	3通		2				1				
	図書館情報資源概論	3前		2				1				
	情報資源組織論	2後		2				1				
	情報資源組織演習	3通		2				1				
	図書館基礎特論	3前		1								1
	図書館サービス特論	3後		1								1
	図書館情報資源特論	3後		1								1
	図書・図書館史	3後		1								1
図書館施設論	3後		1								1	
図書館総合演習	3後		1				1					
図書館実習	3通		1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目	文化財各論 (文化財保護法を含む)	2後		2		1						3
	考古学概論	2前		2		1						
	考古学各論	2後		2		1						
	考古学特殊講義	3前		2		1						
	考古学実習	3通		2		1						1
	古文書学概論	2前		2		1						
	古文書学各論	2後		2		1						
	日本史特殊講義	3後		2								1
	古文書学実習	3通		2		1						
	民俗学概論	2前		2								1
	民俗学各論	2後		2								1
	民俗学特殊講義	3前		2			1					
	民俗学実習	3前		2			1					
	文化人類学	2前		2			1					
	美術史特殊講義	3後		2				1				
	美術実習	3通		2					1			
	図書館概論	2前		2				1				
	図書館情報技術論	3前		2								1
	図書館制度・経営論	3前		2								1
	図書館サービス概論	2前		2					1			
	情報サービス論	2後		2				1				
	児童サービス論	2前		2								1
	情報サービス演習	3通		2					1			
	図書館情報資源概論	3前		2				1				
	情報資源組織論	2後		2				1				
	情報資源組織演習	3通		2				1				
	図書館基礎特論	3前		1								1
	図書館サービス特論	3後		1								1
	図書館情報資源特論	3後		1								1
	図書・図書館史	3後		1								1
図書館施設論	3後		1								1	
図書館総合演習	3後		1					1				
図書館実習	3通		1					1				

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎教育科	リエゾンゼミ I (基礎演習)	1通	2			8	9	6	1			5
	禅のこころ	1通	1									
	仏教入門 (建学の精神・理念を含む)	1前	2									1
	哲学入門	1前・後	2									1
	倫理学入門	1前	2					1				
	宗教学入門	1前	2									1
	文学入門	1前・後	2									1
	芸術入門	1後	2									1
	ことばと表現	1前・後	2			1						4
	英語 I (コミュニケーションを含む)	1前	2									10
	英語 II	1後	2									10
	英語 III	2通	2									3
	実用英語 A	2前	1									2
	実用英語 B	2後	1									2
	実用英語 C	2前	1									2
	実用英語 D	2後	1									2
	実用英語 E	2前	1									2
	実用英語 F	2後	1									2
	ドイツ語 I (コミュニケーションを含む)	1前	2									4
	ドイツ語 II	1後	2									4

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎教育科	リエゾンゼミ I (基礎演習)	1通	2			8	11	4	1			5
	禅のこころ	1通	1									
	仏教入門 (建学の精神・理念を含む)	1前	2									1
	哲学入門	1前・後	2									1
	倫理学入門	1前	2					1				
	知的財産入門	1後	2									1
	宗教学入門	1前	2									1
	文学入門	1前・後	2									1
	芸術入門	1後	2									1
	ことばと表現	1前・後	2									3
	英語 I (コミュニケーションを含む)	1前	2									21
	英語 II	1後	2									21
	英語 III	2通	2									22
	実用英語 A	2前	1									6
	実用英語 B	2後	1									6
	実用英語 C	2前	1									6
	実用英語 D	2後	1									6
	実用英語 E	2前	1									6
	実用英語 F	2後	1									6
	ドイツ語 I (コミュニケーションを含む)	1前	2									4
ドイツ語 II	1後	2									4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
目 教養の基礎知	ドイツ語Ⅲ	2通		2								3	
	実用ドイツ語A	2通		2								1	
	実用ドイツ語B	2通		2								1	
	ハングル講座Ⅰ (コミュニケーションを含む)	1前		2								3	
	ハングル講座Ⅱ	1後		2								3	
	ハングル講座Ⅲ	2通		2								3	
	実用ハングル講座A	2通		2								1	
	実用ハングル講座B	2通		2								1	
	中国語Ⅰ (コミュニケーションを含む)	1前		2								3	
	中国語Ⅱ	1後		2								3	
	中国語Ⅲ	2通		2								3	
	実用中国語A	2通		2								1	
	実用中国語B	2通		2								1	
	日本語Ⅰ	1前		2								1	
	日本語Ⅱ	1後		2								1	
	日本語Ⅲ	2通		2								1	
	実用日本語A	2通		2								1	
	実用日本語B	2通		2								1	
	グローバルコミュニケーションⅠ	1通		2								2	
グローバルコミュニケーションⅡ	2通		2								3		
異文化コミュニケーション	2前		2								1		
アジア共同体に向けて	1前		2								1		
総合基礎教育科目 科学知	生物学の基礎	1前・後		2								2	
	化学の基礎	1後		2								1	
	物理学の基礎	1前		2			1						
	天文学の基礎	1後		2								1	
	数学の基礎	1前		2								1	
	統計学の基礎	1前・後		2								1	
	心理学の基礎	1前・後		2			1					2	
	地理学の基礎	1前・後		2			1						
	現代社会を見る眼	1前		2								1	
	現代福祉の基礎	1前・後		2								2	
	法の基礎	1前		2								2	
	政治学の基礎	1前		2		1							
	経済学の基礎	1前・後		2								3	
	社会学の基礎	1前・後		2								1	
	歴史学の基礎	1前・後		2			2					1	
	教育学の基礎	1前	2			2							
	総合基礎教育科目 実践知	情報処理論	1前・後		2								2
		情報処理実習	1通	2									7
		情報処理応用実習	1通		2								2
キャリアデザインⅠ		1前		2			1					16	
キャリアデザインⅡ		2前		2								7	
キャリアデザインⅢ		3前		2								3	
インターンシップⅠ		2通		4			1					6	
インターンシップⅡ		3通		4			1					6	
Study Abroad A(アジア)		1通		1								3	
Study Abroad B(北米)		1通		1								1	
Study Abroad C(オセアニア)		1通		1								3	
Study Abroad D(ヨーロッパ)		1通		1			1					2	
Study Abroad E(その他の地域)		1通		1								1	
リスクと社会		1後		2								1	
災害と社会		1後		2								1	
情報と社会		1後		2								6	
ボランティア論		1前・後		2								1	
福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む)		1通		1								1	
福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む)		2通		1								1	
福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む)	3通		1								1		
福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)	4通		1								1		
総合	スポーツⅠ	1通	2				1		1			12	
	スポーツⅡ	2前		1			1					2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
目 教養の基礎知	ドイツ語Ⅲ	2通		2								3	
	実用ドイツ語A	2通		2								1	
	実用ドイツ語B	2通		2								1	
	ハングル講座Ⅰ (コミュニケーションを含む)	1前		2								3	
	ハングル講座Ⅱ	1後		2								3	
	ハングル講座Ⅲ	2通		2								3	
	実用ハングル講座A	2通		2								1	
	実用ハングル講座B	2通		2								1	
	中国語Ⅰ (コミュニケーションを含む)	1前		2								3	
	中国語Ⅱ	1後		2								3	
	中国語Ⅲ	2通		2								3	
	実用中国語A	2通		2								1	
	実用中国語B	2通		2								1	
	日本語Ⅰ	1前		2								1	
	日本語Ⅱ	1後		2								1	
	日本語Ⅲ	2通		2								1	
	実用日本語A	2通		2								1	
	実用日本語B	2通		2								1	
	グローバルコミュニケーションⅠ	1通		2								2	
グローバルコミュニケーションⅡ	2通		2								2		
異文化コミュニケーション	2前		2								1		
アジア共同体に向けて	1前		2								8		
総合基礎教育科目 科学知	生物学の基礎	1前・後		2								2	
	化学の基礎	1後		2								1	
	物理学の基礎	1前		2				1					
	天文学の基礎	1後		2								1	
	数学の基礎	1前		2								1	
	統計学の基礎	1前・後		2								2	
	心理学の基礎	1前・後		2				1				2	
	地理学の基礎	1前・後		2				1					
	現代社会を見る眼	1前		2								1	
	現代福祉の基礎	1前・後		2								2	
	法の基礎	1前		2								2	
	政治学の基礎	1前		2					1				
	経済学の基礎	1前・後		2								3	
	社会学の基礎	1前・後		2								1	
	歴史学の基礎	1前・後		2						2			
	教育学の基礎	1前	2						2				
	総合基礎教育科目 実践知	情報処理論	1前・後		2								2
		情報処理実習	1通	2									7
		情報処理応用実習	1通		2								2
キャリアデザインⅠ		1前		2					1			12	
キャリアデザインⅡ		2前		2								6	
キャリアデザインⅢ		3前		2								3	
インターンシップⅠ		2通		4				1				20	
インターンシップⅡ		3通		4				1				6	
Study Abroad A(アジア)		1通		1								3	
Study Abroad B(北米)		1通		1								2	
Study Abroad C(オセアニア)		1通		1								2	
Study Abroad D(ヨーロッパ)		1通		1				1				3	
Study Abroad E(その他の地域)		1通		1					1			1	
リスクと社会		1後		2								1	
災害と社会		1後		2								1	
情報と社会		1後		2								6	
ボランティア論		1前・後		2								1	
福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む)		1通		1						1			
福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む)		2通		1						1			
福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む)	3通		1								1		
福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)	4通		1								1		
総合	スポーツⅠ	1通	2						1			11	
	スポーツⅡ	2前		1					1			2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目 健康知	スポーツⅢ	3前		1							2
	健康科学	1前・後		2			1				8
	食と生活	1後		2		1					
	生涯スポーツ論	1前・後		2							3
	レクリエーション論	1前		2							1
	スポーツ社会学	2前		2					1		
	スポーツの心理学	2前		2							1
スポーツ医学	2前		2							1	
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2								1
	教育学概論A	1後		2		1					
	教育学概論B	1後		2		1					
	教育社会学概論A	2前		2		1					
	教育社会学概論B	2前		2							1
	教育社会学各論	2後		2		1					2
	家族社会学	2前		2							1
	生涯学習概論	1通		4		1					
	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通		4		1					
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1				2
	生涯発達心理学概論	2前		2		1					1
	生涯発達心理学各論	2後		2		1					1
	教育心理学概論A	2前		2			1				
	教育心理学概論B	2前		2		1					
	教育心理学各論	2後		2		1	1				1
	教職論A	1前		2		1					
	教職論B	1前		2			1				
	教育法規の研究	2前		2							1
	教育史	2通		4		1					
	保育原理	1前		2		1					1
	保育者論	1後		2		1					
	特別支援教育の基礎	2前	2			1					
教育実践活動Ⅰ	1通		1		1	2					
教育実践活動Ⅱ	2通		1		1	1					
教育実践活動Ⅲ	3通		1		2						
教育実践活動Ⅳ	4通		1		2						
専門基幹科目L・C群	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)	2通		2		1	2				
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通		2		11	10	5			
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	3通	2			20	11	3			
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	4通	2			20	11	3			
	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	3通		2			1	2			
	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	4通		2			1	2			
	地域マネジメント論	2前		2							2
	地域活性化マネジメント論	2前		2		1		1			9
	地域共創福祉論	2後		2							1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通		4					1		4
	地域共創実学教育Ⅱ	2通		4							1
	地域共創実学教育Ⅲ	3通		4							1
	地域共創実学教育Ⅳ	4通		4							1
	卒業論文	4通		4		20	12	5			
専門基幹	保育相談支援	3前		1		1					
	幼児理解と教育相談	3後		2			1				
	社会的養護	2前		2			1				
	社会的養護内容	3前		1							1
	保育の心理学Ⅰ	2前		2		1					
	保育の心理学Ⅱ	2後		1		1					
	子どもの保健Ⅰ	1通		4							2
	子どもの保健Ⅱ	2後		1							2
	子どもの食と栄養	1通		2		1					1
	乳児保育	2通		2							2
	障害児保育	2通		2		1					1
	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A	2前・後		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目 健康知	スポーツⅢ	3前		1							2
	健康科学	1前・後		2			2	1			7
	食と生活	1後		2		1					
	生涯スポーツ論	1前・後		2							3
	レクリエーション論	1前		2							1
	スポーツ社会学	2前		2							1
	スポーツの心理学	2前		2							1
スポーツ医学	2前		2							1	
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2								1
	教育学概論A	1後		2		1					
	教育学概論B	1後		2		1					
	教育社会学概論A	2前		2		1					
	教育社会学概論B	2前		2							1
	教育社会学各論	2後		2		1					2
	家族社会学	2前		2							1
	生涯学習概論	1通		4		1					
	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通		4		1					1
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1				2
	生涯発達心理学概論	2前		2		1					1
	生涯発達心理学各論	2後		2		1					1
	教育心理学概論A	2前		2			1				
	教育心理学概論B	2前		2		1					
	教育心理学各論	2後		2		1	1				1
	教職論A	1前		2		1					
	教職論B	1前		2			1				
	教育情報学の基礎	2前		2				1			
	教育法規の研究	2前		2							1
	教育史	2通		4		1					
	保育原理	1前		2		1					1
	保育者論	1後		2		1					2
特別支援教育の基礎	2前	2					2				
教育実践活動Ⅰ	1通		1			2	1				
教育実践活動Ⅱ	2通		1			1					
教育実践活動Ⅲ	3通		1		2						
教育実践活動Ⅳ	4通		1		2						
専門基幹科目L・C群	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)	2通		2		1	2				5
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通		2			16	13	6		
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	3通	2			20	11	3			
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	4通	2			20	11	3			
	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	3通		2			1	2			
	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	4通		2			1	2			
	地域マネジメント論	2前		2							2
	地域活性化マネジメント論	2前		2		1		1			12
	地域共創福祉論	2後		2							1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通		4							5
	地域共創実学教育Ⅱ	2通		4							7
	地域共創実学教育Ⅲ	3通		4							1
	地域共創実学教育Ⅳ	4通		4							1
	卒業論文	4通		4		20	12	5			
専門基幹	保育相談支援	3前		1		1					
	幼児理解と教育相談	3後		2			1				
	社会的養護	2前		2			1				
	社会的養護内容	3前		1							1
	保育の心理学Ⅰ	2前		2		1					
	保育の心理学Ⅱ	2後		1		1					4
	子どもの保健Ⅰ	1通		4							2
	子どもの保健Ⅱ	2後		1							2
	子どもの食と栄養	1通		2		1					1
	乳児保育	2通		2							2
	障害児保育	2通		2		1					1
	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A	2前・後		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
IT科目A群	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B	2前		2		1						
	教育相談の理論と方法A	3前		2			1					
	教育相談の理論と方法B	3前		2							1	
	道徳の指導法A	2前		2								1
	道徳の指導法B	2前		2		1						
	道徳の教材研究	2後		2								1
	特別活動の指導法A	2前		2								2
	特別活動の指導法B	2前		2								1
	生徒指導論(進路指導を含む)A	3前		2			1					
	生徒指導論(進路指導を含む)B	3前		2								1
教職実践演習	4後		2		7	6	2					
専門基幹科目B群	保育課程論	3前		2		1						1
	保育内容総論	2後		1		1						1
	保育内容研究(健康)	2通		2		1						
	保育内容研究(環境)	2後		1		1						1
	保育内容研究(人間関係)	2通		2								1
	保育内容研究(言葉)	2通		2		1						1
	保育内容研究(表現・音楽)	2通		2			1					1
	保育内容研究(表現・美術)	2通		2			1					1
	保育内容研究(運動あそび)	2通		2								2
	保育実習指導I	2通		2		1	2					2
	保育実習指導II	3前		1		1	2					2
	保育実習I	3前		4		1	2					2
	保育実習II	3後		2		1	2					2
	保育実践演習	3通		2		1	2					2
	初等教育課程の意義と編成	2前		2								1
	国語科概論(書写を含む)	1後		2		1	1					
	国語科の指導法	2前		2		1						1
	国語科教材研究	2後		2		1	1					2
	社会科概論	1後		2		1	1	1				
	社会科の指導法	2前		2			1					2
	社会科教材研究	2後		2			1					2
	地域研究法(調査を含む)	3通		2		1						
	算数概論	1後		2		1						
	算数科の指導法	2前		2		1						1
	算数科教材研究	2後		2		1						2
	理科概論	2前		2								1
	理科の指導法	2後		2		1						
	理科教材研究(実験)	3前		2		1						2
	生活科概論	2前		2		1	1					
	生活科の指導法	2後		2		1	1					
	生活科教材研究	3前		2		1	1					
	表現技術I(音楽)	1通		2					1			3
	表現技術II(音楽)	2通		2					1			3
	音楽科の指導法	2前		2					1			
	音楽教育	3前		2					1			
	表現技術III(美術)	2前・後		1		1	1					
	図画工作科の指導法	2後		2		1						1
児童美術論	3前		2		1							
家庭科概論	2前		2								1	
家庭科の指導法	2後		2								2	
家庭科教材研究	3前		2								1	
表現技術IV(体育実技)	2前		1			1						
体育科の指導法	2後		2			1					1	
体育科教材研究	3前		2								1	
幼児運動論	2前		2			1						
英語活動概論	2前		2								1	
英語活動の指導法	2後		2								1	
英語活動の教材研究	3前		2								1	
NIE活動論	2前		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
IT科目A群	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B	2前		2		1						
	教育デジタルコンテンツ作成論	2後		2					1			
	教育相談の理論と方法A	3前		2			1					
	教育相談の理論と方法B	3前		2								1
	道徳の指導法A	2前		2				1	2			1
	道徳の指導法B	2前		2		1						
	道徳の教材研究	2後		2								1
	特別活動の指導法A	2前		2								2
	特別活動の指導法B	2前		2								1
	生徒指導論(進路指導を含む)A	3前		2					1			
生徒指導論(進路指導を含む)B	3前		2								1	
教職実践演習	4後		2		10	8	2					
専門基幹科目B群	保育課程論	3前		2		1						1
	保育内容総論	2後		1		1						2
	保育内容研究(健康)	2通		2		1						
	保育内容研究(環境)	2後		1		1						1
	保育内容研究(人間関係)	2通		2								1
	保育内容研究(言葉)	2通		2		1						1
	保育内容研究(表現・音楽)	2通		2			1					1
	保育内容研究(表現・美術)	2通		2			1					1
	保育内容研究(運動あそび)	2通		2								2
	保育実習指導I	2通		2		1	2					2
	保育実習指導II	3前		1		1	2					2
	保育実習I	3前		4		1	2					2
	保育実習II	3後		2		1	2					2
	保育実践演習	3通		2		1	2					2
	初等教育課程の意義と編成	2前		2								1
	国語科概論(書写を含む)	1後		2		1	1					
	国語科の指導法	2前		2		1						2
	国語科教材研究	2後		2		1	1					2
	社会科概論	1後		2		1	1	1				
	社会科の指導法	2前		2			1					2
	社会科教材研究	2後		2			1					2
	地域研究法(調査を含む)	3通		2		1						
	算数概論	1後		2		1						
	算数科の指導法	2前		2		1				1		
	算数科教材研究	2後		2		1				1		1
	理科概論	2前		2								1
	理科の指導法	2後		2		1						1
	理科教材研究(実験)	3前		2		1				1		2
	生活科概論	2前		2		1	1					
	生活科の指導法	2後		2		1	1					
	生活科教材研究	3前		2		1	1					
	表現技術I(音楽)	1通		2							1	3
	表現技術II(音楽)	2通		2							1	3
	音楽科の指導法	2前		2							1	
	音楽教育	3前		2							1	
	表現技術III(美術)	2前・後		1		1	1				1	
	図画工作科の指導法	2後		2		1						1
児童美術論	3前		2		1							
家庭科概論	2前		2								1	
家庭科の指導法	2後		2								2	
家庭科教材研究	3前		2								1	
表現技術IV(体育実技)	2前		1			1				1		
体育科の指導法	2後		2			1					1	
体育科教材研究	3前		2								1	
幼児運動論	2前		2			1						
英語活動概論	2前		2								1	
英語活動の指導法	2後		2								1	
英語活動の教材研究	3前		2								1	
NIE活動論	2前		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	N I E活動の教材研究	2後		2							1
	教育実習(幼・小)の事前指導	2後		1		3	3	1			
	教育実習(幼・小)の事前事後指導	3前		1		3	3	1			
	教育実習(幼・小)	3通		4		3	3	1			
専門基幹科目C群	中等教育課程の意義と編成	2前		2							1
	社会科の指導法I(地理歴史)	2通		4							
	社会科の指導法II(公民)	2通		4							1
	地理歴史科指導法	2通		4		1					1
	公民科指導法	2通		4							1
	人文地理学	2通		4							1
	自然地理学	2通		4				1			
	地誌	2通		4				1			
	日本史概説	1通		4		2					
	日本文化史	2通		4				1			
	日本仏教史	2前		2							1
	日本思想史	3通		4				1			
	日本美術史	3前		2				1			
	東洋史概説	2後		2							1
	西洋史概説	2前・後		2		1					
	西洋美術史	3後		2							1
	社会学原論	2通		4							1
	福祉社会学	1前		2							2
	経済原論(国際経済を含む)	2通		4							3
	政治学原論(国際政治を含む)	2通		4		1					1
	法学概論(国際法を含む)	2前		2							1
	倫理学概論	2通		4							1
	心理学概論	2前		2				1			2
	宗教学概論	2後		2							1
	仏教学概論	2通		4							1
	教育実習(中・高)の事前指導	2後		1		3					
教育実習(中・高)の事前事後指導	3前		1		3						
教育実習(中・高)	3通		4		3						
専門基幹科目D群	特別支援教育総論	2後		2		1					
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2			1				1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2							2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2							2
	聴覚障害者の心理	3前		2		1					
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2							1
	知的障害者教育論	3前		2		1					
	肢体不自由者教育論	2前		2							1
	病弱者教育論	2後		2							1
	聴覚障害者教育論	3通		2		1					
	重複障害者教育総論	3後		2							1
	発達障害者教育総論	3前		2				1			
	自閉症者教育総論	3後		2		1					
	言語障害者教育総論	3後		2		1					
	視覚障害者教育総論	2前		2							1
	特別支援教育実習の事前指導	3後		1		2					
	特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		2					
特別支援教育実習	4通		2		2						
	障害児の学習支援	3前	2					1			
	学校経営と学校図書館	3前		2							1
	学校図書館メディアの構成	3前		2							1
	学習指導と学校図書館	3前		2							1
	読書と豊かな人間性	3後		2							1
	情報メディアの活用	3前		2							1
	児童精神医学	3後		2							1
	睡眠健康科学	2前		2		1					
	家庭支援論	2前		2							1
	人間関係論	2前		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	N I E活動の教材研究	2後		2							1
	教育実習(幼・小)の事前指導	2後		1		2	3				
	教育実習(幼・小)の事前事後指導	3前		1		3	3	1			
	教育実習(幼・小)	3通		4		3	3	1			
専門基幹科目C群	中等教育課程の意義と編成	2前		2		1					
	社会科の指導法I(地理歴史)	2通		4		2					
	社会科の指導法II(公民)	2通		4							1
	地理歴史科指導法	2通		4		2	1				
	公民科指導法	2通		4							1
	人文地理学	2通		4							1
	自然地理学	2通		4				1			
	地誌	2通		4				1			
	日本史概説	1通		4		2					
	日本文化史	2通		4					1		
	日本仏教史	2前		2							1
	日本思想史	3通		4				1			
	日本美術史	3前		2				1			
	東洋史概説	2後		2							1
	西洋史概説	2前・後		2		1					
	西洋美術史	3後		2							1
	社会学原論	2通		4							3
	福祉社会学	1前		2							3
	経済原論(国際経済を含む)	2通		4							3
	政治学原論(国際政治を含む)	2通		4		1					1
	法学概論(国際法を含む)	2前		2							1
	倫理学概論	2通		4							1
	心理学概論	2前		2				1			2
	宗教学概論	2後		2							1
	仏教学概論	2通		4							1
	教育実習(中・高)の事前指導	2後		1		1	2				
教育実習(中・高)の事前事後指導	3前		1		3						
教育実習(中・高)	3通		4		3						
専門基幹科目D群	特別支援教育総論	2後		2		2					
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2			1				1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2							2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2							2
	聴覚障害者の心理	3前		2		1					
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2							1
	知的障害者教育論	3前		2		1					
	肢体不自由者教育論	2前		2		1	1				
	病弱者教育論	2後		2		1					1
	聴覚障害者教育論	3通		4		1					
	重複障害者教育総論	3後		2							1
	発達障害者教育総論	3前		2					1		
	自閉症者教育総論	3後		2		1					
	言語障害者教育総論	3後		2		1					
	視覚障害者教育総論	2前		2							1
	特別支援教育実習の事前指導	3後		1		2					
	特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		2					
特別支援教育実習	4通		2		2						
	障害児の学習支援	3前	2					1			
	学校経営と学校図書館	3前		2							1
	学校図書館メディアの構成	3前		2							1
	学習指導と学校図書館	3前		2							1
	読書と豊かな人間性	3後		2							1
	情報メディアの活用	3前		2							1
	児童精神医学	3後		2							1
	睡眠健康科学	2前		2		1					
	家庭支援論	2前		2							2
	人間関係論	2前		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 発展科目	家族心理学	2前		2								1	
	思春期の発達と臨床	2後		2								1	
	臨床心理学	2前・後		2								3	
	発達臨床心理学	2後		2			1						
	発達心理アセスメント概論	2後		2								1	
	健康心理アセスメント概論	3前		2								1	
	健康心理カウンセリング概論	3前		2			1						
	災害概論	2通		4									1
	地域減災論 I	2前		2									1
	原子力災害論	2前		2									1
	社会貢献論	2前		2									1
	教育学特殊講義 I	2前		2									1
	教育学特殊講義 II	3前		2									1
教育学特殊講義 III	3後		2									1	
関連科目	社会教育計画	2通		4		1							
	現代社会と社会教育 I	3前		2								2	
	現代社会と社会教育 II	3前		2								3	
	社会教育実習 (野外活動実習等を含む)	3通		2		1			1			1	
	社会教育課題研究	4通		2		1			1			1	
	社会教育史	1後		2								1	
	社会教育行政論	2前		2								1	
	社会教育施設論	2前		2								1	
	博物館概論	2前		2		1							
	博物館経営論	3後		2								1	
	博物館資料論	2後		2								1	
	博物館資料保存論	3前		2								1	
	博物館展示論	3前		2					1				
	博物館教育論	3前		2								1	
	博物館情報・メディア論	3前		2								1	
	博物館実習	3通		3		1			1			2	
	文化財概論	2前		2		1							
	文化財各論 (文化財保護法を含む)	2後		2		1						3	
	考古学概論	2前		2		1							
	考古学各論	2後		2		2							
	考古学特殊講義	3前		2		1						1	
	考古学実習	3通		2		1						1	
	古文書学概論	2前		2		1							
	古文書学各論	2後		2		1							
	日本史特殊講義	3後		2								1	
	古文書学実習	3通		2		1							
	民俗学概論	2前		2								1	
	民俗学各論	2後		2								1	
	民俗学特殊講義	3前		2			1						
	民俗学実習	3前		2			1						
	文化人類学	2前		2			1						
	美術史特殊講義	3後		2				1					
	美術実習	3通		2					1				
	図書館概論	2前		2				1					
	図書館情報技術論	3前		2								1	
	図書館制度・経営論	3前		2								1	
	図書館サービス概論	2前		2								1	
	情報サービス論	2後		2				1					
	児童サービス論	2前		2								1	
	情報サービス演習	3通		2				1					
	図書館情報資源概論	3前		2				1					
	情報資源組織論	2後		2				1					
	情報資源組織演習	3通		2				1					
図書館基礎特論	3前		1								1		
図書館サービス特論	3後		1								1		
図書館情報資源特論	3後		1								1		
図書・図書館史	3後		1								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 発展科目	家族心理学	2前		2								1	
	思春期の発達と臨床	2後		2								1	
	臨床心理学	2前・後		2								3	
	発達臨床心理学	2後		2			1						
	発達心理アセスメント概論	2後		2								1	
	健康心理アセスメント概論	3前		2								1	
	健康心理カウンセリング概論	3前		2			1						
	災害概論	2通		4									1
	地域減災論 I	2前		2				1					9
	原子力災害論	2前		2									1
	社会貢献論	2前		2								1	
	教育学特殊講義 I	2前		2					1				
	教育学特殊講義 II	3前		2								1	
教育学特殊講義 III	3後		2								1		
関連科目	社会教育計画	2通		4			1						
	現代社会と社会教育 I	3前		2								2	
	現代社会と社会教育 II	3前		2								3	
	社会教育実習 (野外活動実習等を含む)	3通		2		1			1			1	
	社会教育課題研究	4通		2		1			1			1	
	社会教育史	1後		2								1	
	社会教育行政論	2前		2								1	
	社会教育施設論	2前		2								1	
	博物館概論	2前		2		1							
	博物館経営論	3後		2								1	
	博物館資料論	2後		2								1	
	博物館資料保存論	3前		2								1	
	博物館展示論	3前		2						1			
	博物館教育論	3前		2								1	
	博物館情報・メディア論	3前		2								1	
	博物館実習	3通		3		1			1			2	
	文化財概論	2前		2		1							
	文化財各論 (文化財保護法を含む)	2後		2		1						3	
	考古学概論	2前		2		1							
	考古学各論	2後		2		2							
	考古学特殊講義	3前		2		1						1	
	考古学実習	3通		2		1						1	
	古文書学概論	2前		2		1							
	古文書学各論	2後		2		1							
	日本史特殊講義	3後		2								1	
	古文書学実習	3通		2		1							
	民俗学概論	2前		2								1	
	民俗学各論	2後		2								1	
	民俗学特殊講義	3前		2					1				
	民俗学実習	3前		2					1				
	文化人類学	2前		2					1				
	美術史特殊講義	3後		2						1			
	美術実習	3通		2							1		
	図書館概論	2前		2				1					
	図書館情報技術論	3前		2								1	
	図書館制度・経営論	3前		2								1	
	図書館サービス概論	2前		2								1	
	情報サービス論	2後		2						1			
	児童サービス論	2前		2								1	
	情報サービス演習	3通		2						1			
	図書館情報資源概論	3前		2						1			
	情報資源組織論	2後		2						1			
	情報資源組織演習	3通		2						1			
図書館基礎特論	3前		1								1		
図書館サービス特論	3後		1								1		
図書館情報資源特論	3後		1								1		
図書・図書館史	3後		1								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	図書館施設論	3後		1								1
	図書館総合演習	3後		1				1				
	図書館実習	3通		1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	図書館施設論	3後		1								1
	図書館総合演習	3後		1				1				
	図書館実習	3通		1				1				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎教育科目 教養の基礎知	リエゾンゼミ I (基礎演習)	1通	2			7	13	4				
	キャンパスライフ入門	1通	1			1	1	2				
	禅のこころ	1通	1									5
	仏教入門 (建学の精神・理念を含む)	1前		2								1
	哲学入門	1前・後		2								1
	倫理学入門	1前		2				1				
	知的財産入門	1後		2								1
	宗教学入門	1前		2								1
	文学入門	1前・後		2								1
	芸術入門	1後		2								1
	ことばと表現	1前・後		2								2
	英語 I (コミュニケーションを含む)	1前	2				1					20
	英語 II	1後	2				1					20
	英語 III	2通	2									22
	実用英語 A	2前		1								6
	実用英語 B	2後		1								6
	実用英語 C	2前		1								6
	実用英語 D	2後		1								6
	実用英語 E	2前		1								6
	実用英語 F	2後		1								6
	ドイツ語 I (コミュニケーションを含む)	1前	2									4
	ドイツ語 II	1後	2									4
	ドイツ語 III	2通	2									3
	実用ドイツ語 A	2通	2									1
	実用ドイツ語 B	2通	2									1
	ハンガール講座 I (コミュニケーションを含む)	1前	2									3
	ハンガール講座 II	1後	2									3
	ハンガール講座 III	2通	2									3
	実用ハンガール講座 A	2通	2									1
	実用ハンガール講座 B	2通	2									1
	中国語 I (コミュニケーションを含む)	1前	2									3
	中国語 II	1後	2									3
	中国語 III	2通	2									3
	実用中国語 A	2通	2									1
	実用中国語 B	2通	2									1
	日本語 I	1前	2									2
	日本語 II	1後	2									2
	日本語 III	2通	2									1
	実用日本語 A	2通	2									1
	実用日本語 B	2通	2									1
	グローバルコミュニケーション I	1通	2									2
	グローバルコミュニケーション II	2通	2									2
	異文化コミュニケーション	2前	2									1
	アジア共同体に向けて	1前	2				1	1				13
	総合基礎教育科目 科学知	生物学の基礎	1前・後		2							
化学の基礎		1後		2								1
物理学の基礎		1前		2				1				1
天文学の基礎		1後		2								1
数学の基礎		1前		2								1
統計学の基礎		1前・後		2								2
心理学の基礎		1前・後		2				1				2
地理学の基礎		1前・後		2			1					
現代社会を見る眼		1前		2								1
現代福祉の基礎		1前・後		2								2
法の基礎		1前		2								2
政治学の基礎		1前		2			1					
経済学の基礎		1前・後		2								3
社会学の基礎		1前・後		2								1
歴史学の基礎	1前・後		2			3					1	
教育学の基礎	1前	2				2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎教育科目 実践知	情報処理論	1前・後		2								2
	情報処理実習	1通	2									6
	情報処理応用実習	1通		2								2
	キャリアデザインⅠ	1前		2				1				12
	キャリアデザインⅡ	2前		2								4
	キャリアデザインⅢ	3前		2								3
	インターンシップⅠ	2通		4			1					18
	インターンシップⅡ	3通		4			1					18
	Study Abroad A(アジア)	1通		1								4
	Study Abroad B(北米)	1通		1								1
	Study Abroad C(オセアニア)	1通		1								3
	Study Abroad D(ヨーロッパ)	1通		1		1	1					4
	Study Abroad E(その他の地域)	1通		1		1						
	リスクと社会	1後		2								1
	災害と社会	1後		2								1
	情報と社会	1後		2								5
ボランティア論	1前・後		2								1	
福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む)	1通		1		1							
福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む)	2通		1		1							
福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む)	3通		1		1							
福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)	4通		1								1	
総合基礎教育科目 健康知	スポーツⅠ	1通	2				1					13
	スポーツⅡ	2前		1			1					2
	スポーツⅢ	3前		1								2
	健康科学	1前・後		2			1					1
	食と生活	1後		2		1						
	生涯スポーツ論	1前・後		2								3
	レクリエーション論	1前		2								1
	スポーツ社会学	2前		2								
	スポーツの心理学	2前		2								1
	スポーツ医学	2前		2								3
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論A	1後		2		1						
	教育学概論B	1後		2		1						
	教育社会学概論A	2前		2		1						1
	教育社会学概論B	2前		2								2
	教育社会学各論	2後		2		1						1
	家族社会学	2前		2								
	生涯学習概論	1通		4		1						
	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通		4		1						1
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1					3
	生涯発達心理学概論	2前		2								1
	生涯発達心理学各論	2後		2								
	教育心理学概論A	2前		2		1						1
	教育心理学概論B	2前		2		2						1
	教育心理学各論	2後		2		1						
	教職論A	1前		2		1						
	教職論B	1前		2		1						
	教育情報学の基礎	2前		2				1				
	教育法規の研究	2前		2								1
	教育史	2通		4		1						
	保育原理	1前		2		1						1
	保育者論	1後		2		1						2
特別支援教育の基礎	2前	2			1	2	1					
教育実践活動Ⅰ	1通		1		1	3						
教育実践活動Ⅱ	2通		1			4						
教育実践活動Ⅲ	3通		1		1	2	1					
教育実践活動Ⅳ	4通		1		2	1	1					
専門基礎科目 L・C	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)	2通		2		1	2					4
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通		2		17	15	5				
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	3通	2			22	17	6				
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	4通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	3通		2		9	3	3				
	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	4通		2			1	2				
	地域マネジメント論	2前		2								2
	地域活性化マネジメント論	2前		2								14
	地域共創福祉論	2後		2								1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通		4								5

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
群	地域共創実学教育Ⅱ	2通		4								6
	地域共創実学教育Ⅲ	3通		4								6
	地域共創実学教育Ⅳ	4通		4								1
	卒業論文	4通		4		20	12	5				
専門基幹科目A群	保育相談支援	3前		1								1
	幼児理解と教育相談	3後		2			1					
	社会的養護	2前		2			1					
	社会的養護内容	3前		1								1
	保育の心理学Ⅰ	2前		2								1
	保育の心理学Ⅱ	2後		1								2
	子どもの保健Ⅰ	1通		4								2
	子どもの保健Ⅱ	2後		1								2
	子どもの食と栄養	1通		2		1						1
	乳児保育	2通		2								2
	障害児保育	2通		2								1
	教育デジタルコンテンツ作成論	2後		2				1				
	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A	2前・後		2		1						
	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B	2前		2		1						
	教育相談の理論と方法A	3前		2		1						
	教育相談の理論と方法B	3前		2								1
	道徳の指導法A	2前		2								2
	道徳の指導法B	2前		2		1						
	道徳の教材研究	2後		2								1
	特別活動の指導法A	2前		2								2
	特別活動の指導法B	2前		2								1
生徒指導・進路指導論A	3前		2			1						
生徒指導・進路指導論B	3前		2			1					1	
教職実践演習	4後		2		9	8						
専門基幹科目B群	保育課程論	3前		2		1						1
	保育内容総論	2後		1		1						2
	保育内容研究(健康)	2通		2		1						
	保育内容研究(環境)	2後		1								1
	保育内容研究(人間関係)	2通		2								1
	保育内容研究(言葉)	2通		2								2
	保育内容研究(表現・音楽)	2通		2			1					1
	保育内容研究(表現・美術)	2通		2			1					
	保育内容研究(運動あそび)	2通		2								2
	保育実習指導Ⅰ	2通		2		1	2					10
	保育実習指導Ⅱ	3前		1		1	2					10
	保育実習Ⅰ	3前		4		1	2					4
	保育実習Ⅱ	3後		2		1	2					4
	保育実践演習	3通		2		1	2					4
	初等教育課程の意義と編成	2前		2		1	1					1
	国語科概論(書写を含む)	1後		2		1	1					
	国語科の指導法	2前		2		1	1					1
	国語科教材研究	2後		2		1	1					2
	社会科概論	1後		2		3	1					1
	社会科の指導法	2前		2		1						2
	社会科教材研究	2後		2		1						2
	地域研究法(調査を含む)	3通		2		1						
	算数概論	1後		2		1		1				
	算数科の指導法	2前		2		1	1					1
	算数科教材研究	2後		2		1	1					
	理科概論	2前		2								1
	理科の指導法	2後		2		1						1
	理科教材研究(実験)	3前		2		1						2
	生活科概論	2前		2			1					
	生活科の指導法	2後		2			1					1
	生活科教材研究	3前		2			1					1
表現技術Ⅰ(音楽)	1通		2			1					3	
表現技術Ⅱ(音楽)	2通		2			1					3	
音楽科の指導法	2前		2			1						
音楽教育	3前		2			1					2	
表現技術Ⅲ(美術)	2前・後		1		1	1						
図画工作科の指導法	2後		2		1						1	
児童美術論	3前		2		1							
家庭科概論	2前		2								1	
家庭科の指導法	2後		2								2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	家庭科教材研究	3前		2								1
	表現技術Ⅳ (体育実技)	2前		1			1					
	体育科の指導法	2後		2			1					2
	体育科教材研究	3前		2								1
	幼児運動論	2前		2			1					
	英語活動概論	2前		2			1					1
	英語活動の指導法	2後		2			2					
	英語活動の教材研究	3前		2			1					
	N I E 活動論	2前		2								1
	N I E 活動の教材研究	2後		2								1
	教育実習 (幼・小) の事前指導	2後		1		3	5					4
	教育実習 (幼・小) の事前事後指導	3前		1		3	2					
	教育実習 (幼・小)	3通		4		4	4					4
専門基幹科目C群	中等教育課程の意義と編成	2前		2		1						
	社会科の指導法Ⅰ (地理歴史)	2通		4		2	1					
	社会科の指導法Ⅱ (公民)	2通		4								1
	地理歴史科指導法	2通		4		1	1					
	公民科指導法	2通		4								1
	人文地理学	2通		4								1
	自然地理学	2通		4			1					
	地誌	2通		4			1					
	日本史概説	1通		4		2						
	日本文化史	2通		4				1				
	日本仏教史	2前		2								1
	日本思想史	3通		4				1				
	日本美術史	3前		2				1				
	東洋史概説	2後		2								1
	西洋史概説	2前・後		2		1						
	西洋美術史	3後		2								1
	社会学原論	2通		4								3
	福祉社会学	1前		2								3
	経済原論 (国際経済を含む)	2通		4								3
	政治学原論 (国際政治を含む)	2通		4		1						1
	法学概論 (国際法を含む)	2前		2								1
	倫理学概論	2通		4								1
	心理学概論	2前		2				1				2
	宗教学概論	2後		2								1
	仏教学概論	2通		4								1
	教育実習 (中・高) の事前指導	2後		1		1	2					
	教育実習 (中・高) の事前事後指導	3前		1		1	2					
教育実習 (中・高)	3通		4		1	2						
専門基幹科目D群	特別支援教育総論	2後		2		3						
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2			1					2
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2			1					2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2			1					2
	聴覚障害者の心理	3前		2		1		1				
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2								1
	知的障害者教育論	3前		2		1						
	肢体不自由者教育論	2前		2		1	1					
	病弱者教育論	2後		2		1						1
	聴覚障害者教育論	3通		4		1	1					
	重複障害者教育総論	3後		2		1	1					
	発達障害者教育総論	3前		2		1		1				
	自閉症者教育総論	3後		2		2						
	言語障害者教育総論	3後		2		2		1				
	視覚障害者教育総論	2前		2								1
	特別支援教育実習の事前指導	3後		1		1	3	1				
特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		2							
特別支援教育実習	4通		2		2							
	障害児の学習支援	3前	2			1	1					
	学校経営と学校図書館	3前		2			1					
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3前		2			1					
	児童精神医学	3後		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門発展科目	睡眠健康科学	2前		2			1							
	家庭支援論	2前		2										2
	人間関係論	2前		2										1
	家族心理学	2前		2										1
	思春期の発達と臨床	2後		2										1
	臨床心理学	2前・後		2										3
	発達臨床心理学	2後		2			1							
	発達心理アセスメント概論	2後		2										1
	健康心理アセスメント概論	3前		2										1
	健康心理カウンセリング概論	3前		2			1							
	災害概論	2通		4										1
	地域減災論 I	2前		2		1								11
	原子力災害論	2後		2										1
	社会貢献論	2前		2										1
	教育学特殊講義 I	2前		2					1					1
	教育学特殊講義 II	3前		2					1					1
教育学特殊講義 III	3後		2										1	
関連科目	社会教育計画	2通		4		1								
	現代社会と社会教育 I	3前		2										1
	現代社会と社会教育 II	3前		2										1
	社会教育実習 (野外活動実習等を含む)	3通		2		1								1
	社会教育課題研究	4通		2		1								1
	社会教育史	1後		2										1
	社会教育行財政論	2前		2										1
	社会教育施設論	2前		2										1
	博物館概論	2前		2		1								
	博物館経営論	3後		2										1
	博物館資料論	2後		2										1
	博物館資料保存論	3前		2										1
	博物館展示論	3前		2						1				
	博物館教育論	3前		2										1
	博物館情報・メディア論	3前		2										1
	博物館実習	3通		3			2							2
	文化財概論	2前		2		1								
	文化財各論 (文化財保護法を含む)	2後		2		1								3
	考古学概論	2前		2		1								
	考古学各論	2後		2		1								
	考古学特殊講義	3前		2		1								
	考古学実習	3通		2		1								1
	古文書学概論	2前		2		1								
	古文書学各論	2後		2		1								
	日本史特殊講義	3後		2										1
	古文書学実習	3通		2		1								
	民俗学概論	2前		2										1
	民俗学各論	2後		2										1
	民俗学特殊講義	3前		2										1
	民俗学実習	3前		2										1
	文化人類学	2前		2			1							
	美術史特殊講義	3後		2					1					
	美術実習	3通		2						1				
	図書館概論	2前		2					1					
	図書館情報技術論	3前		2										1
	図書館制度・経営論	3前		2										1
	図書館サービス概論	2前		2										1
	情報サービス論	2後		2					1					
	児童サービス論	2前		2										1
	情報サービス演習	3通		2					1					
	図書館情報資源概論	3前		2					1					
	情報資源組織論	2後		2					1					
	情報資源組織演習	3通		2					1					
	図書館基礎特論	3前		1										1
	図書館サービス特論	3後		1										1
	図書館情報資源特論	3後		1										1
	図書・図書館史	3後		1										1
図書館施設論	3後		1										1	
図書館総合演習	3後		1					1						
図書館実習	3通		1					1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で, 認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し, 詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

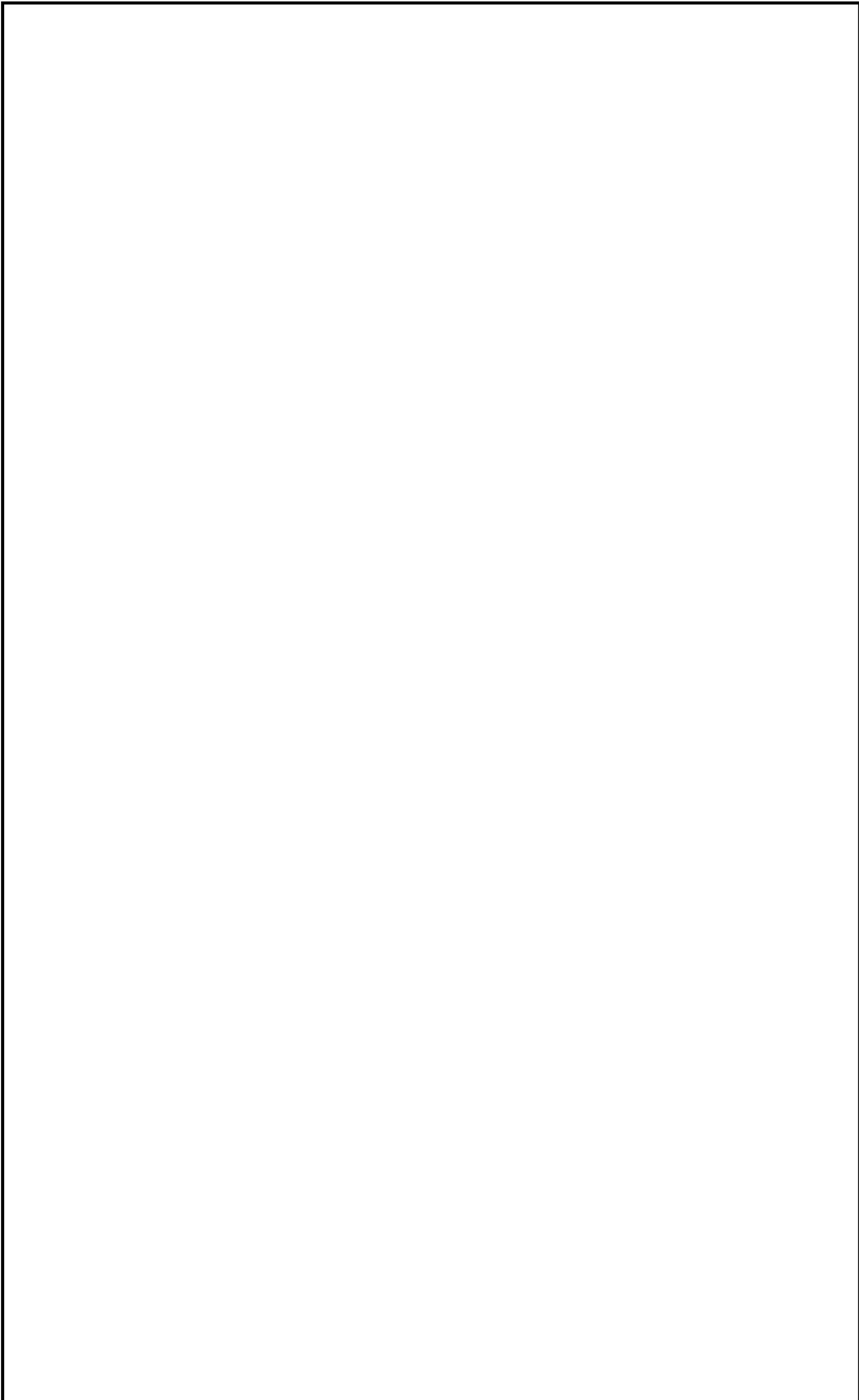
(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

--

【平成28年度】

【平成29年度】



【平成30年度】

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	310 科目	0 科目	323 科目	14 科目 [1]	315 科目 [5]	0 科目 [0]	329 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	スポーツ医学	2	2	一般	選択	兼担3人のオムニバスで開講(29) 一身上の都合で担当者退職。後任人選中(28)
2	原子力災害論	2	2	専門	選択	兼担1人が単独で開講(開講時期を後期に変更)(29) 一身上の都合で担当者退職。後任人選中(28)
3	スポーツ社会学	2	2	一般	選択	兼任教員(准教授)が単独で開講(30) 一身上の都合で担当者辞任。後任人選中(29)

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「スポーツ社会学」前担当者(〇〇〇〇講師:兼担)が一身上の都合で辞任退職したため1科目が未開講となった。次年度に向けて後任を人選中である。学生には、年度初めのガイダンスおよび教務部教務課の掲示板で告知する。(29)

「スポーツ医学」前担当者(〇〇〇〇准教授:兼担)と「原子力災害論」前担当者(〇〇〇〇教授:兼担)が一身上の都合で退職したため、開設年度を迎えた2科目が未開講となった。次年度に向けて後任を人選中である。学生には、年度初めのガイダンスおよび教務部教務課の掲示板で告知する。(28)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{323} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
校 地 等	校舎敷地	140,416.350㎡ 137,710.020㎡ 135,464.250㎡ 133,520.690㎡	㎡	㎡	140,416.350㎡ 137,710.020㎡ 135,464.250㎡ 133,520.690㎡	借用面積：8,580.69㎡ 借用期間：30年				
	運動場用地	139,505.480㎡ 139,826.140㎡ 139,184.820㎡	㎡	㎡	139,505.480㎡ 139,826.140㎡ 139,184.820㎡					
	小 計	279,921.830㎡ 277,215.500㎡ 275,290.390㎡ 272,705.510㎡	㎡	㎡	279,921.830㎡ 277,215.500㎡ 275,290.390㎡ 272,705.510㎡					
	そ の 他	2,316,286.470㎡ 2,314,116.020㎡ 2,314,527.760㎡ 2,312,627.755㎡	㎡	㎡	2,316,286.470㎡ 2,314,116.020㎡ 2,314,527.760㎡ 2,312,627.755㎡					
	合 計	2,596,208.300㎡ 2,591,331.520㎡ 2,589,818.150㎡ 2,585,333.265㎡	㎡	㎡	2,596,208.300㎡ 2,591,331.520㎡ 2,589,818.150㎡ 2,585,333.265㎡					
(2) 校 舎	専 用	60,168.235㎡ 49,807.063㎡ (60,168.235㎡) (- 49,807.063㎡)	共 用	3,385.575㎡ 2,213.175㎡ (3,385.575㎡) (- 2,213.175㎡)	共用する他の 学校等の専用	452.890㎡ 748.452㎡ (452.890㎡) (- 748.452㎡)	計	64,006.700㎡ 52,768.690㎡ (64,006.700㎡) (- 52,768.690㎡)	東北福祉看護学校（通 信制看護師養成所）と 共用 収容定員500人 ※面積基準なし 校地・校舎取得のため (27)	
	講 義 室	78室 49室	演 習 室	37室 30室	実験実習室	40室 39室	情報処理学習施設	6室 (補助職員 0人)	語学学習施設	5室 (補助職員 0人)
(3) 教 室 等	新設学部等の名称				室 数				届出学部学科全体	
(4) 専任教員研究室	教育学部 教育学科				50 49 46 40 室				学科専任教員異動による (28) (29) (30)	
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	届出学部学科全体	
	教育学部 教育学科	7,150 [225] 7,889 535 5,379 -361 3,369 196 1,064 56 (1,430 [45])	100 [30] 117 8 119 -9 (100 [30])	25 [25] 約1,400 約1,400 (25 [25])	125 128 109 39 3	1,000 (250)	- (-)	外国書数の減少は、電子 ジャーナルへ切り替えた ため(27) (28) (29) (30)		
	計	7,150 [225] 7,889 535 5,379 -361 3,369 196 1,064 56 (1,430 [45])	100 [30] 117 8 119 -9 (100 [30])	25 [25] 約1,400 約1,400 (25 [25])	125 128 109 39 3	1,000 (250)	- (-)	電子ジャーナルの増加 はパッケージ契約 (Education research complete) による (29) (30)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				大学全体	
	4,205.026 ㎡		599 席		399,861 冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	9,666.801㎡		ゴルフ練習場1面 野球場2面		テニスコート3面 弓道場1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部学科全体	
		教員1人当たり研究費等	320千円	320千円	図書購入費	3,320千円	3,400千円	3,400千円		
		共同研究費等	1,000千円	2,500千円	設備購入費	100千円	34,500千円	34,500千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費には、電子 ジャーナル・データ ベースの整備費(運用 コストを含む)を含 む。		
	1,144千円	1,044千円	1,044千円	1,044千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、

複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東北福祉大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院・通学課程									
総合福祉学研究科		33	—	69		0.36		宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘六丁目149番1号	
社会福祉学専攻博士課程	3	3	—	9	博士 (社会福祉学)	0.66	平成14年度	同上	
社会福祉学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (社会福祉学)	0.40	昭和51年度	同上	
福祉心理学専攻修士課程	2	20	—	40	修士 (福祉心理学)	0.27	平成14年度	同上	
教育学研究科									
教育学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (教育学)	0.15	平成27年度	同上	
大学院・通信制									
総合福祉学研究科	2	20	—	40		1.00		宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘六丁目149番1号	
社会福祉学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (社会福祉学)	1.85	平成14年度	同上	
福祉心理学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (福祉心理学)	0.15	平成14年度	同上	
大学の名称	東北福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
学部・通学課程									
総合福祉学部	4	620	—	2480		1.15		宮城県仙台市青葉区国見一丁目8番1号	
社会福祉学科	4	400	—	1600	学士 (社会福祉学)	1.15	昭和37年度	同上	平成27年度より100名の
福祉行政学科	4	100	—	400	学士 (福祉行政学)	1.16	平成27年度	同上	
福祉心理学科	4	120	—	480	学士 (福祉心理学)	1.18	昭和49年度	同上	
社会教育学科	4	—	—	—	学士 (社会教育学)	—	昭和46年度	同上	平成27年より学生募集
総合マネジメント学部	4	200	—	800		1.12	平成20年度	同上	
産業福祉マネジメント学科	4	100	—	400	学士 (産業福祉学)	1.14	平成20年度	同上	
情報福祉マネジメント学科	4	100	—	400	学士 (情報福祉学)	1.10	平成20年度	同上	
子ども科学部									
子ども教育学科	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	平成18年度	同上	平成27年より学生募集
教育学部						1.12			
教育学科	4	250	—	1000	学士 (教育学)	1.12	平成27年度	同上	
初等教育専攻	4	210	—	840	学士 (教育学)	1.12	平成27年度	同上	
中等教育専攻	4	40	—	160	学士 (教育学)	1.15	平成27年度	同上	
健康科学部	4	230	—	920		1.13			

保健看護学科	4	70	—	280	学士 (看護学)	1.14	平成18年度	同上
リハビリテーション学科	4	80	—	320	学士 (リハビリテーション学)	1.18	平成20年度	同上
理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 (リハビリテーション学)	1.24	平成20年度	同上
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 (リハビリテーション学)	1.13	平成20年度	同上
医療経営管理学科	4	80	—	320	学士 (医療経営管理学)	1.08	平成20年度	同上
学部・通信教育部								
総合福祉学部	4	800	—	3200		0.71	平成14年度	仙台市宮城野区榴岡二丁目 5番26号
社会福祉学科	4	600	—	2400	学士 (社会福祉学)	0.73	平成14年度	同上
福祉心理学科	4	200	—	800	学士 (福祉心理学)	0.63	平成14年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	(71) <平成27年4月> 生涯発達心理学概論 生涯発達心理学各論 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 保育相談支援 障害児保育
		(59) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(66) <平成27年4月> 知的障害者教育論 自閉症者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(58) <平成27年4月> 生徒指導論(進路指導を含む)A 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(50) <平成27年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習)

【平成27年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	(71) <平成27年4月> 生涯発達心理学概論 生涯発達心理学各論 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 保育相談支援 障害児保育
		(59) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(67) <平成27年4月> 知的障害者教育論 自閉症者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(58) <平成27年4月> 生徒指導論(進路指導を含む)A 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(50) <平成27年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習)

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	(72) <平成27年4月> 生涯発達心理学概論 生涯発達心理学各論 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 保育相談支援 障害児保育
		(60) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(68) <平成27年4月> 知的障害者教育論 自閉症者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(59) <平成27年4月> 教職論A 道徳の指導法A※ 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(51) <平成27年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 特別支援教育総論

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(73) <平成27年4月> 保育の心理学Ⅱ 保育相談支援
		(61) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B リエゾンゼミⅠ(基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(69) <平成27年4月> 知的障害者教育論 自閉症者教育総論 リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(60) <平成27年4月> 教職論A 初等教育課程の意義と編成※ 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授 (学部長)	(52) <平成27年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 聴覚障害者教育論 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(74) <平成27年4月> 保育の心理学Ⅱ 保育相談支援
		(62) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	辞任
		(61) <平成27年4月> 教職論A 初等教育課程の意義と編成※ 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実践活動Ⅳ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(53) <平成27年4月> ことばと表現※ 現代社会を見る眼※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 特別支援教育総論 聴覚障害者教育論 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		(68) <平成27年4月> 歴史学の基礎 中等社会科の教育課程(高校地理・公民の教育課程を含む) 日本史概説 地域研究法(調査を含む) 社会科の指導法I(地理歴史) 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 文化財各論(文化財保護法を含む)※ 地域活性化マシ'メント論※ リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授	(62) <平成27年4月> 考古学概論 考古学各論 考古学特殊講義 博物館概論 博物館実習※ 文化財概論 リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授	(57) <平成27年4月> ことばと表現 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		(68) <平成27年4月> 社会科概論※ 中等社会科の教育課程(高校地理・公民の教育課程を含む) 日本史概説 地域研究法(調査を含む) 社会科の指導法I(地理歴史) 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 文化財各論(文化財保護法を含む)※ 地域活性化マシ'メント論※ リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授 (学修長) (学務長)	(62) <平成27年4月> Study Abroad E(その他の地域) 考古学概論 考古学各論 考古学特殊講義 博物館概論 博物館実習※ 文化財概論 リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授	(57) <平成27年4月> 国語科概論(書写を含む) 教職論B 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		(69) <平成27年4月> 特別支援教育総論 リエゾンゼミII(専門基礎演習) 社会科概論※ 日本史概説 地域研究法(調査を含む) 社会科の指導法I(地理歴史) 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授 (学修長) (学務長)	(63) <平成27年4月> Study Abroad E(その他の地域) 福祉ボランティア活動I(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動II(社会貢献活動を含む) 地域減災論I※ 考古学概論 考古学各論 考古学特殊講義 博物館概論 博物館実習※ 文化財概論 リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授	(58) <平成27年4月> 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授	(65) <平成28年4月> 特別支援教育総論 肢体不自由者教育論 病弱者教育論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		(70) <平成27年4月> 歴史学の基礎 社会科概論※ 日本史概説 地域研究法(調査を含む) 社会科の指導法I(地理歴史) 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授	(64) <平成27年4月> Study Abroad D(ヨーロッパ) Study Abroad E(その他の地域) 福祉ボランティア活動I(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動II(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動III(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動IV(社会貢献活動を含む) 地域減災論I※ 考古学概論 考古学各論 考古学特殊講義 考古学実習 博物館概論 博物館実習※ リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIII(社会教育演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授	(59) <平成27年4月> 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授	(66) <平成28年4月> 特別支援教育総論 病弱者の心理・生理・病理※ 肢体不自由者教育論 病弱者教育論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		(71) <平成27年4月> 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIII(社会教育演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) リエゾンゼミIV(社会教育演習II) 卒業論文 卒業論文 卒業論文
専	教授	(65) <平成27年4月> Study Abroad D(ヨーロッパ) 福祉ボランティア活動I(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動II(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動III(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動IV(社会貢献活動を含む) 地域減災論I※ 考古学概論 考古学各論 考古学実習 博物館概論 博物館実習※ リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIII(社会教育演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) リエゾンゼミIV(社会教育演習II) 卒業論文
専	教授	(60) <平成27年4月> ことばと表現※ 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文
専	教授	(67) <平成28年4月> 病弱者の心理・生理・病理※ 肢体不自由者教育論 病弱者教育論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
専	教授	(72) <平成29年4月>
		聴覚障害者教育論
専	教授	(58) <平成27年4月>
		歴史学の基礎 西洋史概説 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(67) <平成28年4月>
		日本文化史 日本思想史 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	教授	(61) <平成27年4月>
		英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ グローバルコミュニケーションⅡ グローバルコミュニケーションⅠ Study Abroad A(アジア) Study Abroad B(北米) Study Abroad C(オセアニア) Study Abroad D(ヨーロッパ) Study Abroad E(その他の地域)
兼任	教授	(56) <平成29年10月>
		児童精神医学
専	教授	(60) <平成27年4月>
		社会福祉原論(職業指導を含む) 人権と現代福祉
専	教授	(65) <平成27年4月>
		図画工作科の指導法 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
専	教授	(72) <平成29年4月>
		聴覚障害者教育論
専	教授	(58) <平成27年4月>
		歴史学の基礎 西洋史概説 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		辞任
兼任	教授	(61) <平成27年4月>
		英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ グローバルコミュニケーションⅡ
兼任	教授	(56) <平成29年10月>
		児童精神医学
専	教授	(60) <平成27年4月>
		社会福祉原論(職業指導を含む) 人権と現代福祉
専	教授	(65) <平成27年4月>
		図画工作科の指導法 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
専	教授	(73) <平成29年4月>
		聴覚障害者教育論
専	教授	(59) <平成27年4月>
		歴史学の基礎 西洋史概説 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	教授	(62) <平成27年4月>
		英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ Study Abroad B(北米) Study Abroad D(ヨーロッパ)
兼任	教授	(57) <平成29年10月>
		児童精神医学
専	教授	(61) <平成27年4月>
		社会福祉原論(職業指導を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)
専	教授	(66) <平成27年4月>
		図画工作科の指導法 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
専	教授	(60) <平成27年4月>
		歴史学の基礎 西洋史概説 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	教授	(63) <平成27年4月>
		英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ Study Abroad B(北米) Study Abroad D(ヨーロッパ)
兼任	教授	(58) <平成29年10月>
		児童精神医学 知的障害者の心理・生理・病理※
専	教授	(62) <平成27年4月>
		社会福祉原論(職業指導を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)
専	教授	(67) <平成27年4月>
		図画工作科の指導法 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
専	教授	(61) <平成27年4月>
		歴史学の基礎 西洋史概説 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(64) <平成27年4月>
		英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ Study Abroad B(北米) Study Abroad D(ヨーロッパ)
専	教授	(59) <平成29年10月>
		児童精神医学 知的障害者の心理・生理・病理※
専	教授	(63) <平成27年4月>
		社会福祉原論(職業指導を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(68) <平成27年4月>
		図画工作科の指導法 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論 教職実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(63) <平成27年4月>
		教育学の基礎 教育学概論A 教育史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(70) <平成28年4月>
		教育心理学概論B 教育心理学各論 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(53) <平成28年4月>
		聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅳ 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(66) <平成27年4月>
		政治学の基礎 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(63) <平成27年4月>
		食と生活 子どもの食と栄養 保育内容研究(健康) 健康科学 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(65) <平成27年10月>
		芸術入門 西洋美術史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(63) <平成27年4月>
		教育学の基礎 教育学概論A 教育史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(70) <平成28年4月>
		教育心理学概論B 教育心理学各論 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(53) <平成27年4月>
		健康科学※ 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅳ 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(66) <平成27年4月>
		政治学の基礎 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(63) <平成27年4月>
		食と生活 子どもの食と栄養※ 保育内容研究(健康) 健康科学※ リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(65) <平成27年10月>
		芸術入門 西洋美術史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(64) <平成27年4月>
		教育学の基礎 教育学概論A 教育史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(71) <平成28年4月>
		教育心理学概論B 教育心理学各論 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(54) <平成27年4月>
		健康科学※ 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅳ 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(67) <平成27年4月>
		アジア共同体に向けて※ 政治学の基礎 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(64) <平成27年4月>
		食と生活 子どもの食と栄養※ 保育内容研究(健康) 健康科学※ リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(66) <平成27年10月>
		芸術入門 西洋美術史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授 (学部長)	(65) <平成27年4月>
		教育学の基礎 教育学概論A 教育史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(72) <平成28年4月>
		教育心理学概論B 教育心理学各論 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A 卒業論文
専	教授	(55) <平成27年4月>
		聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論※ 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅳ 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(68) <平成27年4月>
		アジア共同体に向けて※ 政治学の基礎 社会科概論※ 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(65) <平成27年4月>
		食と生活 子どもの食と栄養※ 保育内容研究(健康) 健康科学※ リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(66) <平成27年10月>
		芸術入門 西洋美術史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授 (学部長)	(66) <平成27年4月>
		教育学の基礎 教育学概論A 教育史 教職実践演習 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ)
専	教授	辞任
		(56) <平成27年4月>
専	教授	(69) <平成27年4月>
		アジア共同体に向けて※ 政治学の基礎 社会科概論※ 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(66) <平成27年4月>
		食と生活 子どもの食と栄養※ 保育内容研究(健康) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(67) <平成27年10月>
		芸術入門 西洋美術史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	博物館実習※
専	教授	(61) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(69) <平成27年4月> 中等社会科の教育課程(高校地理・公民の教育課程を含む) 日本史概説 教育実践活動Ⅱ 社会科の指導法Ⅰ(地理歴史) 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 教職実践演習 古文書学概論 古文書学各論 古文書学実習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(68) <平成28年10月> 地理歴史科指導法 教育実践活動Ⅲ 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 教職実践演習 考古学各論 考古学実習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(50) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論 保育原理 保育者論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	博物館実習※
専	教授	(61) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(69) <平成27年4月> 中等社会科の教育課程(高校地理・公民の教育課程を含む) 教育実践活動Ⅱ 社会科の指導法Ⅰ(地理歴史) 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 教職実践演習 古文書学概論 古文書学各論 古文書学実習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(68) <平成27年4月> 地理歴史科指導法 教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅰ 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 教職実践演習 考古学各論 考古学実習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(50) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論 保育原理 保育者論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	博物館実習※
専	教授	(62) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(69) <平成27年4月> 辞任
専	教授	(69) <平成27年4月> 地理歴史科指導法※ 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 教職実践演習 考古学各論 考古学実習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(51) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論 保育原理 保育者論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) 博物館実習※
専	教授	(57) <平成29年4月> 特別支援教育総論 発達障害者教育総論 自閉症者教育総論 障害児の学習支援 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門演習Ⅰ)
専	教授	(63) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(52) <平成27年4月> 辞任
		(52) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論 保育原理 保育者論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文 博物館実習※
専	教授	(58) <平成29年4月> 特別支援教育総論 発達障害者教育総論 自閉症者教育総論 障害児の学習支援 特別支援教育実習の事前指導 リエゾンゼミⅡ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)
専	教授	(64) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
		(53) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論※ 保育原理 保育者論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	保育課程論※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(44) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(67) <平成27年4月> 特別支援教育総論 教職論B 教育実践活動Ⅰ 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(49) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	保育課程論※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(44) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		辞任
		(49) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	保育課程論※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(45) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(表現・美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(58) <平成28年4月> 地理学の基礎 社会科概論※ 自然地理学 地誌 地理歴史科指導法※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 教育実習(中・高)の事前指導
		(50) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	保育課程論※ 社会的養護内容 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 教育実習(幼・小)の事前指導 リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(46) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(表現・美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 教育実習(幼・小)の事前指導 保育実践演習 リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(59) <平成28年4月> 地理学の基礎 社会科概論※ 自然地理学 地誌 地理歴史科指導法※ 社会科の指導法Ⅰ(地理歴史)※ 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(基礎演習Ⅰ) 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高)
		(51) <平成29年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	保育課程論※ 社会的養護内容※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(47) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(表現・美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 保育実践演習 リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(60) <平成28年4月> 地理学の基礎 社会科概論※ 自然地理学 地誌 地理歴史科指導法※ 社会科の指導法Ⅰ(地理歴史)※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(基礎演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(基礎演習Ⅱ) 教職実践演習 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 卒業論文
		(52) <平成29年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究
専	准教授	(44) <平成27年4月>
		発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(61) <平成27年4月>>
		生徒指導論(進路指導を含む) A 生活科概論 生活科教材研究 教育実践活動Ⅱ 生活科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(56) <平成27年4月>
		スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究
専	准教授	(44) <平成27年4月>
		発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(61) <平成27年4月>>
		生徒指導論(進路指導を含む) A 生活科概論 生活科教材研究 教育実践活動Ⅱ 生活科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(56) <平成27年4月>
		スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究
専	准教授	(45) <平成27年4月>
		発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(55) <平成28年4月>
		理科の指導法
専	准教授	(62) <平成27年4月>>
		生徒指導論(進路指導を含む) A 生活科概論 生活科教材研究 生活科の指導法 道徳の指導法A※ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(62) <平成28年4月>
		リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 特別支援教育の基礎
専	准教授	(57) <平成27年4月>
		スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)
専	准教授	(46) <平成27年4月>
		発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(56) <平成28年4月>
		理科教材研究(実験) 理科の指導法
専	准教授	(63) <平成27年4月>>
		初等教育課程の意義と編成※ 生徒指導・進路指導論A 生活科概論 生活科教材研究 教育実践活動Ⅱ 生活科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(63) <平成28年4月>
		リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) 特別支援教育の基礎 聴覚障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導
専	准教授	(58) <平成27年4月>
		スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)
専	准教授	(47) <平成27年4月>
		発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(57) <平成28年4月>
		リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) キャンパスライフ入門 教育実践活動Ⅱ 教職実践演習 理科概論 理科教材研究(実験) 理科の指導法
専	准教授	(64) <平成27年4月>>
		初等教育課程の意義と編成※ 生徒指導・進路指導論A 生活科概論 生活科教材研究 教育実践活動Ⅱ 生活科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(64) <平成28年4月>
		教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 特別支援教育の基礎 聴覚障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 卒業論文
専	准教授	(59) <平成27年4月>
		スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専任	准教授	(50) <平成27年4月> 教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(57) <平成28年4月> 算数科教材研究 算数科の指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専任	准教授	(50) <平成27年4月> 教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(56) <平成28年4月> 国語科の指導法
兼任	講師	(55) <平成28年4月> 道徳の指導法A
専任	准教授	(51) <平成27年4月> 教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(37) <平成28年10月> 図書館サービス概論
専任	准教授	(57) <平成28年4月> 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実践活動Ⅰ 教育実習(中・高)の事前指導 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専任	准教授	(57) <平成29年4月> 国語科の指導法 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 教育実習(幼・小)の事前指導 学校経営と学校図書館 情報メディアの活用
兼任	講師	(56) <平成28年4月> 道徳の指導法A
専任	教授	(52) <平成27年4月> 教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(38) <平成28年10月> 学校図書館メディアの構成 図書館サービス概論 図書・図書館史 図書館情報資源特論
専任	准教授	(58) <平成28年4月> 算数科教材研究 算数科の指導法 生徒指導・進路指導論Ⅱ 教育実践活動Ⅱ 教育実践活動Ⅲ 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専任	准教授	(58) <平成29年4月> 国語科概論(書写を含む) 国語科の指導法 国語科教材研究 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) 教職実践演習 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 学校経営と学校図書館 情報メディアの活用
専任	教授	白井 秀明 (53) <平成27年4月> 教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専任	准教授	(39) <平成30年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習 情報資源組織論 情報資源組織演習 図書館サービス概論 図書・図書館史 図書館情報資源特論 図書館総合演習 図書館実習
専任	准教授	(59) <平成28年4月> 算数科教材研究 算数科の指導法 生徒指導・進路指導論Ⅱ 教育実践活動Ⅰ 教育実践活動Ⅱ 教育実践活動Ⅲ 教職実践演習 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>					
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名					
							卒業論文					
専	准教授	(47) <平成27年4月> 文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文	(47) <平成27年4月> 文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(48) <平成27年4月> 文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(49) <平成27年4月> 文化人類学 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅤ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(50) <平成27年4月> 文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅤ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(47) <平成27年4月> 保育内容研究(音楽) 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	(47) <平成27年4月> Study Abroad D(ヨーロッパ) 保育内容研究(音楽) 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(48) <平成27年4月> Study Abroad D(ヨーロッパ) 保育内容研究(表現・音楽) 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(49) <平成27年4月> Study Abroad D(ヨーロッパ) 保育内容研究(表現・音楽) 英語活動の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(50) <平成27年4月> Study Abroad D(ヨーロッパ) 保育内容研究(表現・音楽) 英語活動の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
			(61) <平成27年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	専	准教授	(62) <平成27年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	専	准教授	(63) <平成27年4月> 教育実践活動Ⅲ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) 知的障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導	専	准教授	(64) <平成27年4月> 教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅤ(社会教育演習Ⅱ) 特別支援教育総論 知的障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 卒業論文
兼任	准教授	(43) <平成27年4月> 保育原理 保育者論 保育内容総論 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習	(43) <平成27年4月> 保育原理※ 保育者論※ 保育内容総論 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習	兼任	准教授	(44) <平成27年4月> 家庭支援論 保育原理※ 保育者論※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習	兼任	准教授	(45) <平成27年4月> 家庭支援論 保育原理※ 保育者論※ 保育の心理学Ⅰ※ 保育の心理学Ⅱ※ リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) 教育実習(幼・小)の事前指導 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習	専	准教授	(46) <平成27年4月> 保育者論※ 保育の心理学Ⅰ※ 保育の心理学Ⅱ※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小) 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 卒業論文
			(48) <平成28年4月> 特別支援教育の基礎			(49) <平成28年4月> 特別支援教育の基礎			(50) <平成28年4月> 特別支援教育の基礎			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	(67) ＜平成27年4月＞ 教育実践活動Ⅰ 国語科の指導法 道徳の指導法A 道徳の教材研究 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(58) ＜平成27年4月＞ 社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 教育相談の理論と方法A リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(51) ＜平成27年4月＞ 健康科学 幼児運動論【隔年】 体育科の指導法 睡眠健康科学【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(36) ＜平成27年4月＞ 日本美術史 美術史特殊講義 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	(67) ＜平成27年4月＞ 国語科の指導法 道徳の指導法A 道徳の教材研究 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(58) ＜平成27年4月＞ 社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 教育相談の理論と方法A 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(51) ＜平成27年4月＞ 健康科学 幼児運動論【隔年】 体育科の指導法 睡眠健康科学【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(36) ＜平成27年4月＞ 日本美術史 美術史特殊講義 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	肢体不自由者教育論 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)
専	教授	(59) ＜平成27年4月＞ 社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 道徳の指導法A※ 教育相談の理論と方法A 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(52) ＜平成27年4月＞ 健康科学 幼児運動論 体育科の指導法 睡眠健康科学 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(37) ＜平成27年4月＞ 日本美術史 美術史特殊講義 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	肢体不自由者教育論 教育実践活動Ⅱ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) 肢体不自由者の心理・生涯・病理※ 重複障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導
専	教授	(60) ＜平成27年4月＞ 社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 教育相談の理論と方法A 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(53) ＜平成27年4月＞ 健康科学 幼児運動論 体育科の指導法 睡眠健康科学 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(38) ＜平成27年4月＞ 日本美術史 美術史特殊講義 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	肢体不自由者教育論 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 肢体不自由者の心理・生涯・病理※ 重複障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 卒業論文
専	教授	(61) ＜平成27年4月＞ 社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 教育相談の理論と方法A 教育実践活動Ⅰ 教職実践演習 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(54) ＜平成27年4月＞ 健康科学 幼児運動論 体育科の指導法 睡眠健康科学 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(39) ＜平成27年4月＞ 日本美術史 美術史特殊講義 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(63) <平成28年4月>
		図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 図書館総合演習【隔年】 図書館実習【隔年】 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
		(44) <平成27年4月>
専	講師	発達障害教育総論 障害児の学習支援 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(43) <平成27年4月>
専	講師	地理学の基礎 自然地理学 地誌 地域活性化マネジメント論※ キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(43) <平成27年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(63) <平成27年4月>
		図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 図書館総合演習【隔年】 図書館実習【隔年】 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(41) <平成27年4月>
		倫理学入門 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 日本文化史 日本思想史
専	講師	(44) <平成27年4月>
		発達障害教育総論 障害児の学習支援 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(43) <平成27年4月>
		地理学の基礎 社会科概論※ 自然地理学 地誌 地域活性化マネジメント論※ キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(64) <平成27年4月>
		図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 図書館総合演習【隔年】 図書館実習【隔年】 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(42) <平成27年4月>
		倫理学入門 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 日本文化史 日本思想史
専	講師	(45) <平成27年4月>
		発達障害教育総論 障害児の学習支援 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	辞任
		(43) <平成27年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(65) <平成27年4月>
		図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 図書館総合演習 図書館実習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(43) <平成27年4月>
		倫理学入門 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) 日本文化史 日本思想史
専	准教授	(46) <平成27年4月>
		発達障害教育総論 障害児の学習支援 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(43) <平成27年4月>
		地理学の基礎 自然地理学 地誌 地域活性化マネジメント論※ キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(66) <平成27年4月>
		図書館情報資源概論 学校図書館メディアの構成 図書館情報資源特論 リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)
専	講師	(44) <平成27年4月>
		倫理学入門 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 日本文化史 日本思想史 卒業論文
専	准教授	(47) <平成27年4月>
		発達障害教育総論 障害児の学習支援 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文

(31)

(32)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		(34) <平成27年4月>
		物理学の基礎
		リエゾンゼミⅠ(基礎演習)
		(44) <平成27年4月>
		表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法
		教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(44) <平成29年4月>
		発達障害者教育総論
		(40) <平成29年4月>
		博物館展示論 博物館実習※ 美術実習
		(37) <平成27年4月>
		スポーツⅠ
		スポーツ社会学 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究
		(36) <平成28年4月>
		心理学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		(34) <平成27年4月>
		物理学の基礎
		リエゾンゼミⅠ(基礎演習)
		(44) <平成27年4月>
		表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法
		教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(44) <平成29年4月>
		発達障害者教育総論
		(40) <平成27年4月>
		リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 博物館展示論 博物館実習※ 美術実習
		(37) <平成27年4月>
		スポーツⅠ
		地域共創実学教育Ⅰ※ スポーツ社会学 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究
		(36) <平成27年4月>
		心理学の基礎 心理学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		(35) <平成27年4月>
		物理学の基礎
		教育学特殊講義Ⅰ(教育情報学の基礎) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)
		(45) <平成27年4月>
		表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法 教育実践活動Ⅰ
		教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(41) <平成27年4月>
		リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 博物館展示論 博物館実習※ 美術実習
		(38) <平成27年4月>
		スポーツⅠ 地域活性化マネジメント※ 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ スポーツ社会学 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究
		(37) <平成27年4月>
		心理学の基礎 心理学概論 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		<平成29年4月>
		特別支援教育の基礎 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論※ 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 教育実践活動Ⅲ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)
		(36) <平成27年4月>
		物理学の基礎 算数概論 教育学特殊講義Ⅰ(教育情報学の基礎) 教育学特殊講義Ⅱ(教育デジタルコンテンツ作成論) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)
		(46) <平成27年4月>
		表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法 教育実践活動Ⅰ
		教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(42) <平成27年4月>
		博物館展示論 美術実習
		(38) <平成27年4月>
		心理学の基礎 心理学概論 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		<平成29年4月>
		特別支援教育の基礎 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論※ 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)
		(37) <平成27年4月>
		物理学の基礎 算数概論 教育学特殊講義Ⅰ(教育情報学の基礎) 教育学特殊講義Ⅱ(教育デジタルコンテンツ作成論) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(47) <平成27年4月>
		表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法 教育実践活動Ⅰ
		教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(43) <平成27年4月>
		博物館展示論 博物館実習※ 美術実習
		(39) <平成27年4月>
		心理学の基礎 心理学概論 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	(59) <平成27年4月> 福祉社会学
兼任	教授	(63) <平成27年4月> 生物学の基礎
兼任	教授	(64) <平成27年10月> 物理学の基礎
兼任	教授	(61) <平成27年4月> 情報処理論
兼任	教授	(67) <平成28年4月> 地域活性化マネジメント論※ 社会貢献論 キャリアデザインⅢ※
兼任	教授	(68) <平成27年4月> ことばと表現 情報と社会
兼任	教授	(58) <平成28年4月> 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(68) <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ レクリエーション論【隔年】 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究
兼任	教授	(72) <平成28年4月> 原子力災害論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	(59) <平成27年4月> 福祉社会学
兼任	教授	(63) <平成27年4月> 生物学の基礎
兼任	教授	(64) <平成27年10月> 天文学の基礎
兼任	教授	(61) <平成27年4月> ことばと表現
兼任	教授	(67) <平成27年4月> 地域活性化マネジメント論※ 地域共創実学教育Ⅰ※ 社会貢献論 キャリアデザインⅢ※
兼任	教授	(68) <平成27年4月> ことばと表現 情報と社会※
兼任	教授	(58) <平成28年4月> 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(68) <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ レクリエーション論 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究
兼任	教授	(72) <平成28年4月> 原子力災害論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	(60) <平成27年4月> 福祉社会学
兼任	教授	(64) <平成27年4月> 生物学の基礎 地域減災論Ⅰ※
兼任	教授	(68) <平成28年4月> 地域減災論Ⅰ※
兼任	教授	(65) <平成27年10月> 天文学の基礎
兼任	教授	(62) <平成27年4月> アジア共同体に向けて※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
		辞任
兼任	教授	(68) <平成27年4月> 地域活性化マネジメント論※ 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ 社会貢献論 キャリアデザインⅢ※
兼任	教授	(69) <平成27年4月> ことばと表現 情報と社会※
兼任	教授	(72) <平成28年4月> アジア共同体に向けて※
兼任	教授	(59) <平成28年4月> キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(63) <平成28年4月> 社会福祉原論(職業指導を含む)
兼任	教授	(69) <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ レクリエーション論 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究
		辞任

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	(61) <平成27年4月> 福祉社会学 アジア共同体に向けて※
兼任	教授	(65) <平成27年4月> 生物学の基礎 地域減災論Ⅰ※
兼任	教授	(69) <平成28年4月> 地域減災論Ⅰ※
兼任	教授	(66) <平成27年10月> 物理学の基礎 天文学の基礎
兼任	教授	(63) <平成27年4月> アジア共同体に向けて※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(69) <平成27年4月> 地域活性化マネジメント論※ 社会貢献論
		辞任
兼任	教授	(73) <平成28年4月> アジア共同体に向けて※
兼任	教授	(60) <平成28年4月> インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(64) <平成28年4月> 社会福祉原論(職業指導を含む)
兼任	講師	(70) <平成27年4月> レクリエーション論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	(62) <平成27年4月> 福祉社会学 アジア共同体に向けて※
兼任	教授	(66) <平成27年4月> 生物学の基礎 地域減災論Ⅰ※
兼任	教授	(58) <平成30年4月> 現代社会を見る眼※
兼任	教授	(67) <平成27年10月> 物理学の基礎 天文学の基礎
兼任	教授	(64) <平成27年4月> アジア共同体に向けて※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
		辞任
兼任	教授	(74) <平成28年4月> アジア共同体に向けて※
兼任	教授	(61) <平成28年4月> 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(65) <平成28年4月> 社会福祉原論(職業指導を含む)
		辞任

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	(69) ＜平成27年4月＞ 経済学の基礎 経済原論（国際経済を含む）
兼任	教授	(63) ＜平成27年4月＞ 法の基礎
兼任	教授	(67) ＜平成27年4月＞ 経済学の基礎 経済原論（国際経済を含む）
兼任	教授	(51) ＜平成28年4月＞ 地域活性化マネジメント論※ 地域マネジメント論 地域共創福祉論 キャリアデザインⅡ※
兼任	教授	(66) ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	(69) ＜平成27年4月＞ 健康科学※
兼任	教授	(69) ＜平成27年4月＞ 経済学の基礎 経済原論（国際経済を含む）
兼任	教授	(66) ＜平成27年4月＞ 保育者論※
兼任	教授	(61) ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ
兼任	教授	(63) ＜平成27年4月＞ 法の基礎
兼任	教授	(67) ＜平成27年4月＞ 経済学の基礎 経済原論（国際経済を含む）
兼任	教授	(51) ＜平成27年4月＞ 地域活性化マネジメント論※ 地域マネジメント論 地域共創福祉論 キャリアデザインⅠ※ キャリアデザインⅡ※
兼任	教授	(66) ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	(70) ＜平成27年4月＞ 健康科学※
兼任	教授	(70) ＜平成27年4月＞ 経済学の基礎 アジア共同体に向けて※ 地域活性化マネジメント論※ 経済原論（国際経済を含む）
兼任	教授	(64) ＜平成28年4月＞ 地域減災論Ⅰ※
兼任	教授	(67) ＜平成27年4月＞ 保育者論※ 保育内容総論※ リエゾンゼミⅡ（福祉実践演習） 障害児保育 保育実習指導Ⅰ※
兼任	教授	(62) ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ
兼任	教授	(64) ＜平成27年4月＞ 法の基礎
兼任	教授	(68) ＜平成27年4月＞ 経済学の基礎 経済原論（国際経済を含む）
兼任	教授	(52) ＜平成27年4月＞ 地域活性化マネジメント論※ 地域マネジメント論 地域共創福祉論 キャリアデザインⅠ※ キャリアデザインⅡ※ インターンシップⅠ※
兼任	教授	(67) ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		辞任
兼任	教授	(71) ＜平成27年4月＞ 経済学の基礎 アジア共同体に向けて※ 地域活性化マネジメント論※ 経済原論（国際経済を含む）
		辞任
兼任	教授	(68) ＜平成27年4月＞ 保育者論※ 保育内容総論※ リエゾンゼミⅡ（福祉実践演習） 障害児保育 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 教育実習（幼・小）の事前指導
兼任	教授	(63) ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ
兼任	教授	(65) ＜平成27年4月＞ 法の基礎
兼任	教授	(69) ＜平成27年4月＞ 経済学の基礎 経済原論（国際経済を含む）
兼任	教授	(53) ＜平成27年4月＞ 地域活性化マネジメント論※ 地域マネジメント論 地域共創福祉論 キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(56) ＜平成29年4月＞ 病弱者の心理・生理・病理※
兼任	教授	(68) ＜平成29年4月＞ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(55) ＜平成29年4月＞ Study Abroad A(アジア)
兼任	教授	(68) ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		辞任
兼任	教授	(69) ＜平成27年4月＞ 保育者論※ 保育内容総論※ リエゾンゼミⅡ（福祉実践演習） 障害児保育 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 教育実習（幼・小）の事前指導 教育実習（幼・小）の事前事後指導 教育実習（幼・小）
兼任	教授	(64) ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ
兼任	教授	(66) ＜平成27年4月＞ 法の基礎
兼任	講師	(70) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	(54) ＜平成27年4月＞ 地域活性化マネジメント論※ 地域マネジメント論 地域共創福祉論 インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(57) ＜平成29年4月＞ 病弱者の心理・生理・病理※
兼任	教授	(69) ＜平成29年4月＞ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(69) ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		スポーツⅡ スポーツⅢ
兼任	教授	(62) ＜平成27年4月＞ 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽)
兼任	教授	(57) ＜平成27年4月＞ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	教授	(53) ＜平成27年4月＞ 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ 地域共創実学教育Ⅳ
兼任	教授	(69) ＜平成28年4月＞ 乳児保育 家族心理学
兼任	教授	(45) ＜平成27年4月＞ アジア共同体に向けて※ 政治学原論(国際政治を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		スポーツⅡ スポーツⅢ
兼任	教授	(62) ＜平成27年4月＞ 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽)
兼任	教授	(47) ＜平成27年4月＞ 地域共創実学教育Ⅰ※
兼任	教授	(57) ＜平成27年4月＞ キャリアデザインⅠ※ キャリアデザインⅡ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(53) ＜平成27年4月＞ 健康科学※ 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ 地域共創実学教育Ⅳ※ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(51) ＜平成27年4月＞ 情報と社会※
兼任	教授	(69) ＜平成28年4月＞ 乳児保育※ 家族心理学
兼任	教授	(45) ＜平成27年4月＞ アジア共同体に向けて※ 情報と社会※ 政治学原論(国際政治を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		スポーツⅡ スポーツⅢ
兼任	教授	(63) ＜平成27年4月＞ 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽)
兼任	教授	(48) ＜平成27年4月＞ 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ インターンシップⅠ※
兼任	教授	(58) ＜平成27年4月＞ キャリアデザインⅠ※ キャリアデザインⅡ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(54) ＜平成27年4月＞ 健康科学※ 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ 地域共創実学教育Ⅳ※ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(52) ＜平成27年4月＞ 情報と社会※ アジア共同体に向けて※ インターンシップⅠ※
兼任	講師	(70) ＜平成28年4月＞ 教育心理学各論
兼任	教授	(46) ＜平成27年4月＞ アジア共同体に向けて※ 情報と社会※ 政治学原論(国際政治を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		スポーツⅡ スポーツⅢ
兼任	教授	(64) ＜平成27年4月＞ 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽)
兼任	教授	(66) ＜平成29年4月＞ 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(59) ＜平成27年4月＞ キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(55) ＜平成27年4月＞ 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ 地域共創実学教育Ⅳ※ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(52) ＜平成29年4月＞ 子どもの保健Ⅰ※ 子どもの保健Ⅱ※
兼任	教授	(53) ＜平成27年4月＞ 情報と社会※ 原子力災害論
		辞任
兼任	教授	(47) ＜平成27年4月＞ アジア共同体に向けて※ 情報と社会※ 政治学原論(国際政治を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		スポーツⅡ スポーツⅢ
兼任	教授	(65) ＜平成30年4月＞ 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(65) ＜平成27年4月＞ 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽)
兼任	教授	(67) ＜平成29年4月＞ 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(50) ＜平成27年4月＞ 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(60) ＜平成27年4月＞ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(58) ＜平成30年4月＞ 現代社会を見る眼※
兼任	教授	(56) ＜平成27年4月＞ 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ 地域共創実学教育Ⅳ※ 地域活性化マネジメント論※
兼任	教授	(53) ＜平成29年4月＞ 子どもの保健Ⅰ※ 子どもの保健Ⅱ※
兼任	教授	(54) ＜平成27年4月＞ 情報と社会※ 原子力災害論 アジア共同体に向けて※
兼任	教授	(48) ＜平成27年4月＞

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(62) <平成27年4月> 文学入門 ことばと表現 保育内容研究(言葉)
兼任	教授	(68) <平成27年4月> 福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)
兼任	教授	(61) <平成27年4月> 現代福祉の基礎 福祉社会学
兼任	教授	(56) <平成28年10月> 思春期の発達と臨床
兼任	教授	(62) <平成27年4月> 法の基礎 日本国憲法 インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(58) <平成28年10月> 臨床心理学
兼任	准教授	(52) 平成28年4月 臨床心理学
兼任	准教授	(49) <平成27年4月> 数学の基礎 化学の基礎 保育内容研究(環境) キャリアデザインⅠ※
兼任	准教授	(54) <平成27年4月> スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 実用中国語A 実用中国語B

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(62) <平成27年4月> 文学入門 ことばと表現 保育内容研究(言葉)
兼任	教授	(68) <平成27年4月> 福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)
兼任	教授	(61) <平成27年4月> 現代福祉の基礎 福祉社会学
兼任	教授	(63) <平成27年4月> キャリアデザインⅠ※
兼任	教授	(56) <平成27年4月> 健康科学※ 思春期の発達と臨床
兼任	教授	(62) <平成27年4月> 法の基礎 日本国憲法 キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(58) <平成28年10月> 臨床心理学
兼任	准教授	(49) <平成27年4月> 健康科学※ 数学の基礎 化学の基礎 保育内容研究(環境) キャリアデザインⅠ※
兼任	准教授	(54) <平成27年4月> スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 実用中国語A 実用中国語B

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(63) <平成27年4月> 文学入門 ことばと表現
兼任	教授 (総務局長)	(69) <平成27年4月>
兼任	教授	(62) <平成27年4月> 現代福祉の基礎 福祉社会学
兼任	教授	(64) <平成27年4月> キャリアデザインⅠ※
兼任	教授	(57) <平成27年4月> 健康科学※ 思春期の発達と臨床
兼任	教授	(63) <平成27年4月> 知的財産入門 法の基礎 日本国憲法 キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(59) <平成28年10月> 臨床心理学
兼任	教授	(53) 平成28年4月 臨床心理学
兼任	准教授	(50) <平成27年4月> 健康科学※ 数学の基礎 化学の基礎 キャリアデザインⅠ※
兼任	准教授	(55) <平成27年4月> スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 実用中国語A 実用中国語B

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(63) <平成27年4月> 文学入門 ことばと表現
兼任	教授	(67) <平成29年4月> スポーツ医学※
兼任	教授 (総務局長)	(70) <平成27年4月>
兼任	教授	(63) <平成27年4月> 現代福祉の基礎 福祉社会学
兼任	教授	(65) <平成27年4月> キャリアデザインⅠ※
兼任	教授	(58) <平成27年4月> 思春期の発達と臨床
兼任	教授	(64) <平成27年4月> 知的財産入門 法の基礎 日本国憲法 キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(60) <平成28年10月> 臨床心理学
兼任	教授	(54) 平成28年4月 臨床心理学
兼任	准教授	(51) <平成27年4月> 数学の基礎 化学の基礎 キャリアデザインⅠ※
兼任	准教授	(56) <平成27年4月> スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		キャリアデザインⅠ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(63) <平成27年4月> 文学入門 ことばと表現
兼任	教授	(68) <平成29年4月> スポーツ医学※
兼任	教授 (総務局長)	(71) <平成27年4月>
兼任	教授	(64) <平成27年4月> 現代福祉の基礎 福祉社会学
兼任	教授	(59) <平成27年4月> 思春期の発達と臨床
兼任	教授	(65) <平成27年4月> 知的財産入門 法の基礎 日本国憲法 インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	教授	(61) <平成28年10月> 臨床心理学
兼任	教授	(55) 平成28年4月 臨床心理学
兼任	准教授	(46) <平成30年4月> ことばと表現※
兼任	准教授	(52) <平成27年4月> 数学の基礎 化学の基礎
兼任	准教授	(57) <平成27年4月> スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	(45) ＜平成27年4月＞ スポーツ I スポーツ医学 キャリアデザイン I ※
専	准教授	(48) ＜平成27年4月＞ 児童・家庭福祉論 社会的養護 保育実習指導 I ※ 保育実習指導 II ※ 保育実習 I (保育所・入所施設) 保育実習 II (保育所) 保育実践演習 リエゾンゼミ I (基礎演習) リエゾンゼミ II (福祉実践演習) リエゾンゼミ III (専門演習 I) リエゾンゼミ IV (専門演習 II) 卒業論文
兼任	准教授	(60) ＜平成29年4月＞ 教育相談の理論と方法 B
兼任	准教授	(50) ＜平成27年4月＞ スポーツ I スポーツの心理学 キャリアデザイン I ※
兼任	准教授	(52) ＜平成28年4月＞ 生涯発達心理学概論 生涯発達心理学各論
兼任	准教授	(54) ＜平成27年4月＞ 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II
兼任	准教授	(47) ＜平成28年4月＞ 法学概論 (国際法を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	(45) ＜平成27年4月＞ スポーツ I スポーツ医学
兼任	准教授	(45) ＜平成27年4月＞ 健康科学 ※
専	准教授	(48) ＜平成27年4月＞ 児童・家庭福祉論 社会的養護 保育実習指導 I ※ 保育実習指導 II ※ 保育実習 I 保育実習 II 保育実践演習 リエゾンゼミ I (基礎演習) リエゾンゼミ II (福祉実践演習) リエゾンゼミ III (専門演習 I) リエゾンゼミ IV (専門演習 II) 卒業論文
兼任	准教授	(60) ＜平成29年4月＞ 教育相談の理論と方法 B
兼任	准教授	(50) ＜平成27年4月＞ スポーツ I スポーツの心理学 キャリアデザイン I ※
兼任	准教授	(52) ＜平成28年4月＞ 生涯発達心理学概論 生涯発達心理学各論
兼任	准教授	(54) ＜平成27年4月＞ 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II Study Abroad C (※7-7)
兼任	准教授	(47) ＜平成27年4月＞ キャリアデザイン I ※ 情報と社会 ※ 法学概論 (国際法を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		辞任
兼任	准教授	(46) ＜平成27年4月＞ 健康科学 ※
専	准教授	(49) ＜平成27年4月＞ 児童・家庭福祉論 社会的養護 保育実習指導 I ※ 保育実習指導 II ※ 保育実習 I 保育実習 II 保育実践演習 リエゾンゼミ I (基礎演習) リエゾンゼミ II (福祉実践演習) リエゾンゼミ III (専門演習 I) リエゾンゼミ IV (専門演習 II) 卒業論文
兼任	准教授	(61) ＜平成29年4月＞ 教育相談の理論と方法 B
兼任	准教授	(51) ＜平成27年4月＞ スポーツ I スポーツの心理学
兼任	准教授	(53) ＜平成28年4月＞ 生涯発達心理学概論 生涯発達心理学各論
兼任	准教授	(55) ＜平成27年4月＞ 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II アジアカンパニオン ※ Study Abroad C (※7-7)
兼任	准教授	(48) ＜平成27年4月＞ キャリアデザイン I ※ インターンシップ I ※ 情報と社会 ※ 法学概論 (国際法を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		アジアカンパニオン ※
兼任	准教授	(47) ＜平成27年4月＞ 病弱者の心理・生理・病理 ※
専	准教授	(50) ＜平成27年4月＞ 児童・家庭福祉論 社会的養護 保育実習指導 I ※ 保育実習指導 II ※ 保育実習 I 保育実習 II 教育実習 (幼・小) の事前指導 保育実践演習 リエゾンゼミ I (基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミ II (福祉実践演習) リエゾンゼミ III (専門演習 I) リエゾンゼミ IV (専門演習 II) 卒業論文
兼任	教授	(62) ＜平成29年4月＞ 教育相談の理論と方法 B
兼任	准教授	(52) ＜平成27年4月＞ スポーツ I スポーツの心理学
兼任	准教授	(54) ＜平成28年4月＞ 生涯発達心理学概論 生涯発達心理学各論
兼任	准教授	(56) ＜平成27年4月＞ 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II アジアカンパニオン ※ Study Abroad C (※7-7)
兼任	准教授	(49) ＜平成27年4月＞ キャリアデザイン I ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※ 情報と社会 ※ 法学概論 (国際法を含む)
		(59)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
		アジアカンパニオン ※
兼任	准教授	(48) ＜平成27年4月＞ 病弱者の心理・生理・病理 ※
兼任	准教授	(51) ＜平成27年4月＞ 児童・家庭福祉論 社会的養護 保育実習指導 I ※ 保育実習指導 II ※ 保育実習 I 保育実習 II 教育実習 (幼・小) の事前事後指導 教育実習 (幼・小) 保育実践演習 リエゾンゼミ II (福祉実践演習) リエゾンゼミ III (専門演習 I) リエゾンゼミ IV (専門演習 II) 卒業論文
兼任	教授	(63) ＜平成29年4月＞ 教育相談の理論と方法 B
兼任	准教授	(53) ＜平成27年4月＞ スポーツ I スポーツの心理学
兼任	准教授	(55) ＜平成28年4月＞ 生涯発達心理学概論 生涯発達心理学各論
兼任	准教授	(57) ＜平成27年4月＞ 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II アジアカンパニオン ※ Study Abroad C (※7-7)
兼任	准教授	(50) ＜平成27年4月＞ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※ 情報と社会 ※ 法学概論 (国際法を含む)
		(60)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	(48) <平成27年4月> 情報処理実習
兼任	准教授	(44) <平成27年4月> 心理学の基礎 心理学概論
兼任	准教授	(48) <平成28年4月> 教育社会学各論 教育社会学概論B
兼任	准教授	(49) <平成27年10月> 地域減災論 I 災害と社会
兼任	准教授	(40) <平成28年4月> 心理学概論 人間関係論
兼任	准教授	(43) <平成27年10月> 生物学の基礎 キャリアデザイン I ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	(48) <平成27年4月> 情報処理実習
兼任	准教授	(44) <平成27年4月> 心理学の基礎 心理学概論
兼任	准教授	(48) <平成28年4月> 教育社会学各論 教育社会学概論B
兼任	准教授	(49) <平成27年10月> 地域減災論 I 災害と社会
兼任	准教授	(40) <平成28年4月> 心理学概論 人間関係論
兼任	准教授	(42) <平成27年4月> キャリアデザイン I ※
兼任	准教授	(54) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II Study Abroad B(北米) Study Abroad D(ヨーロッパ)
兼任	准教授	(45) <平成27年4月> アジア共同体に向けて※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	准教授	(43) <平成27年10月> 生物学の基礎 キャリアデザイン I ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	(49) <平成27年4月> 情報処理実習 インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	准教授	(45) <平成27年4月> 心理学概論
兼任	准教授	(49) <平成28年4月> 教育社会学各論
兼任	准教授	(50) <平成27年10月> 災害と社会
兼任	准教授	(41) <平成28年4月> 心理学概論 人間関係論
兼任	准教授	(43) <平成27年4月> インターンシップ I ※ キャリアデザイン I ※
兼任	准教授	(55) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II Study Abroad B(北米) Study Abroad D(ヨーロッパ)
兼任	准教授	(46) <平成27年4月> アジア共同体に向けて※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※ Study Abroad A(アジア)
兼任	准教授	(44) <平成27年10月> 生物学の基礎 キャリアデザイン I ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	<平成29年4月> スポーツ I
兼任	准教授	(50) <平成27年4月> インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	准教授	(46) <平成27年4月> 心理学概論 生涯発達心理学概論
兼任	准教授	(53) <平成28年4月> 生涯発達心理学概論 教育心理学各論
兼任	准教授	(50) <平成28年4月> 教育社会学各論
兼任	准教授	(51) <平成27年10月> 災害と社会
兼任	准教授	(42) <平成28年4月> 心理学概論 人間関係論
兼任	准教授	(56) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II Study Abroad D(ヨーロッパ) アジア共同体に向けて※
兼任	准教授	(47) <平成27年4月> アジア共同体に向けて※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※ Study Abroad A(アジア)
兼任	准教授	(45) <平成27年10月> 生物学の基礎 キャリアデザイン I ※
兼任	講師	(51) <平成29年4月> スポーツ医学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	<平成29年4月> スポーツ I レクリエーション論
兼任	准教授	(51) <平成27年4月> インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	准教授	(47) <平成27年4月> 心理学概論 生涯発達心理学概論
兼任	准教授	(54) <平成28年4月> 教育心理学各論
兼任	准教授	(51) <平成28年4月> 教育社会学各論
兼任	准教授	(52) <平成27年10月> 災害と社会
兼任	准教授	(43) <平成28年4月> 心理学概論 人間関係論
兼任	准教授	(45) <平成27年4月> 地域共創実学教育 I ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	准教授	(57) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F Study Abroad D(ヨーロッパ) アジア共同体に向けて※
兼任	准教授	伊 永洙 (48) <平成27年4月> アジア共同体に向けて※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※ Study Abroad A(アジア)
兼任	准教授	(46) <平成27年10月> 生物学の基礎
兼任	講師	(52) <平成29年4月> スポーツ医学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(38) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II
兼任	講師	(38) <平成27年4月> キャリアデザイン I ※ キャリアデザイン II ※ キャリアデザイン III ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	講師	(34) <平成27年4月> 経済学の基礎 経済原論 (国際経済を含む) キャリアデザイン I ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	講師	(49) <平成28年4月> 臨床心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(42) <平成27年4月> 現代福祉の基礎
兼任	講師	(38) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F Study Abroad C (オセアニア) グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II
兼任	講師	(38) <平成27年4月> Study Abroad A(アジア) キャリアデザイン I ※ キャリアデザイン II ※ キャリアデザイン III ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	講師	(34) <平成27年4月> 経済学の基礎 経済原論 (国際経済を含む) キャリアデザイン I ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	講師	(31) <平成28年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D Study Abroad C (オセアニア)
兼任	講師	(50) <平成28年4月> 臨床心理学
兼任	講師	(30) <平成29年4月> アジア共同体に向けて ※ 現代社会を見る眼 ※ Study Abroad C (オセアニア)
兼任	講師	(48) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(43) <平成27年4月> 現代福祉の基礎
兼任	講師	(39) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F Study Abroad C (オセアニア) グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II
兼任	講師	(39) <平成27年4月> Study Abroad A(アジア) キャリアデザイン I ※ キャリアデザイン II ※ キャリアデザイン III ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※ 地域活性化マネジメント論 ※
兼任	講師	(35) <平成27年4月> 経済学の基礎 経済原論 (国際経済を含む) キャリアデザイン I ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	講師	(31) <平成28年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D Study Abroad C (オセアニア)
兼任	講師	(50) <平成28年4月> 臨床心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(44) <平成27年4月> 現代福祉の基礎
兼任	講師	(40) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F Study Abroad C (オセアニア) グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II キャリアデザイン I ※
兼任	准教授	(49) <平成29年4月> 健康科学 体育科の指導法
兼任	准教授	(40) <平成27年4月> Study Abroad A(アジア) キャリアデザイン I ※ キャリアデザイン II ※ キャリアデザイン III ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※ 地域活性化マネジメント論 ※
兼任	講師	(40) <平成29年4月> スポーツ医学 ※
兼任	准教授	(36) <平成27年4月> 経済学の基礎 経済原論 (国際経済を含む) キャリアデザイン I ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
兼任	講師	(32) <平成28年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D
兼任	准教授	(51) <平成28年4月> 臨床心理学
兼任	講師	(29) <平成29年4月> Study Abroad C (オセアニア)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(45) <平成27年4月> 現代福祉の基礎
兼任	講師	(41) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F Study Abroad C (オセアニア) グローバルコミュニケーション I グローバルコミュニケーション II
兼任	講師	(50) <平成29年4月> 健康科学 体育科の指導法 体育科教材研究
兼任	准教授	(41) <平成27年4月> Study Abroad A(アジア) キャリアデザイン I ※ キャリアデザイン II ※ キャリアデザイン III ※ インターンシップ I ※ インターンシップ II ※ 地域活性化マネジメント論 ※
兼任	准教授	(37) <平成27年4月> 経済学の基礎 経済原論 (国際経済を含む) インターンシップ I ※ インターンシップ II ※
		辞任
兼任	講師	(30) <平成29年4月> アジア共同体に向けて ※ 現代社会を見る眼 ※ Study Abroad C (オセアニア)
兼任	講師	(48) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(36) <平成27年4月>
兼任 講師		(51) <平成29年4月> 健康心理アセスメント概論
兼任 講師		(40) <平成27年4月> 統計学の基礎 発達心理アセスメント概論
兼任 講師		(45) <平成28年4月> 家族社会学 家庭支援論
兼任 講師		(42) <平成27年4月> リスクと社会 地域活性化マネジメント論※ キャリアデザインⅠ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(36) <平成27年4月>
兼任 講師		児童・家庭福祉論※
兼任 講師		(40) <平成27年4月> 統計学の基礎 発達心理アセスメント概論
兼任 講師		(44) <平成27年4月> 福祉社会学 家族社会学 家庭支援論
兼任 講師		(42) <平成27年4月> リスクと社会 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域活性化マネジメント論※ キャリアデザインⅠ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(37) <平成27年4月>
兼任 講師		社会的養護内容 保育実習指導Ⅰ※ リエゾンゼミⅡ (福祉実践演習) 児童・家庭福祉論※
兼任 講師		(41) <平成27年4月> 統計学の基礎 発達心理アセスメント概論
兼任 講師		(45) <平成27年4月> 福祉社会学 インターンシップⅠ※ 家族社会学 家庭支援論
兼任 准教授		(43) <平成27年4月> リスクと社会 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域活性化マネジメント論※ キャリアデザインⅠ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(39) <平成28年4月>
兼任 講師		保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 家庭支援論 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 教育実習(幼・小)の事前指導 リエゾンゼミⅡ (福祉実践演習)
兼任 講師		(51) <平成29年4月> 健康心理アセスメント概論
兼任 講師		(33) <平成28年4月> 心理学の基礎 家族心理学
兼任 講師		(42) <平成27年4月> 統計学の基礎 発達心理アセスメント概論 教育心理学概論B
兼任 講師		(46) <平成27年4月> 福祉社会学 地域共創実学教育Ⅰ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ 家族社会学 家庭支援論
兼任 講師		(49) <平成28年4月> インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任 准教授		(44) <平成27年4月> リスクと社会 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ 地域活性化マネジメント論※ キャリアデザインⅠ※ キャリアデザインⅡ※ キャリアデザインⅢ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(41) <平成28年4月>
兼任 講師		子どもの保健Ⅰ※ 子どもの保健Ⅱ※ 児童・家庭福祉論 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 家庭支援論 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) リエゾンゼミⅡ (福祉実践演習)
兼任 講師		(52) <平成29年4月> 健康心理アセスメント概論
兼任 講師		(34) <平成28年4月> 心理学の基礎 家族心理学
兼任 講師		(43) <平成27年4月> 統計学の基礎 発達心理アセスメント概論 教育心理学概論B
兼任 講師		(47) <平成27年4月> ことばと表現※ スポーツ社会学 福祉社会学 地域共創実学教育Ⅰ※ インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ 家族社会学 家庭支援論
兼任 准教授		(45) <平成27年4月> リスクと社会 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※ 地域活性化マネジメント論※ キャリアデザインⅡ※ キャリアデザインⅢ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	講師	(35) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論
		保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習
		(35) <平成27年4月> キャリアデザインⅠ※
		情報と社会※
		(31) <平成27年4月> 心理学の基礎
		(31) <平成27年4月> 情報と社会※
		(43) <平成28年4月> 社会学原論
兼任	講師	(59) <平成28年4月> 家庭科概論 家庭科の指導法
		(49) <平成28年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D
兼任	講師	(56) <平成28年10月> 博物館資料論
		(59) <平成28年4月> 保育の心理学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	講師	(35) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論
		保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習
		(35) <平成27年4月> キャリアデザインⅠ※
		情報と社会※
		(31) <平成27年4月> 心理学の基礎
		(31) <平成27年4月> 情報と社会※
		(43) <平成28年4月> 社会学原論
兼任	講師	(59) <平成28年4月> 家庭科概論 家庭科の指導法
		(49) <平成28年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D
兼任	講師	(56) <平成28年10月> 博物館資料論
		(59) <平成28年4月> 保育の心理学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	講師	(36) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論 リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)
		保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習
		(36) <平成27年4月> インターンシップⅠ※ キャリアデザインⅠ※
		情報と社会※
		(32) <平成27年4月> 心理学の基礎
		(32) <平成27年4月> 情報と社会※
		(43) <平成28年4月> 社会学原論
兼任	講師	(59) <平成28年4月> 家庭科概論 家庭科の指導法
		(49) <平成28年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D
兼任	講師	(56) <平成28年10月> 博物館資料論
		(59) <平成28年4月> 保育の心理学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
		辞任
兼任	講師	(44) <平成29年4月> 地域活性化マネジメント論※
		(37) <平成27年4月> インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ キャリアデザインⅠ※ 情報と社会※
		(33) <平成27年4月> 心理学の基礎
		(33) <平成27年4月> 情報処理実習 情報と社会※
		(44) <平成28年4月> 社会学原論
兼任	講師	(60) <平成28年4月> 家庭科概論 家庭科の指導法
		(50) <平成28年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D
兼任	講師	(57) <平成28年10月> 博物館資料論
		辞任

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※
兼任	講師	(45) <平成29年4月> 地域活性化マネジメント論※
		(38) <平成27年4月> インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ 情報と社会※
		(34) <平成27年4月> 心理学の基礎
		(34) <平成27年4月> 情報処理実習 情報と社会※
		(45) <平成28年4月> 社会学原論
兼任	講師	(29) <平成30年4月> 地域共創実学教育Ⅰ※ 地域活性化マネジメント論※
		(28) <平成30年4月> 日本国憲法 法の基礎
兼任	講師	(45) <平成28年4月> 社会学原論
		(51) <平成28年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F
兼任	講師	(58) <平成28年10月> 博物館資料論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(60) <平成28年10月> 理科教材研究(実験) 理科の指導法
兼任	講師	(45) <平成28年4月> 社会教育行政論 社会教育施設論
兼任	講師	(71) <平成29年4月> 図書館情報技術論
兼任	講師	(47) <平成29年4月> 現代社会と社会教育Ⅱ
兼任	講師	(39) <平成28年4月> 保育内容研究(運動あそび)
兼任	講師	(58) <平成28年10月> 家庭科教材研究 家庭科の指導法
兼任	講師	(69) <平成28年4月> 教育法規
兼任	講師	(46) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	講師	(67) <平成28年4月> 視覚障害者教育総論
兼任	講師	(44) <平成27年4月> 教育社会学各論 教育社会学概論A 情報処理実習
兼任	講師	(52) <平成27年4月> ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ ハンゲル講座Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(57) <平成27年4月> 子どもの食と栄養※
兼任	講師	(54) <平成27年4月> 情報処理論
兼任	講師	(46) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	講師	(44) <平成28年4月> 教育社会学各論 教育社会学概論A
兼任	講師	(52) <平成27年4月> ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ ハンゲル講座Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(60) <平成28年10月> 理科教材研究(実験)
兼任	講師	(45) <平成28年4月> 社会教育行政論 社会教育施設論
兼任	講師	(58) <平成27年4月> 子どもの食と栄養※
兼任	講師	(39) <平成28年4月> 保育内容研究(運動あそび)
兼任	講師	(55) <平成27年4月> 情報処理論
兼任	講師	(58) <平成28年10月> 家庭科教材研究 家庭科の指導法
兼任	講師	(69) <平成28年4月> 教育法規の研究
兼任	講師	(47) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	講師	(68) <平成28年4月> 視覚障害者教育総論
兼任	講師	(45) <平成28年4月> 教育社会学各論 教育社会学概論B
兼任	講師	(53) <平成27年4月> ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ ハンゲル講座Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(61) <平成28年10月> 理科教材研究(実験)
兼任	講師	(46) <平成28年4月> 社会教育行政論 社会教育施設論
兼任	講師	(59) <平成27年4月> 子どもの食と栄養※
		辞任
		辞任
兼任	講師	(40) <平成28年4月> 保育内容研究(運動あそび)
兼任	講師	(45) <平成29年4月> 図書館情報技術論
兼任	講師	(56) <平成27年4月> 情報処理論
兼任	講師	(59) <平成28年10月> 家庭科教材研究 家庭科の指導法
兼任	講師	(70) <平成28年4月> 教育法規の研究
兼任	講師	(48) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	講師	(69) <平成28年4月> 視覚障害者教育総論
兼任	講師	(45) <平成28年4月> 教育社会学各論 教育社会学概論B
兼任	講師	(54) <平成27年4月> ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ ハンゲル講座Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(62) <平成28年10月> 理科教材研究(実験)
兼任	講師	(47) <平成28年4月> 社会教育施設論
兼任	講師	(60) <平成27年4月> 子どもの食と栄養※
兼任	講師	(41) <平成28年4月> 保育内容研究(運動あそび)
兼任	講師	(46) <平成29年4月> 図書館情報技術論 図書館サービス特論
兼任	講師	(57) <平成27年4月> 情報処理論
兼任	講師	(60) <平成28年10月> 家庭科教材研究 家庭科の指導法
兼任	講師	(71) <平成28年4月> 教育法規の研究
兼任	講師	(49) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	講師	(70) <平成28年4月> 視覚障害者教育総論
兼任	講師	(45) <平成28年4月> 教育社会学各論 教育社会学概論B
		辞任
兼任	講師	(50) <平成30年4月> ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(57) <平成28年4月> 特別活動の指導法A
兼任	講師	(66) <平成28年4月> 社会科教材研究 社会科の指導法
兼任	講師	(69) <平成27年4月> 子どもの保健 I 子どもの保健 II
兼任	講師	(74) <平成29年4月> 聴覚障害者の生理・病理
兼任	講師	(47) <平成27年4月> 子どもの保健 I 子どもの保健 II
兼任	講師	(40) <平成27年4月> 社会学の基礎
兼任	講師	(60) <平成27年4月> ボランティア論
兼任	講師	(67) <平成28年4月> 国語科の指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(47) <平成27年4月> スポーツ I
兼任	講師	(69) <平成27年4月> 子どもの保健 I 子どもの保健 II
兼任	講師	(47) <平成27年4月> 子どもの保健 I 子どもの保健 II
兼任	講師	(40) <平成27年4月> 社会学の基礎
兼任	講師	(60) <平成27年4月> ボランティア論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(42) <平成28年4月> 社会学原論
		辞任
兼任	講師	(57) <平成28年4月> 特別活動の指導法A
兼任	講師	(58) <平成28年4月> 特別活動の指導法A
兼任	講師	(48) <平成27年4月> スポーツ I
兼任	講師	(67) <平成28年4月> 社会科教材研究 社会科の指導法
兼任	講師	(70) <平成27年4月> 子どもの保健 I 子どもの保健 II
兼任	講師	(48) <平成27年4月> 子どもの保健 I 子どもの保健 II
兼任	講師	(41) <平成27年4月> 社会学の基礎
兼任	講師	(39) <平成28年4月> 地域減災論 I ※
兼任	講師	(61) <平成27年4月> ボランティア論
兼任	講師	(67) <平成28年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(43) <平成28年4月> 社会学原論
兼任	講師	(43) <平成29年4月> 地域減災論 I ※
兼任	講師	(58) <平成28年4月> 特別活動の指導法A
兼任	講師	(59) <平成28年4月> 特別活動の指導法A
兼任	講師	(49) <平成27年4月> スポーツ I
兼任	講師	(68) <平成28年4月> 社会科教材研究 社会科の指導法
		辞任
兼任	講師	(35) <平成29年4月> 地域減災論 I ※
		辞任
兼任	講師	(52) <平成29年10月> 聴覚障害者の生理・病理
兼任	講師	(49) <平成27年4月> 子どもの保健 I 子どもの保健 II
兼任	講師	(42) <平成27年4月> 社会学の基礎
兼任	講師	(30) <平成28年4月> 地域減災論 I ※
兼任	講師	(62) <平成27年4月> ボランティア論
兼任	講師	(68) <平成28年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	(44) <平成28年4月> 社会学原論
兼任	講師	(44) <平成29年4月> 地域減災論 I ※
兼任	講師	(59) <平成28年4月> 特別活動の指導法A
兼任	講師	(60) <平成28年4月> 特別活動の指導法A
兼任	講師	(50) <平成27年4月> スポーツ I
兼任	講師	(69) <平成28年4月> 社会科教材研究 社会科の指導法
		辞任
兼任	講師	(50) <平成27年4月> 子どもの保健 I 子どもの保健 II
兼任	講師	(43) <平成27年4月> 社会学の基礎
兼任	講師	(39) <平成30年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II
兼任	講師	(63) <平成27年4月> ボランティア論
兼任	講師	(69) <平成28年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(51) <平成29年4月> キャリアデザインⅢ※
兼任	講師	(58) <平成27年4月> ハングル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハングル講座Ⅱ ハングル講座Ⅲ
兼任	講師	(58) <平成29年4月> 現代社会と社会教育Ⅰ
兼任	講師	(49) <平成28年4月> 地域活性化マネジメント論※
兼任	講師	(56) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	講師	(52) <平成28年4月> 倫理学入門 倫理学概論
兼任	講師	(72) <平成29年4月> 知的障害者の心理・生理・病理※ ※ 肢体不自由者の心理・生理・病理※ ※ 病弱者の心理・生理・病理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(51) <平成29年4月> キャリアデザインⅢ※
兼任	講師	(45) <平成27年4月> 禅のこころ
兼任	講師	(61) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ
兼任	講師	(58) <平成27年4月> ハングル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハングル講座Ⅱ ハングル講座Ⅲ
兼任	講師	(49) <平成28年4月> 地域活性化マネジメント論※
兼任	講師	(56) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(52) <平成29年4月> キャリアデザインⅢ※
兼任	講師	(46) <平成27年4月> 禅のこころ
兼任	講師	(62) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	(59) <平成27年4月> ハングル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハングル講座Ⅱ ハングル講座Ⅲ
兼任	講師	(50) <平成28年4月> 地域共創実学教育Ⅱ※
兼任	講師	(48) <平成28年10月> 道徳の教材研究
兼任	講師	(57) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	講師	(52) <平成28年4月> 倫理学概論
兼任	講師	(50) <平成28年4月> 地域減災論Ⅰ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(47) <平成27年4月> 禅のこころ
兼任	講師	(63) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	(60) <平成27年4月> ハングル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハングル講座Ⅱ ハングル講座Ⅲ
兼任	講師	(58) <平成29年4月> 現代社会と社会教育Ⅰ
兼任	講師	(51) <平成28年4月> 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※
兼任	講師	(49) <平成28年10月> 道徳の教材研究
兼任	講師	(58) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 実用中国語A 実用中国語B
兼任	講師	(53) <平成28年4月> 倫理学概論
兼任	講師	(51) <平成28年4月> 地域減災論Ⅰ※
兼任	講師	(62) <平成29年4月> 知的障害者の心理・生理・病理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	(48) <平成27年4月> 禅のこころ
兼任	講師	(58) <平成30年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ
兼任	講師	(64) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	(61) <平成27年4月> ハングル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハングル講座Ⅱ ハングル講座Ⅲ
兼任	講師	(60) <平成29年4月> 現代社会と社会教育Ⅰ
兼任	講師	(52) <平成28年4月> 地域共創実学教育Ⅱ※ 地域共創実学教育Ⅲ※
兼任	講師	(59) <平成27年4月> 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 実用中国語A 実用中国語B
兼任	講師	(38) <平成30年4月> 地域減災論Ⅰ※
兼任	講師	(54) <平成28年4月> 倫理学概論
兼任	講師	(52) <平成28年4月> 地域減災論Ⅰ※
兼任	講師	(63) <平成29年4月> 知的障害者の心理・生理・病理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	(52) ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ※
兼任	講師	(49) ＜平成28年4月＞ 地域活性化マネジメント論※ スポーツⅠ
兼任	講師	(65) ＜平成29年4月＞ 考古学特殊講義 考古学実習
兼任	講師	(57) ＜平成27年4月＞ ドイツ語Ⅰ (コミュニケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B
兼任	講師	(63) ＜平成28年4月＞ 地域活性化マネジメント論※
兼任	講師	(41) ＜平成27年4月＞ 禅のこころ
兼任	講師	(42) ＜平成29年4月＞ 現代社会と社会教育Ⅰ
兼任	講師	(65) ＜平成29年4月＞ 社会的養護内容
兼任	講師	(53) ＜平成27年4月＞ 生涯スポーツ論
兼任	講師	(54) ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	(58) ＜平成27年4月＞ 健康科学※
兼任	講師	(57) ＜平成27年4月＞ ドイツ語Ⅰ (コミュニケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B
兼任	講師	(41) ＜平成27年4月＞ 禅のこころ
兼任	講師	(47) ＜平成27年4月＞ 情報処理論
兼任	講師	(53) ＜平成27年4月＞ 生涯スポーツ論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	(50) ＜平成28年4月＞ 地域活性化マネジメント論※ スポーツⅠ
兼任	講師	(59) ＜平成27年4月＞ 健康科学※
兼任	講師	(58) ＜平成27年4月＞ ドイツ語Ⅰ (コミュニケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B
兼任	講師	(63) ＜平成28年4月＞ 地域活性化マネジメント論※
兼任	講師	(44) ＜平成28年4月＞ スポーツⅠ
兼任	講師	(42) ＜平成27年4月＞ 禅のこころ
兼任	講師	(48) ＜平成27年4月＞ 情報処理論
兼任	講師	(54) ＜平成27年4月＞ 生涯スポーツ論
兼任	講師	(54) ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ※
兼任	講師	(44) ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅠ※ キャリアデザインⅡ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	(51) ＜平成28年4月＞ 地域活性化マネジメント論※ スポーツⅠ
兼任	講師	(59) ＜平成27年4月＞ ドイツ語Ⅰ (コミュニケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B
兼任	講師	(64) ＜平成28年4月＞ 地域活性化マネジメント論※
兼任	講師	(45) ＜平成28年4月＞ スポーツⅠ
兼任	講師	(43) ＜平成27年4月＞ 禅のこころ
兼任	講師	(68) ＜平成29年4月＞ スポーツⅠ
兼任	講師	(49) ＜平成27年4月＞ 情報処理論
兼任	講師	(55) ＜平成27年4月＞ 生涯スポーツ論
兼任	講師	(45) ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅠ※ キャリアデザインⅡ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	(52) ＜平成28年4月＞ 地域活性化マネジメント論※ スポーツⅠ
兼任	講師	(60) ＜平成27年4月＞ ドイツ語Ⅰ (コミュニケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B
兼任	講師	(54) ＜平成30年4月＞ 英語Ⅰ (コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ
兼任	講師	(46) ＜平成28年4月＞ スポーツⅠ
兼任	講師	(44) ＜平成27年4月＞ 禅のこころ
兼任	講師	(69) ＜平成29年4月＞ スポーツⅠ
兼任	講師	(50) ＜平成27年4月＞ 情報処理論
兼任	講師	(56) ＜平成27年4月＞ 生涯スポーツ論
兼任	講師	(46) ＜平成28年4月＞ キャリアデザインⅡ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼任	講師	担当授業科目名
		<平成28年4月> 国語科教材研究 国語科の指導法 道徳の指導法 A
兼任	講師	(48) <平成29年4月> 児童サービス論
		(40) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II Study Abroad A (アジア)
兼任	講師	(50) <平成27年4月> 情報処理実習 情報処理応用実習
兼任	講師	(56) <平成27年4月> 表現技術 I (音楽) 表現技術 II (音楽)
兼任	講師	(43) <平成27年4月> ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼任	講師	(40) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II Study Abroad A (アジア)
兼任	講師	(50) <平成27年4月> 情報処理実習 情報処理応用実習
兼任	講師	(56) <平成27年4月> 表現技術 I (音楽) 表現技術 II (音楽)
兼任	講師	(43) <平成27年4月> ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼任	講師	<平成28年4月> 国語科教材研究 国語科の指導法
兼任	講師	(68) <平成28年4月> 地域減災論 I ※
兼任	講師	(51) <平成28年4月> 英語 III
兼任	講師	(49) <平成28年4月> 児童サービス論
兼任	講師	(41) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 英語 III 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D Study Abroad A (アジア)
兼任	講師	(47) <平成28年4月> 英語 III
兼任	講師	(51) <平成27年4月> 情報処理実習 情報処理応用実習
兼任	講師	(57) <平成27年4月> 表現技術 I (音楽) 表現技術 II (音楽)
兼任	講師	(44) <平成27年4月> ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼任	講師	<平成28年4月> 初等教育課程の意義と編成※ 国語科の指導法
兼任	講師	(69) <平成28年4月> 地域減災論 I ※
兼任	講師	(52) <平成28年4月> 英語 III
兼任	講師	(50) <平成28年4月> 児童サービス論
兼任	講師	(41) <平成29年4月> 地域減災論 I ※
兼任	講師	(49) <平成29年4月> 生活科の指導法 生活科教材研究
兼任	講師	(40) <平成29年4月> 日本史特殊講義
兼任	講師	(42) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D Study Abroad A (アジア)
兼任	講師	(48) <平成28年4月> 英語 III
兼任	講師	(52) <平成27年4月> 情報処理実習 情報処理応用実習
兼任	講師	(58) <平成27年4月> 表現技術 I (音楽) 表現技術 II (音楽)
兼任	講師	(45) <平成27年4月> ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼任	講師	<平成28年4月> 初等教育課程の意義と編成※
兼任	講師	(56) <平成30年4月> 地域減災論 I ※
兼任	講師	辞任
兼任	講師	(47) <平成30年4月> 禅のこころ
兼任	講師	(53) <平成28年4月> 英語 III
兼任	講師	(51) <平成28年4月> 児童サービス論
兼任	講師	(42) <平成29年4月> 地域減災論 I ※
兼任	講師	(50) <平成29年4月> 生活科の指導法 生活科教材研究
兼任	講師	(43) <平成27年4月> 英語 I (コミュニケーションを含む) 英語 II 実用英語 A 実用英語 B 実用英語 C 実用英語 D 実用英語 E 実用英語 F Study Abroad A (アジア)
兼任	講師	(49) <平成28年4月> 英語 III
兼任	講師	(53) <平成27年4月> 情報処理実習 情報処理応用実習
兼任	講師	(59) <平成27年4月> 表現技術 I (音楽) 表現技術 II (音楽)
兼任	講師	(46) <平成27年4月> ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		教育学特殊講義Ⅱ
兼任	講師	<平成29年10月>
		教育学特殊講義Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		教育学特殊講義Ⅱ (教育デジタルコンテンツ作成論)
兼任	講師	<平成29年10月>
		教育学特殊講義Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		教育学特殊講義Ⅱ (教育デジタルコンテンツ作成論)
兼任	講師	<平成29年10月>
		教育学特殊講義Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		教育学特殊講義Ⅱ (教育デジタルコンテンツ作成論)
兼任	講師	<平成29年10月>
		教育学特殊講義Ⅲ

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

--

【平成28年度】

--

【平成29年度】

【平成30年度】

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
13 名	7 名

教育学部教育学科全体

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
23	12	5	4	44	26	20	5	1	52	26	20	5	1	52
(24)	(13)	(9)	(2)	(48)						[3]	[8]	[0]	[Δ3]	[8]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{52}{44} = \boxed{118.18} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{52} = \boxed{1.92} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授		選択	日本文化史	①	辞任（病気療養のため）（平成27年3月）(27)	
			選択	日本思想史	①		
			必修	エゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①		
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①		
			選択	卒業論文	①		
2	准教授		選択	特別支援教育総論	①	辞任（一身上の都合のため）（平成27年3月）(27)	
			選択	教職論B	①		
			選択	教育実践活動Ⅰ	①		
			選択	特別支援教育実習の事前指導	①		
			選択	特別支援教育実習の事前事後指導	①		
			選択	特別支援教育実習	①		
			選択	教職実践演習	①		
			必修	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	①		
			必修	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	①		
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①		
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①		
			選択	卒業論文	①		
			合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	11 科目	選択	11 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	17 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授		選択	知的障害者教育論	①	H30年3.31付で、一身上の都合により辞任(30)
			選択	自閉症者教育総論	①	
			選択	特別支援教育実習の事前指導	①	
			選択	特別支援教育実習の事前事後指導	①	
			選択	特別支援教育実習	①	
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①	
			選択	卒業論文	①	
			選択	図書館概論	①	
			選択	情報サービス論	①	
			選択	情報サービス演習	①	
			選択	図書館情報資源概論	②	
			選択	情報資源組織論	①	
			選択	情報資源組織演習	①	
			選択	図書館総合演習	①	

2	准教授	選択	図書館実習	①	H30年3.31付で、一身上の都合により辞任(30)				
		必修	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	①					
		必修	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	①					
		必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①					
		選択	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	①					
		必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	②					
		選択	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	①					
		選択	卒業論文	①					
3	講師	選択	地理学の基礎	①	平成28年1月2日死亡のため辞任(28)				
		選択	自然地理学	①					
		選択	地誌	①					
		選択	地域活性化マネジメント論※	②					
		選択	キャリアデザインⅠ	②					
		選択	インターンシップⅠ	②					
		選択	インターンシップⅡ	②					
		必修	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	①					
		必修	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	①					
		必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①					
		必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①					
		選択	卒業論文	①					
		4	助教	選択		発達障害者教育総論	①	H28年3.31.付、一身上の都合により辞任(28)	
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
4	人	必修	10 科目	必修	9 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	26 科目	選択	21 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	36 科目	計	30 科目	計	6 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
6	人	必修	16 科目	必修	15 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	37 科目	選択	32 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	53 科目	計	47 科目	計	6 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{6}{44} = \boxed{13.63} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

添付資料「別紙3」 就業規則（関連部分） 「別紙4」 嘱託教授任用規定」を参照

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授		選択	教育心理学概論B	①	H30. 3. 31付け73歳で定年延長後に退職 (30)
			選択	教育心理学各論	②	
			選択	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む) A	①	
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①	
			選択	卒業論文	①	
2	准教授		選択	国語科概論(書写を含む)	①	H30. 3. 31付け70歳で定年退職 (30)
			選択	国語科教材研究	①	
			選択	教育実習(幼・小)の事前指導	①	
			選択	教育実習(幼・小)の事前事後指導	①	
			選択	教育実習(幼・小)	①	
			選択	教職実践演習	①	
			必修	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	①	
			必修	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	①	
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①	
			選択	卒業論文	①	
3	教授		選択	生涯発達心理学概論	②	H29. 3. 31付け73歳で定年延長後に退職 (29)
			選択	生涯発達心理学各論	②	
			選択	保育の心理学Ⅰ	①	
			選択	保育の心理学Ⅱ	①	
			選択	保育相談支援	②	
			選択	障害児保育	②	
4	教授		選択	聴覚障害者教育論	①	H28. 3. 31付け74歳で定年延長後に嘱託教授1年就任してから退職 (29)
5	教授		選択	地理歴史科指導法	①	H29. 3. 31付け70歳で定年退職 (29)
			選択	教育実習(中・高)の事前指導	①	
			選択	教育実習(中・高)の事前事後指導	①	
			選択	教育実習(中・高)	①	
			選択	教職実践演習	①	
			選択	考古学各論	①	
			選択	考古学実習	①	
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①	
			選択	卒業論文	①	
6	教授		選択	生活科概論	①	H28. 3. 31付け70歳で定年退職 (28)
			選択	生活科教材研究	①	
			選択	教育実践活動Ⅲ	①	
			選択	教職論A	①	
			選択	生活科の指導法	①	
			選択	教育実習(幼・小)の事前指導	①	
			選択	教育実習(幼・小)の事前事後指導	①	
			選択	教育実習(幼・小)	①	
			選択	教職実践演習	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①	
			選択	卒業論文	①	
			7	教授		
選択	古文書学各論	①				
選択	古文書学実習	①				
必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①				

		必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①			
		選択	卒業論文	①			
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
7 人	必修	11	科目	必修	11	科目	
	選択	40	科目	選択	35	科目	
	自由	0	科目	自由	0	科目	
	計	51	科目	計	46	科目	
		必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>大学の所見：</p> <p>辞任した教員が2名出たが、既に2名が担当していた科目の担当者を含めて専任教員を新規に採用している。したがって、教育課程の質の維持に支障はない(27)</p> <p>退職により辞任した2名の専任教員が担当(予定に)していた科目については、すべて他の専任教員または兼任教員が担当するため、提供する教育の質保証や学生の履修に関しては支障はない(28)</p> <p>退職により辞任した専任教員が3名出たが、既に後任の専任教員を採用している。したがって、教育課程の質の維持に支障はない(29)</p> <p>退職により辞任した専任教員が2名出たが、既に後任の専任教員を採用している、あるいは、他の専任教員、兼任教員が担当するため、すべての科目の質が担保されている。したがって、教育課程の質の維持に支障はない(30)</p> <p>学生への周知方法：</p> <p>年度当初から教務部の担当窓口掲示板にて退職教員について告知しているほか、大学ホームページに学科担当教員が公開されており、学生が科目履修や学習面で混乱が生じないように配慮している(27)</p> <p>学生には、年度はじめのガイダンスおよび配布する便覧(抜き刷り)、さらにWeb上の学科サイトにて周知をする(28)</p> <p>学生には、年度はじめのガイダンスおよび配布する便覧(抜き刷り)、さらにWeb上の学科サイトにて周知をする(29)</p> <p>学生には、年度はじめのガイダンスおよび配布する便覧(抜き刷り)、さらにWeb上の学科サイトにて周知をする(30)</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年 2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年 2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年 2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったものに該当する事柄はなし。	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究等の実施に関する対応として「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組」（FD：ファカルティ・ディベロップメント）を行っている。本学は平成13年4月1日にFD委員会を発足させ、定期的に全学FDセミナーを開催している。また、学科等FD委員会も発足させるとともに学科毎FDセミナーも開催している。テーマは単に授業内容の改善、方法、ICTの活用のみではなく、心理学、教育学、医学、福祉学、社会貢献などの分野による、倫理性、知的誠実性を含めた提言など、多岐にわたっている。高度な専門職としての大学教員は、研究などの専門性は求められているが、さらに、「多様な職業人の養成」「社会貢献」なども大学の重要なミッションだと考えている。そこで、本学では社会貢献に力を入れて取り組むとともに、教員の教育業績だけでなく社会貢献へのかかわりを積極的に評価している。

なお、本学における授業内容方法の改善を図るための組織的な取組としてのFD活動は、「FD委員会」がFDに関する施策の検討をし、教務部内に設置されている「教育開発支援室」がFDに関する施策の実施を行う実働機関に位置付けられている。（FD委員会規程及び学科等FD委員会規程は別添資料の別紙1、別紙2の通りである）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は、①大学の役職にある教員（若干名） ②FDに携わる教職員 ③各学科及び各研究科の長の推薦する教員 ④その他、必要と認められる者、から構成されている。そして、委員長は副学長とし、委員会の議長となる。現在（平成30年5月）は、計36名（教員30名、職員6名）の教職員が委員となっている。このような構成員及び出席者により、平成29年～平成30年4月末日において、平成29年3月23日及び5月24日、平成30年4月25日の計3回委員会を開催した。

また、学科等FD委員会は、各学科におけるFD活動を円滑に行うこと目的として、各学科長が必要に応じて設置し、学科長が責任をもって学科等FD委員会を運営することとされている。その構成員は、①全学のFD委員のうち学科に所属する教員、および②学科に所属する教員のうちから学科長が指名した者から成る。教育学科においては、各年度初めに学科FDの計画を立て、毎年計2～3回程度のFDセミナーを開催しており、大学院の教育学研究科等との合同開催も行っている。

c 委員会の審議事項等

FD委員会は、次に掲げる審議（業務）を行う。

- (1) 教育能力向上及び教育改善に資する教育プログラム又は教育システムの企画及び開発
- (2) 研修会の開催
- (3) 授業内容、方法の改善、向上
- (4) 教員間での教育能力向上及び教育改善に関する認識の共有
- (5) 教員の教育、研究、社会貢献、管理運営等に関する資質向上
- (6) 教員の教育能力向上及び教育改善のための調査並びに学習効果の把握等の実施の統括とその分析とその分析を踏まえた教育等の開発、改善及び向上
- (7) 教育業績評価委員会に審査された教員に対する教育能力の支援
- (8) FDの専門家の養成
- (9) 教育等の改善に関する連携支援
- (10) 教育情報分析に関する連携支援
- (11) 成績評価及び学修成果に関する連携支援
- (12) ICTの教育活用及びeラーニングに関する連携支援
- (13) 教育開発に関する連携支援
- (14) 教員個人の自己点検・評価と業績評価の項目検討に関する連携支援
- (15) アカデミック・ポートフォリオ（ティ칭を含む）に関する連携支援
- (16) 職員の職能開発及び資質向上に関する連携支援
- (17) 学科等が行う学修成果の把握・評価に対する連携支援
- (18) 感性福祉研究所との共同による教育能力向上の研究
- (19) 関連福祉施設との共同による教育能力向上の研究
- (20) IRセンターとの共同による教育能力向上の研究
- (21) その他、教育能力向上のために必要と認められる事項

また、学科等FD委員会は、学科長のもと、次に掲げる学科のFDに関する審議（業務）を行う。

- (1) F Dセミナー
- (2) 授業参観（授業公開を含む）
- (3) 内部質保証を目的とした各種調査の実施及び学科会議での結果の報告等
- (4) 学修ポートフォリオお開発及び活用等
- (5) 学修成果の把握及び評価並びにその方法及び指標の開発等
- (6) F Dの教育及び研究への活用等
- (7) F Dの検証及び改善等
- (8) その他、学科のF Dに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

F D委員会規程においては、上述したような審議事項等が定められており、F D活動に関して包括的な議論を進めているが、その都度、焦点を絞って議論と活動を行うことが教育効果に実効性があると考えられるため、具体的には、主に以下の事項を実施している。

- ・ F Dセミナー（全学、学科別研修会）の実施
- ・ 学生アンケート
- ・ 教員アンケート
- ・ 卒業生アンケート
- ・ 授業評価
- ・ GPA
- ・ 追跡調査
- ・ 学修成果の把握
- ・ 中退防止の検証
- ・ 学内教員間相互授業参観・授業公開
- ・ 学外者の意見聴取
- ・ 学生からの意見聴取
- ・ マイ授業ビデオ撮影（自己評価・相互評価）
- ・ F Dセミナー公開Q&A
- ・ ベストティーチャー等
- ・ 志願者動向分析
- ・ 初年次教育の検証
- ・ キャリア教育の検証
- ・ 学修成果の把握
- ・ 3つのポリシーに照らした取り組みの適切性の検証

b 実施方法

(1) F Dセミナーの実施

全学的には、定期的なF Dセミナーを企画し、実施している。F Dセミナーはビデオ撮影して教職員に動画公開しており、欠席の教員も含め、全教員がF Dセミナーに参加できる環境を整備している。同時に資料も公開している。F Dセミナーは、大学院生にも参加を勧めており、プレF Dを兼ねている。また、職員の参加も認めており、職員の資質向上にも役立てている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/plan.html>)

(2) 学生アンケート

本学では、各種学生アンケートを実施し、P D C A（Plan-Do-Check-Action）に基づく教育改善サイクルに役立てている。具体的には、「入学時アンケート」「学修活動アンケート」「学生生活アンケート」「進路・キャリアアンケート」「リエゾンゼミ教育効果アンケート」「卒業時アンケート」などを実施している。これらは、個人情報に配慮された形で集計・分析をした上で次年度の教育内容の改善に活かしている。なお、これらの結果については、ホームページ上に公開されている。

(http://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_student.html)

(3) 教員アンケート

本学では、各種教員アンケートを実施し、P D C A（Plan-Do-Check-Action）に基づく教育改善サイクルに役立てている。また、社会に貢献すると思われる分析と知見は公開している。具体的には、「教員間相互授業聴講・授業公開に関するアンケート」「F Dに関するアンケート」「I C T等の教育活用に関するアンケート」「授業等に関するアンケート」を実施している。2016年度及び2017年度の結果が公表されている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_teacher.html)

(4) 卒業生アンケート

I Rセンターとの共同で「卒業生アンケート」を実施している。アンケート内容としては、「在学中の経験と卒業後の関連」、「在学中の学内施設の利用と卒業後の関連」、「在学中の学び」、「回答者の調査時の大学へ対する思い」、「現在大切にしていること」などを大項目として、中項目、小項目を設け質問している。これらの結果に対しては、大学としてのコメントを付けて公開している。直近の調査としては、2015年度から2016年度の間に東北福祉大学を卒業した通学の正科生に対して、ホームページ上調査への協力を呼びかけを行った上で、Googleのサービスを利用しインターネット上でアンケートの回答を募った。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_graduate.html)

(5) 授業評価

後掲の「③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況」において詳述するため、ここでは省略する。

(6) G P Aの検証

本学では、G P Aを活用し厳格な成績評価による質保証努めている。G P Aの成績評価の分布および平均値について、社会的説明責任、教員間の成績評価基準の平準化とさらなる適正な成績評価、学生の成績の状況に応じた学習支援、学生自らの成績の相対的位置の把握と向上を目的としている。現在、2014年度～2016年度のG P Aの分布を公開してい

る。(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/gpa.html)

(7) 追跡調査

本学は、入学者選抜方法ごとに入学後の成績や活動実績、留年・中退率、卒業後の進路等について調査を行い、入学者選抜方法の妥当性の検証を行っている。現在、2011年度～2014年度および2012年度～2015年度、2013年度～2016年度入学者の追跡調査の結果が表示されているが、教職員のみ公開に留めている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/followup.html)

(8) 学修成果の把握

本学は、学修前（1年次入学時）と学修後（4年次卒業時）の双方の時点において、学修ポートフォリオを用いて学士力と専門性の修得について把握することで、本学における教育・学習の検証を行っている。本学教職員と学生のみが閲覧可能となっている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/grasp.html)

(9) 中退防止の検証

本学は、中退の防止に積極的に取り組んできており、本学の中退率は、1年中退率、卒業までの中退率とも、私立大学の全国平均に比べて、非常に低い数字になっている。また、中退等の調査により中退防止の検証を行っており、中退防止の強化に努めている。現在、2011年度～2016年度中退等防止調査結果を公開している。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/dropout_prevention.html)

(10) 学内教員間相互授業参観・授業公開

本学における授業改善への取り組みの一環として、教員間での授業の相互聴講を実施している。授業設計のコツや展開の方法などテクニカルな要素と同時に、授業運営上の問題となっている事柄についての情報も共有し、解決策を見出すことで授業改善に役立っている。たとえば、教育学科では、土台となっている特別支援教育関連科目や「リエゾンゼミⅠ（基礎演習）」は学科教員の相互授業参観の場となっている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/attend.html)

(11) 学外者の意見聴取

本学では、卒業生のみならず学外者からの意見聴取として、企業、地元産業界、業界別団体、地方自治体、専門職の職能団体等とともに、高校や高大連携関係団体等より意見を聴取し、入試や入学前教育、初年次教育の改善に役立っている。また、入学時アンケートにより、本学の学生募集広報活動や入試、入学前教育に対する評価・意見を聴取し、改善に役立っている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/company.html)

(12) 学生からの意見聴取

本学では、各学科所属の学生より、意見を聴取し、授業や教育プログラムの改善に役立っている。平成28年度の学生意見聴取が本学ホームページ上で掲示されているが、現在は教職員のみ閲覧となっている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/hearing_student.html)

(13) マイ授業ビデオ撮影（自己評価・相互評価）

自らの授業をビデオ撮影して視聴することで、授業の自己評価をすることができるため、本学では授業の授業撮影をすることができる。同時に、教員間あるいは学科等FDで相互評価に活用することができる。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/video.html)

(14) FDセミナー公開Q&A

学内のFDセミナー終了後にセミナー講師に対するご質問、またはFDセミナーに関するご質問をQ&Aとして受け付けている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/qa.html)

(15) ベストティーチャー等

本学は、①教育の質に関して著しく優れた業績を挙げた者、②学生の成長又は学生の学修成果に関して著しく優れた業績を挙げた者、③教育の質の向上に関して著しく優れた業績を挙げた者、④教育の質の向上についての研究に関して著しく優れた業績を挙げた者をベストティーチャーとして表彰し、副賞を授与している。また、グッドティーチャーやグッドレクチャーも表彰している。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/best_teacher.html)

(16) 志願者動向分析

本学は、一般入試・推薦入試・AO入試の志願者動向の分析に取り組んでおり、これからの社会に求められる人材の育成を踏まえ、志願者のニーズに配慮した適切な学生募集と教育の質を保証する適正な定員管理に努めている。現在は2015～2017年度の分析結果が公開されている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/applicant_trend.html)

(17) 初年次教育の検証

本学では、1996年度より少人数クラスごとの1年生ゼミ「人間基礎論」を導入し、早くから初年次教育に取り組んできた。そして、学士力やキャリア教育、高大接続の重視を受けて、2011年度より「リエゾンゼミ」（現在は「リエゾンゼミⅠ」）に改称し、大学生活への適応、汎用的スキルの修得、地域や社会とのつながり、専門へのつながり、キャリア形成を目的とした初年次教育に取り組んでいる。その教育効果の検証については、2011年度より学生アンケートを通して行っているが、よりきめこまかい検証として2015年度より学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）も併用し、改善・向上に取り組んでいる。2016年度の結果が公表されている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/liaison.html)

(18) キャリア教育の検証

本学のキャリア教育では、自らかかわる（主体性）、自ら考える・気づく（課題発見能力など）、自らアクションを起こす（実行力）ことを目標にし、そのために「リエゾン型キャリア教育」を開発した。ここでは、「リエゾンゼミⅠ～Ⅳ」「キャンパスライフ入門」「キャリアデザイン」などの講義・演習科目を通して、1年次から4年次まで段階的・連続的に学びを深めるとともに、インターンシップや福祉ボランティア活動、キャリア支援講座などの実践的科目を通して学びを深める。また、就業力（卒業後、社会的・職業的自立を図るために必要な能力）を踏まえた学修ポートフォリオ

「キャリア形成判定」を開発し、活用している。その教育効果の検証については、2011年度より学生アンケートを通して行っていますが、よりきめこまかい検証として2016年度より学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）も併用している。現在、2016年度キャリア形成（就業力の達成度）の結果が公表されている。
(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/career.html>)

(19) 学修成果の把握

本学では、2013年に「学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）」を定め、学修成果の把握・評価に取り組んでいる。特に、「学士力」「卒業認定・学位授与の方針における学生が身に付けるべき資質・能力」「人間力」「社会力」を把握している。現在は、2016年度の結果が公開されている。
(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/assessment.html>)

(20) 3つのポリシーの検証

本学では、3つのポリシーの検証について、2015年度より全学的に学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）のデータを活用して行っており、その結果、入学者受入れの方針に合う学生が入学し、教育課程編成・実施の方針に基づいて学修に取り組み、学位授与の方針における学生が身に付けるべき資質・能力を高めていることが示されている。現在は、2017年度の結果が公開されている。
(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/3policy.html>)

(21) SD研修会の開催とFDとの連携

本学では職員を中心としてSD研修会を開催しているが、職員だけではなくテーマによってはFD研修会と連携をとりながら開催しており、教職員の情報の共有化を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD関連施策の実施状況は、上記「b 実施方法」で記した通りである。これらのなかで研修会（FDセミナー）の具体的な取り組みは、FD委員会で検討・実施されるが、学科FDセミナーは、各学科でのFD担当者が主体となって実施される。平成29年度の全学FDセミナー（研修会）は、以下のテーマにおいて実施された。参加状況については、各セミナー（研修会）につき80名から153名の参加を得て実施された。

4月19日（「営業秘密について」「コンプライアンス教育」：SD研修会との共催）、5月24日（「リエゾンゼミⅠ研修」「ブックリーディング」「レポート指導の仕方」）、6月21日（「リエゾンゼミⅠ研修」「プレゼンの指導の仕方」）、7月26日（「学生のメンタルヘルス」「障がい学生の理解と支援」）、9月20日（「アカデミックポートフォリオについて」）、10月11日（「新任教員等研修」「研究倫理について」）、11月29日（「キャリア形成支援について」「地域共創について」）、3月14日（「EduTrackの活用法」「模擬授業（アクティブラーニングを含む）」）で各回約60名～130名の出席があった。

また、学科等FDセミナーは、大学院各研究科や通信教育部を含めて延べ33回開催された。そのうち、教育学科においては、本学科が力を入れているICTを活用した授業づくりのできる教員養成のために各教科の指導法等の講義の「タブレットPCを用いた授業方法について」（40台のタブレットを備えた専用教室において12月20日実施）、頭をフル回転させて相手と対話することの力を養うことを教員養成に入れる試みとしての「教師教育にインプロを！」（2月21日実施）、さらに、大学院教育学研究科との共催で「歴史学習・人物学習の陥穽」（12月20日）、「障害理解に向けた疑似体験の意義」（2月21日）を実施した。いずれも、参加を促すため学科会議後に行われ全専任教員の参加があった。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/plan.html>)

さらに、学内SD研修会は、以下の通り開催している。4月19日（「営業秘密について」「コンプライアンス教育」）、6月30日（「3ポリシーに基づく自己点検・評価と内部質保証」「大学教育改革」）、7月10日（「ハラスメント」「学生相談・支援の基礎」）、7月19日（「大学設置に係る関係法令と手続き」）、7月26日（「学生のメンタルヘルス」「障がい学生の理解と支援」）、8月22日～25日（「一般職向け研修：主体性発揮研修」）、8月29日・30日（「指導監督職向け研修：目標管理研修」）、9月27日（「大学のグローバル化を考えるー多様性と共に生きる」）、1月26日（「よくわかる有給休暇」）であり、そのうち4月19日と7月26日はFD研修会との共同開催で有り、教職員一体となって情報共有化に努めた。参加者数は30名～112名であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各種FD活動及びSD活動との連携に関する有効性については、毎年、年度末に教員を対象にFDに関するアンケート調査を実施しその有効性を検証及び改善に努めている。その結果、回答者のうち、全学FDが教育力向上に「かなり役立った」が約3割、「少し役立った」が約6割であった。また、FDサイトについては約9割が閲覧し、情報共有に「かなり役立った」が約3割、「少し役立った」が約5割であった。この結果から、FDが教員の教育に関する資質向上に有効であったことが示された。

また、年度初めに活動計画を立案し、前期終了時に進捗状況を確認し、PDCAサイクルによるFD活動に取り組んでいる。FD委員会の議事録、当該年度の目標と進捗状況、活動報告、FDアンケートの結果は教職員に公開し、FD委員会のFD活動が有効に機能しているかどうかを教職員が確認できるようにしている。さらに、教員の教育研究活動及び社会的な活動等については「教育・研究業績書」としてまとめ、大学ホームページにおいて公表している。

なお、大学としての各教員の教育力評価、研究活動評価、社会貢献や管理業務に関わる評価については、部長学科長会議を構成する者を中心とする「教育業績評価委員会」が設置されており、各種の評価を行っている。

さらに、個別的取り組みとして、リエゾンゼミⅠ（1年次開講科目：全学必修）の教育効果については、入学時（リエゾンゼミⅡは2年次進級時）と比した学士力到達度・専門性・意欲の伸びを学科別に集計・分析され、このアンケート結果に基づき学科会議において授業改善の議論がなされ、次年度のシラバス作成に活かされている。また、卒業時アンケートにおいても、同様に4年間を通して、学士力到達度・専門性・意欲の伸びが学科別に集計され、学科の教育課程のあり方を再検討する際の参考資料となっている。これらの結果について、コメントを付けて公開している。そして、学生アンケートにおいては、それら内容を学科会議において共有するとともに、改善策等を議論している。

次に、入学時アンケートについては、「大学・学科志望順位」「入学後の学業に対する不安」「入学後の生活面での不安」「学内での相談相手」「卒業後の希望進路をと問うことによって、新入生への授業方法や学生相談の方針の改善にも活かしている。

授業評価アンケートについては、下記の③「a 実施の有無及び実施期間」及び「b 教員や学生への公開状況、方法等」に記載した通り、その結果を「授業レベル」（ミクロ）での改善の取り組み、「学科等レベル」（メゾ）及び「全学レベル」（マクロ）での組織的な教育力向上の取り組みへ結びつけている。2016年度後期分に関してみると、①シラバスを学修について見通すために活用する工夫をする。②学習内容・方法について、意欲的、主体的に取り組ませる（アクティブ・ラーニング）ための工夫をする。③「授業後の感想（コメントペーパー等）」や「オフィスアワー」などを活用

し、質問に対するフィードバックを授業中やEduTrackなどで積極的に行う、などが共通の課題としておげられ、共有化が図られた。さらに、教育学科所属教員が実施している授業は受講の95%が「満足」「ほぼ満足」しているが、授業外の時間を使って主体的に調べたり復習する時間をうまく作ることができない受講生もいることがわかり、改善の努力が必要と認識された。

なお、本学の中途退学率は比較的低位に推移しているとはいえ、毎年ある程度の中途退学者を出している現状に鑑み、教務部、キャリアセンター、学生生活支援センター、入学センター、ウエルネス支援室等関係部署からなる委員会を立ち上げて、継続的に対策を検討を行っている。現在、本学での中退率は1.5%前後であり、教育学科においては、これまでに20名程度の中退者にとどまっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では授業評価を行い、結果を集計・分析するとともに担当教員および受講学生にフィードバックしている。

具体的には、授業評価の方法は以下の通りである。

- ・実施学部・学科＝全学部・全研究科において実施する。
- ・実施授業科目＝原則として全授業について実施する。
- ・実施回数・時期＝学期ごとに1回、11回目から15回目に実施する。
- ・配付・回収＝WEB方式（UNIVERSAL PASSPORT）で、無記名で実施する。
- ・評価項目＝共通項目と科目群項目、学科オリジナル項目により構成する。共通項目は、授業改善目的の3つの側面と教員・学生の関わりに基づき、基本属性、受講学生の取り組み方、教員の取り組み方（授業姿勢、授業スキルなど）、授業を受けた結果（学修成果など）、良かった点と改善して欲しい点・要望より構成される。
- ・結果のフィードバック＝授業ごとの結果について、回答期間終了後に、受講学生（回答者）と担当教員にフィードバックする。
- ・実施結果の公表及び授業レベルでの改善の取り組み＝下記の「b 教員や学生への公開状況、方法等」にて記載するためにここでは省略する。
- ・学科レベルでの組織的な教育向上の取り組み＝授業評価の高い教育マインドや授業スキルについて、学科等FDを通じて共有することになる。授業評価の低い教員は、学科長等の助言・指導を受け、「授業における向上・改善・開発（PDCA）」に取り組むことになる。
- ・全学レベルでの組織的な教育向上の取り組み＝授業評価優れて高い教員は、ベストティーチャーとして表彰され、全学FDにおいて模擬講義等を行うなど優れた教育マインドや授業スキルについてFD等で共有することになる。
- ・授業評価のPDCA＝教員アンケートにより、授業評価についての評価と要望を把握して、授業評価の改善に努めることも重要な取り組みと考えている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果は、年に1度、ホームページ上で全学、総合基礎教育課程・学科・研究科専攻等ごとの基幹的科目の集計結果及び個々の結果について公開することになる。担当教員は、授業評価の結果に基づいて、次年度の授業の改善に取り組む。担当教員は、改善について「授業における向上・改善・開発（PDCA）」に記入し、回答期間終了後1か月以内に受講学生に公開される。同時に、次年度の授業の受講学生にも公開されることになっている。

- （注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学部教育学科は、「学ぶ喜び」「考える楽しさ」を伝える専門職を育成することを目的としている。そのためには、乳幼児児童生徒一人ひとりの発達特性を理解し、通常学級や特別支援学校においてさまざまな教育的ニーズを必要とする子どもたちの保育・教育、支援において生じるさまざまな課題の解決に向け多角的・科学的にアプローチするという専門性の高い理論と実践力を身につける必要がある。そのことによって実践的指導力とコーディネート力を持つ保育・教育現場の中核となり、同僚・専門機関さらには大学等の教育研究者と協働し、新たな保育・教育法の開発に寄与し、共生社会に貢献できる専門性の高い保育士・教員の養成をするという趣旨・目的によって設置された。

開設1年目の初年次では、「リエゾンゼミⅠ（基礎演習）」というアクティブラーニングによる「大学での学び方」や仲間づくりや学修活動の中での対話の基礎となる「コミュニケーション能力」の育成、専門教育の土台となる「汎用的スキル」の学修、さらに1年次からの「キャリアサポート」が本格的に始まった。新入生アンケートにおいても「リエゾンゼミⅠ」の学修に対する満足度が非常に高く、特に「コミュニケーション能力」が伸びたと感じた学生が多くいたという結果になった。

開設2年目にあたる平成28年度は、初等教育専攻では、履修登録の結果、「幼保コース」約100名、「小幼コース」約30名、「小特コース」約130名と各履修コースに分れ、保育士・幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭を目指した専門基礎科目や専門基幹科目等の学修が始まった。また、中等教育専攻でも、今年度より特別支援教育学校一種免許状認定課程を設置することが認可され（平成27年12月）、中・高等学校の社会科や社会教育関連だけでなく、共生社会の構築に貢献できる高い専門性の基本的な理論と実践力を身につけた教員養成が可能となった点は特筆すべきことである。中等教育専攻学生の半数以上は特支免許状取得を希望しており、初等教育専攻と合わせて、本学が今まで力を入れてきた、教育の原点ともいわれる特別支援教育からの学びを土台にした教育者という専門職の育成に、学科全体が一丸となって取り組めることとなった。学修生活アンケートでも「専門教科の学びが深められた」「先輩の話聞いて自分を見つめ直すことができた」など、保育内容研究や各教科の指導法やリエゾンゼミⅡなどの授業の内容に手応えを感じている学生やサークル・ボランティア活動で学科や学年を超えたさまざまな人と交流し、まさに人間力を育てていると判断できる。

開設3年目の平成29年度は、保育実習や（4年次に特別支援学校教諭免許状を取得希望する学生の）小、中、高等学校実習の事前・事後指導を年度当初から開始した。さらに、高等学校の地理歴史公民科といった専門性の高い教科の指導法、さらに「障害児の学習支援」という本学科の必修の科目も含めた特別支援教育関連科目も本格的に開講され、本学科の特色として謳ってきた専門性の高い教科学習や特別支援教育に関する学修が、1、2年の学びを土台に展開されてきた。なお、もう一つの本学科の特色である学校インターンシップにあたる教育実践活動Ⅰ、Ⅱ、Ⅲという科目の履修者も250名を超え、小、中、特支の教育実習の事前体験学修や教育実習後の発展学修として学生に活用され、実習との連携がスムーズであることについて多くの現場で好評価を得ていることにも手応えを感じている。さらに、後期からではあったが、ICTを活用した授業力養成のため40台のタブレットや移動式ディスプレイを備えた「マルチメディア教室」が整備され、各教科指導法の授業やゼミナールにおける模擬授業の実践的学修に活用可能となった。

中等教育専攻では、社会科や特別支援教育の教員だけを目指すのではなく、社会教育学科時代に培った社会教育関連の就職先も視野に入れて将来を考えてほしいとの考えから、社会教育関連資格（社会教育主事、博物館学芸員、図書館司書、等）の合同説明会を9月に行い、大いに学生の興味・関心を引き付けた。

さらに、中等教育専攻の専任教員が担当している「リエゾンゼミⅡ～Ⅳ」や「社会教育演習Ⅰ、Ⅱ」の中には、長期休業を利用して、さまざまな社会教育施設に加えて地理、歴史、文化、地域の中の暮らし等の観点から名所、遺跡、遺産となっている場所にフィールドワークに行き、それぞれの担当教員の専門性を生かして、“人間が生きてきた自然、暮らしてきた地域、そして作ってきた歴史や文化や思想”という視点から、座学で学んだそれぞれの学問分野に「人間とはなにか」という考えと関連づけられた“生きた学問”を学修する工夫をしてきた。

また、主に小・中・高等学校の教員採用試験対策についても、来年度を見据え、夏季休業後半から面接、集団討論、一般教養や専門教養等の対策講座が本格的に始動した。12月には教育実習の事前指導の中で外部講師（現場教員）を招いて「模擬授業」を行い、各自のスタートラインとしての自分について「足りないところ」「どう改善すればいいか」といった実践的かつ客観的な意見交換をする場をすでに取り入れてきた。年度末の春期休業には、各自治体別の教職教養、教科専門教養、小論文の対策講座も開講された。

以上のように、来る採用試験や就職試験でこれまでの3年間の授業の成果をいかに発揮できるよう、学生たちの“自分の生き方を自分で選択する”という意識改革をする体制づくりを確実に進めてきたと考えている。

開設4年目の平成30年度は、特別支援学校及び幼稚園・小、中、高等学校実習の事前・事後指導が年度開始と同時に本格始動した。さらに、昨年度から始まっていた教員採用試験対策についても、これまでの内容に加えて、体育、図画工作、ピアノ等の実技試験対策も本格的に始動した。一部のゼミナールや学生グループは、ラーニングcommonsやマルチメディア教室などをうまく使い、模擬授業や集団討論の実施や振り返りなど、自己研鑽を積むことを目指した自主的な集まりを組織し取り組んでいる。（なお、教育学科の「学び」の様子は、<https://www.tfu.ac.jp/education/fe/index.html>にて随時「教育学科のお知らせ」の最新トピックスとして更新されている。このコーナーも含めて教育学科のサイトについて、これから入学する大学を決めようとする高校生、関係者等の閲覧数が、本学HPの中でも突出して高いことも付け加えたい）。

また、昨年度からも一部取り組んでいたが、総合基礎教育科目の中の教育学科必修科目である英語Ⅰ～Ⅲにおいて外部テスト（TOEIC）を取り入れた授業構成にすることや、英語活動関連3科目について幼稚園と小学校別クラスで開講しそれぞれの学修目標やスキルアップをめざせるようにすることなど、小学校英語の教科化への対策もすでに取り組んでいる。

なお、本学科への志願者数は、学科単独では毎年のべ2,000名に迫る高い割合で維持されている。高校生のニーズをとらえた広報を行えているという手応えと同時に、「人づくりのための人づくり」という責任感を改めて感じている。これまでも増して今後も入試広報（大学ホームページ（スマートフォン対応を含めて）や高等学校への学校訪問、個別説明会、等）や高等学校の模擬授業などを通じて、高校3年生だけでなく1、2年生への情報発信を積極的に行い、教育学部教育学科の設置の目的や意義、さらに教育課程の特色について直接体験をするオープンキャンパスに数多く足を運んでもらい、志願者数の拡大・維持に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年6月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年6月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

本学は、2016年度に学校教育法に定める認証評価について文部科学大臣の認証を受けた（財）大学基準協会による大学評価（認証評価）を受け、評価の結果「大学基準に適合している」と認定された。認定機関は2017年4月から2024年3月31日までである。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 2018年 10月 1日 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人梅檀学園

(2) 大学名

東北福祉大学

(3) 大学の位置

〒981-8522

宮城県仙台市青葉区国見1丁目8番-1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コジマ タイドウ) 小島 泰道 (平成24年11月)	(キミコウベ ケンシ) 喜美候部 謙史 (平成27年5月)	前理事長が平成27年4月30日付けで辞任のため(27)
		(ヨコイ シンシ) 横井 真之 (平成29年2月)	平成29年2月16日をもって前理事長が辞任したため(29)
学長	(ハギノ コウキ) 萩野 浩基 (平成6年7月)	(オオタニ テツオ) 大谷 哲夫 (平成27年12月)	前学長が平成27年10月18日に死亡のため(28)
学部長	(キムラ ススム) 木村 進 (平成27年4月)	(オカダ セイイチ) 岡田 清一 (平成27年4月)	木村進、東北福祉大学大学院教育学研究科科長就任のため(27)
		(テラシタ アキラ) 寺下 明 (平成29年4月)	平成29年3月をもって前学部長が、任期満了となったため(29)
学科長等	(オカダ セイイチ) 岡田 清一 (平成27年4月)	(イシハラ スナオ) 石原 直 (平成29年4月)	平成29年3月をもって前学科長が、任期満了となったため(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 教育学科 初等教育専攻 学士(教育学)	教育学・保育 学関係	4 年	210 人	- 年次 人	840 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	210人 () [-]	- 人 () [-]	210人 () [-]	- 人 () [-]	210人 () [-]	- 人 () [-]	210人 () [-]	- 人 () [-]	1.12倍	
志願者数	1,459人 () [-]	- () [-]	1,258人 () [-]	- () [-]	1,432人 () [-]	- () [-]	1,328人 () []	- () []		
受験者数	1,441人 () [-]	- () [-]	1,231人 () [-]	- () [-]	1,414人 () [-]	- () [-]	1,292人 () []	- () []		
合格者数	462人 () [-]	- () [-]	498人 () [-]	- () [-]	498人 () [-]	- () [-]	500人 () []	- () []		
B 入学者数	223人 () [-]	- () [-]	250人 () [-]	- () [-]	229人 () [-]	- () [-]	243人 () []	- () []		
入学定員超過率 B/A	1.06		1.19		1.09		1.15			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	222人 [-] (-)	[-] (-)	248人 [-] (-)	[-] (-)	229人 [-] (-)	[-] (-)	243人 [-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		221人 [-] (-)	[-] (-)	248人 [-] (-)	[-] (-)	227人 [-] (-)	[-] (-)	
3年次			/		/		219人 [-] (-)	[-] (-)	243人 [-] (-)
4年次	/						/		/
計			222人 [-] (-)	469人 [-] (-)	696人 [-] (-)	930人 [-] (-)			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	222 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	一身上の都合により(1名)
平成28年度	469 人	3 人	平成27年度	1 人	0 人	体調不良のため(1名)
			平成28年度	2 人	0 人	進路変更のため(1名)、一身上の都合のため(1名)
平成29年度	696 人	10 人	平成27年度	4 人	0 人	就職のため(1名)、進路変更のため(1名)、経済的理由のため(1名)、転科のため(1名)、
			平成28年度	4 人	0 人	家業に従事のため(1名)、経済的理由のため(1名)、体調不良のため(1名)、進路変更のため(1名)
			平成29年度	2 人	0 人	進路変更のため(1名)、体調不良のため(1名)
平成30年度	930 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	1 人	0 人	進路変更のため(1名)
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	2317 人	15 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{222} = \boxed{0.45} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{469} = \boxed{0.63} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{696} = \boxed{1.43} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{930} = \boxed{0.1} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科 初等教育専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2								1
	教育学概論A	1後	2			1					
	教育社会学概論A	2前	2			1					1
	教育社会学各論	2後	2	2		1					2
	家族社会学	2前	2	2							1
	生涯学習概論	1通	4			1					
	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通	4			1					
	児童・家庭福祉論	1通	4			1	1				1
	生涯発達心理学概論	2前	2			1					1
	生涯発達心理学各論	2後	2			1					1
	教育心理学概論A	2前	2				1				
	教育心理学各論	2後	2			1	1				
	教職論A	1前	2			1					
	教育法規の研究	2前	2								1
	教育史	2通	4			1					
	保育原理	1前	2			1					1
	保育者論	1後	2			1					1
	教育実践活動Ⅰ	1通	1				2				
	教育実践活動Ⅱ	2通	1			1	1				
教育実践活動Ⅲ	3通	1			2						
教育実践活動Ⅳ	4通	1			2						
専門基幹科目L・C群	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)	2通	2			1	1				
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通	2			11	10	5			
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	3通	2			20	11	3			
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	4通	2			20	11	3			
	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	3通	2				1	2			
	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	4通	2				1	2			
	地域マネジメント論	2前	2								2
	地域活性化マネジメント論	2前	2			1	1				9
	地域共創福祉論	2後	2								1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通	4								1
	地域共創実学教育Ⅱ	2通	4								1
	地域共創実学教育Ⅲ	3通	4								1
	地域共創実学教育Ⅳ	4通	4								1
卒業論文	4通	4			20	12	5				
専門基幹科目A群	保育相談支援	3前	1			1					
	幼児理解と教育相談	3後	2				1				
	社会的養護	2前	2				1				
	社会的養護内容	3前	1								1
	保育の心理学Ⅰ	2前	2			1					
	保育の心理学Ⅱ	2後	1			1					
	子どもの保健Ⅰ	1通	4								2
	子どもの保健Ⅱ	2後	1								2
	子どもの食と栄養	1通	2			1					
	乳児保育	2通	2								2
	障害児保育	2通	2			1					
	教育方法論(情報機器及び機材の活用を含む)A	2前・後	2				1				1
	教育相談の理論と方法A	3前	2				1				
	道徳の指導法A	2前	2				1				1
道徳の教材研究	2後	2				1					
特別活動の指導法A	2前	2								1	
生徒指導論(進路指導を含む)A	3前	2			1	1					
教職実践演習	4後	2			8	6	2				
専門基幹科目L・C群	保育課程論	3前	2			1					1
	保育内容総論	2後	1			1					1
	保育内容研究(健康)	2通	2			1					
	保育内容研究(環境)	2後	1								1
	保育内容研究(人間関係)	2通	2								1
	保育内容研究(言葉)	2通	2								2
	保育内容研究(表現・音楽)	2通	2				1				1
	保育内容研究(表現・美術)	2通	2				1				
	保育相談支援	3前	1								1
	幼児理解と教育相談	3後	2								1
	社会的養護	2前	2								1
社会的養護内容	3前	1					1				
保育の心理学Ⅰ	2前	2					1				
保育の心理学Ⅱ	2後	1					1				
子どもの保健Ⅰ	1通	4								3	
子どもの保健Ⅱ	2後	1								3	
子どもの食と栄養	1通	2					1				
乳児保育	2通	2								2	
障害児保育	2通	2								1	
教育方法論(情報機器及び機材の活用を含む)A	2前・後	2							1		
教育デジタルコンテンツ作成論	2後	2							1		
教育相談の理論と方法A	3前	2					1				
道徳の指導法A	2前	2					1	2		1	
道徳の教材研究	2後	2						1			
特別活動の指導法A	2前	2								2	
生徒指導・進路指導論A	3前	2						1			
教職実践演習	4後	2						9	8		
専門基幹科目L・C群	保育課程論	3前	2			1					1
	保育内容総論	2後	1			1		1			1
	保育内容研究(健康)	2通	2			1					
	保育内容研究(環境)	2後	1								1
	保育内容研究(人間関係)	2通	2								1
	保育内容研究(言葉)	2通	2								2
	保育内容研究(表現・音楽)	2通	2					1			1
	保育内容研究(表現・美術)	2通	2					1			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2								
	教育学概論A	1後	2			1					
	教育社会学概論A	2前	2			1					1
	教育社会学各論	2後	2	2		1					2
	家族社会学	2前	2	2							1
	生涯学習概論	1通	4			1					
	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通	4			1					1
	児童・家庭福祉論	1通	4			1	1				3
	生涯発達心理学概論	2前	2			1					2
	生涯発達心理学各論	2後	2			1					1
	教育心理学概論A	2前	2				1				
	教育心理学各論	2後	2			1	1				2
	教職論A	1前	2			1					
	教育法規の研究	2前	2							1	
	教育史	2通	4			1					
	保育原理	1前	2			1					1
	保育者論	1後	2			1		1			1
	特別支援教育の基礎	2前	2						2	1	
	教育実践活動Ⅰ	1通	1				1	4			
教育実践活動Ⅱ	2通	1					3				
教育実践活動Ⅲ	3通	1				1	3	1			
教育実践活動Ⅳ	4通	1				2	2	1			
専門基幹科目L・C群	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)	2通	2			1	2				4
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通	2				16	18	5		
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	3通	2				19	17	5		
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	4通	2				19	15	5		
	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	3通	2				8	5			
	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	4通	2				8	3	2		1
	地域マネジメント論	2前	2								1
	地域活性化マネジメント論	2前	2								12
	地域共創福祉論	2後	2								1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通	4							1	5
	地域共創実学教育Ⅱ	2通	4								6
	地域共創実学教育Ⅲ	3通	4								7
	地域共創実学教育Ⅳ	4通	4								1
卒業論文	4通	4					19	15	4		
専門基幹科目A群	保育相談支援	3前	1								1
	幼児理解と教育相談	3後	2					1			
	社会的養護	2前	2								1
	社会的養護内容	3前	1					1			
	保育の心理学Ⅰ	2前	2					1			1
	保育の心理学Ⅱ	2後	1					1			1
	子どもの保健Ⅰ	1通	4								3
	子どもの保健Ⅱ	2後	1								3
	子どもの食と栄養	1通	2					1			1
	乳児保育	2通	2								2
	障害児保育	2通	2								1
	教育方法論(情報機器及び機材の活用を含む)A	2前・後	2							1	
	教育デジタルコンテンツ作成論	2後	2							1	
	教育相談の理論と方法A	3前	2					1			
道徳の指導法A	2前	2					1	2		1	
道徳の教材研究	2後	2						1			
特別活動の指導法A	2前	2								2	
生徒指導・進路指導論A	3前	2						1			
教職実践演習	4後	2						9	8		
専門基幹科目L・C群	保育課程論	3前	2			1					1
	保育内容総論	2後	1			1		1			1
	保育内容研究(健康)	2通	2			1					
	保育内容研究(環境)	2後	1								1
	保育内容研究(人間関係)	2通	2								1
	保育内容研究(言葉)	2通	2								2
	保育内容研究(表現・音楽)	2通	2					1			1
	保育内容研究(表現・美術)	2通	2					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基幹科目B群	保育内容研究(運動あそび)	2通		2							2
	保育実習指導 I	2通		2		1	2				2
	保育実習指導 II	3前		1		1	2				2
	保育実習 I (保育所・入所施設)	3前		4		1	2				2
	保育実習 II (保育所)	3後		2		1	2				2
	保育実践演習	3通		2		1	2				2
	初等教育課程の意義と編成	2前	2			1					1
	国語科概論(書写を含む)	1後		2		1	1				
	国語科の指導法	2前	2			1	1				2
	国語科教材研究	2後		2		1	1				2
	社会科概論	1後		2			1				
	社会科の指導法	2前		2			1				2
	社会科教材研究	2後		2			1				2
	地域研究法(調査を含む)	3通		2		1					
	算数概論	1後		2		1					
	算数科の指導法	2前		2		1					2
	算数科教材研究	2後		2		1					2
	理科概論	2前		2							2
	理科の指導法	2後		2		1					2
	理科教材研究(実験)	3前		2		1					3
	生活科概論	2前		2		1	1				
	生活科の指導法	2後		2		1	1				
	生活科教材研究	3前		2		1	1				
	表現技術 I (音楽)	1通		2					1		3
	表現技術 II (音楽)	2通		2					1		3
	音楽科の指導法	2前		2					1		
	音楽教育	3前		2					1		
	表現技術 III (美術)	2前・後		1		1	1				
	図画工作科の指導法	2後		2		1					
	児童美術論	3前		2		1					
家庭科概論	2前		2							1	
家庭科の指導法	2後		2							2	
家庭科教材研究	3前		2							1	
表現技術 IV (体育実技)	2前		1			1					
体育科の指導法	2後		2			1				1	
体育科教材研究	3前		2							1	
幼児運動論	2前		2			1					
英語活動概論	2前		2							1	
英語活動の指導法	2後		2							1	
英語活動の教材研究	3前		2							1	
N I E 活動論	2前		2							1	
N I E 活動の教材研究	2後		2							1	
教育実習(幼・小)の事前指導	2後		1		3	3	1			4	
教育実習(幼・小)の事前事後指導	3前		1		3	3	1			4	
教育実習(幼・小)	3通		4		3	3	1			4	
専門基幹科目D群	特別支援教育総論	2通	4			1					
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2		1					1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2							2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2							2
	聴覚障害者の心理	3前		2		1				1	
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2							1
	知的障害者教育論	3前		2		1					
	肢体不自由者教育論	2前		2							1
	病弱者教育論	2後		2							1
	聴覚障害者教育論	3通		4		1					
	重複障害者教育総論	3後		2							1
	発達障害者教育総論	3前		2							
	自閉症者教育総論	3後		2		1					
	言語障害者教育総論	3後		2		1					
	視覚障害者教育総論	2前		2							1
	特別支援教育実習の事前指導	3後		1		2	1				
	特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		2	1				
特別支援教育実習	4通		2		2	1					
専門基幹科目E群	障害児の学習支援	3後	2					1			
	学校経営と学校図書館	3前		2							1
	学校図書館メディアの構成	3前		2							1
	学習指導と学校図書館	3前		2							1
	読書と豊かな人間性	3後		2							1
	情報メディアの活用	3前		2							1
	児童精神医学	3後		2							1
	睡眠健康科学	2前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基幹科目B群	保育内容研究(運動あそび)	2通		2							2
	保育実習指導 I	2通		2		1	2				11
	保育実習指導 II	3前		1		1	2				11
	保育実習 I (保育所・入所施設)	3前		4		1	2				4
	保育実習 II (保育所)	3後		2		1	2				4
	保育実践演習	3通		2		1	2				4
	初等教育課程の意義と編成	2前	2			1		2			1
	国語科概論(書写を含む)	1後		2		1	1				
	国語科の指導法	2前	2			1	1				
	国語科教材研究	2後		2		1	1				1
	社会科概論	1後		2			3	1			1
	社会科の指導法	2前		2			1				1
	社会科教材研究	2後		2			1				2
	地域研究法(調査を含む)	3通		2		1					
	算数概論	1後		2		1			1		
	算数科の指導法	2前		2		1		1			
	算数科教材研究	2後		2		1		1			1
	理科概論	2前		2				1			1
	理科の指導法	2後		2		1		1			1
	理科教材研究(実験)	3前		2		1		1			1
	生活科概論	2前		2				1			
	生活科の指導法	2後		2				1			1
	生活科教材研究	3前		2				1			1
	表現技術 I (音楽)	1通		2					1		3
	表現技術 II (音楽)	2通		2					1		3
	音楽科の指導法	2前		2					1		
	音楽教育	3前		2					1		2
	表現技術 III (美術)	2前・後		1		1	1				
	図画工作科の指導法	2後		2				1			1
	児童美術論	3前		2				1			
家庭科概論	2前		2					1		1	
家庭科の指導法	2後		2					1			
家庭科教材研究	3前		2							1	
表現技術 IV (体育実技)	2前		1			1					
体育科の指導法	2後		2					1		1	
体育科教材研究	3前		2							1	
幼児運動論	2前		2					1			
英語活動概論	2前		2					1		2	
英語活動の指導法	2後		2					2			
英語活動の教材研究	3前		2					1		1	
N I E 活動論	2前		2							1	
N I E 活動の教材研究	2後		2							1	
教育実習(幼・小)の事前指導	2後		1		3	5				4	
教育実習(幼・小)の事前事後指導	3前		1		4	3				4	
教育実習(幼・小)	3通		4		4	5				4	
専門基幹科目D群	特別支援教育総論	2後		2		2	1				
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2			1				2
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2				1			2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2				1			2
	聴覚障害者の心理	3前		2		1			1		
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2							1
	知的障害者教育論	3前		2		1					
	肢体不自由者教育論	2前		2			1	1			
	病弱者教育論	2後		2			1				
	聴覚障害者教育論	3通		4		1		1			
	重複障害者教育総論	3後		2				1	1		
	発達障害者教育総論	3前		2				1	1		
	自閉症者教育総論	3後		2				1			
	言語障害者教育総論	3後		2			2		1		
	視覚障害者教育総論	2前		2							1
	特別支援教育実習の事前指導	3後		1		2	3	1			
	特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		1	3	1			
特別支援教育実習	4通		2		1	3	1				
専門基幹科目E群	障害児の学習支援	3前	2					1	1		
	学校経営と学校図書館	3前		2					1		
	学校図書館メディアの構成	3前		2							1
	学習指導と学校図書館	3前		2							1
	読書と豊かな人間性	3後		2							1
	情報メディアの活用	3前		2					1		
	児童精神医学	3後		2							1
	睡眠健康科学	2前		2					1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門発展科目	家庭支援論	2前		2								1
	人間関係論	2前		2								1
	家族心理学	2前		2								1
	思春期の発達と臨床	2後		2								1
	臨床心理学	2前・後		2								3
	発達臨床心理学	2後		2			1					
	発達心理アセスメント概論	2後		2								1
	健康心理アセスメント概論	3前		2								1
	健康心理カウンセリング概論	3前		2			1					
	災害概論	2通		4								1
	地域減災論 I	2前		2								1
	原子力災害論	2前		2								1
	社会貢献論	2前		2								1
	教育学特殊講義 I	2前		2								1
教育学特殊講義 II	3前		2								1	
教育学特殊講義 III	3後		2								1	
関連科目	社会教育計画	2通		4		1						
	現代社会と社会教育 I	3前		2								2
	現代社会と社会教育 II	3前		2								3
	社会教育実習 (野外活動実習等を含む)	3通		2		1			1			1
	社会教育課題研究	4通		2		1			1			1
	社会教育史	1後		2								1
	社会教育行政論	2前		2								1
	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2		1						
	文化財概論	2前		2		1						
	図書館概論	2前		2					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門発展科目	家庭支援論	2前		2								2
	人間関係論	2前		2								1
	家族心理学	2前		2								1
	思春期の発達と臨床	2後		2								1
	臨床心理学	2前・後		2								2
	発達臨床心理学	2後		2			1					1
	発達心理アセスメント概論	2後		2								1
	健康心理アセスメント概論	3前		2								1
	健康心理カウンセリング概論	3前		2			1					
	災害概論	2通		4								1
	地域減災論 I	2前		2				1				9
	原子力災害論	2後		2								1
	社会貢献論	2前		2								1
	教育学特殊講義 I	2前		2						1		1
教育学特殊講義 II	3前		2						1		1	
教育学特殊講義 III	3後		2								1	
関連科目	社会教育計画	2通		4		1						
	現代社会と社会教育 I	3前		2								1
	現代社会と社会教育 II	3前		2								1
	社会教育実習 (野外活動実習等を含む)	3通		2		1			1			1
	社会教育課題研究	4通		2		2						1
	社会教育史	1後		2								1
	社会教育行政論	2前		2								1
	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2		1						
	文化財概論	2前		2		1						
	図書館概論	2前		2					1			

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論A	1後	2			1						
	教育社会学概論A	2前	2			1						
	教育社会学各論	2後		2		1						2
	家族社会学	2前		2								1
	生涯学習概論	1通		4		1						
	社会福祉原論 (職業指導を含む)	2通		4		1						
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1					2
	生涯発達心理学概論	2前		2		1						1
	生涯発達心理学各論	2後		2		1						1
	教育心理学概論A	2前	2				1					
	教育心理学各論	2後		2		1	1					
	教職論A	1前	2			1						
	教育法規の研究	2前		2								1
	教育史	2通		4		1						
	保育原理	1前		2		1						1
	保育者論	1後		2		1						
	特別支援教育の基礎	2前	2			1						
	教育実践活動 I	1通		1		1	2					
	教育実践活動 II	2通		1		1	1					
教育実践活動 III	3通		1		2							
教育実践活動 IV	4通		1		2							
専門基幹科目・C群	リエゾンゼミ II (福祉実践演習)	2通		2		1	2					
	リエゾンゼミ II (専門基礎演習)	2通		2		11	10	5				
	リエゾンゼミ III (専門演習 I)	3通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミ IV (専門演習 II)	4通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミ III (社会教育演習 I)	3通		2			1	2				
	リエゾンゼミ IV (社会教育演習 II)	4通		2			1	2				
	地域マネジメント論	2前		2								2
	地域活性化マネジメント論	2前		2		1		1				9
	地域共創福祉論	2後		2								1
	地域共創実学教育 I	1通		4						1		4
	地域共創実学教育 II	2通		4								1
	地域共創実学教育 III	3通		4								1
	地域共創実学教育 IV	4通		4								1
	卒業論文	4通		4		20	12	5				
	保育相談支援	3前		1		1						

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論A	1後	2			1						
	教育社会学概論A	2前	2			1						
	教育社会学各論	2後		2		1						2
	家族社会学	2前		2								1
	生涯学習概論	1通		4		1						
	社会福祉原論 (職業指導を含む)	2通		4		1						1
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1					2
	生涯発達心理学概論	2前		2		1						1
	生涯発達心理学各論	2後		2		1						1
	教育心理学概論A	2前	2				1					
	教育心理学各論	2後		2		1	1					1
	教職論A	1前	2			1						
	教育情報学の基礎	2前		2					1			
	教育法規の研究	2前		2								1
	教育史	2通		4		1						
	保育原理	1前		2		1						1
	保育者論	1後		2		1						
	特別支援教育の基礎	2前	2						2			
	教育実践活動 I	1通		1			2	1				
教育実践活動 II	2通		1			1						
教育実践活動 III	3通		1			2						
教育実践活動 IV	4通		1			2						
専門基幹科目・C群	リエゾンゼミ II (福祉実践演習)	2通		2		1	2					5
	リエゾンゼミ II (専門基礎演習)	2通		2		16	13	6				
	リエゾンゼミ III (専門演習 I)	3通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミ IV (専門演習 II)	4通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミ III (社会教育演習 I)	3通		2			1	2				
	リエゾンゼミ IV (社会教育演習 II)	4通		2			1	2				
	地域マネジメント論	2前		2								2
	地域活性化マネジメント論	2前		2				1				12
	地域共創福祉論	2後		2								1
	地域共創実学教育 I	1通		4								5
	地域共創実学教育 II	2通		4								7
	地域共創実学教育 III	3通		4								1
	地域共創実学教育 IV	4通		4								1
	卒業論文	4通		4		20	12	5				
	保育相談支援	3前		1		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目D群	知的障害者の心理・生理・病理	3前	2			1					1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後	2								2
	病弱者の心理・生理・病理	3後	2								2
	聴覚障害者の心理	3前	2			1					
	聴覚障害者の生理・病理	3前	2								1
	知的障害者教育論	3前	2			1					
	肢体不自由者教育論	2前	2								1
	病弱者教育論	2後	2								1
	聴覚障害者教育論	3通	4			1					
	重複障害者教育総論	3後	2								1
	発達障害者教育総論	3前	2						1		
	自閉症者教育総論	3後	2			1					
	言語障害者教育総論	3後	2			1					
	視覚障害者教育総論	2前	2								1
	特別支援教育実習の事前指導	3後	1			2					
	特別支援教育実習の事前事後指導	4前	1			2					
	特別支援教育実習	4通	2			2					
専門発展科目	障害児の学習支援	3前	2				1				
	学校経営と学校図書館	3前	2								1
	学校図書館メディアの構成	3前	2								1
	学習指導と学校図書館	3前	2								1
	読書と豊かな人間性	3後	2								1
	情報メディアの活用	3前	2								1
	児童精神医学	3後	2								1
	睡眠健康科学	2前	2				1				
	家庭支援論	2前	2								1
	人間関係論	2前	2								1
	家族心理学	2前	2								1
	思春期の発達と臨床	2後	2								1
	臨床心理学	2前・後	2								3
	発達臨床心理学	2後	2				1				
	発達心理アセスメント概論	2後	2								1
	健康心理アセスメント概論	3前	2								1
	健康心理カウンセリング概論	3前	2				1				
	災害概論	2通	4								1
	地域減災論 I	2前	2								1
	原子力災害論	2前	2								1
社会貢献論	2前	2								1	
教育学特殊講義 I	2前	2								1	
教育学特殊講義 II	3前	2								1	
教育学特殊講義 III	3後	2								1	
関連科目	社会教育計画	2通	4			1					
	現代社会と社会教育 I	3前	2								2
	現代社会と社会教育 II	3前	2								3
	社会教育実習(野外活動実習等を含む)	3通	2			1			1		1
	社会教育課題研究	4通	2			1			1		1
	社会教育史	1後	2								1
	社会教育行政論	2前	2								1
	社会教育施設論	2前	2								1
	博物館概論	2前	2			1					
	文化財概論	2前	2			1					
	図書館概論	2前	2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目D群	知的障害者の心理・生理・病理	3前	2				1					1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後	2									2
	病弱者の心理・生理・病理	3後	2									2
	聴覚障害者の心理	3前	2				1					
	聴覚障害者の生理・病理	3前	2									1
	知的障害者教育論	3前	2				1					
	肢体不自由者教育論	2前	2					1	1			
	病弱者教育論	2後	2					1				1
	聴覚障害者教育論	3通	4				1					
	重複障害者教育総論	3後	2									1
	発達障害者教育総論	3前	2							1		
	自閉症者教育総論	3後	2				1					
	言語障害者教育総論	3後	2				1					
	視覚障害者教育総論	2前	2									1
	特別支援教育実習の事前指導	3後	1				2					
	特別支援教育実習の事前事後指導	4前	1				2					
	特別支援教育実習	4通	2				2					
専門発展科目	障害児の学習支援	3前	2							1		
	学校経営と学校図書館	3前	2									1
	学校図書館メディアの構成	3前	2									1
	学習指導と学校図書館	3前	2									1
	読書と豊かな人間性	3後	2									1
	情報メディアの活用	3前	2									1
	児童精神医学	3後	2									1
	睡眠健康科学	2前	2						1			
	家庭支援論	2前	2									2
	人間関係論	2前	2									1
	家族心理学	2前	2									1
	思春期の発達と臨床	2後	2									1
	臨床心理学	2前・後	2									3
	発達臨床心理学	2後	2						1			
	発達心理アセスメント概論	2後	2									1
	健康心理アセスメント概論	3前	2									1
	健康心理カウンセリング概論	3前	2						1			
	災害概論	2通	4									1
	地域減災論 I	2前	2						1			9
	原子力災害論	2後	2									1
社会貢献論	2前	2									1	
教育学特殊講義 I	2前	2							1			
教育学特殊講義 II	3前	2									1	
教育学特殊講義 III	3後	2									1	
関連科目	社会教育計画	2通	4				1					
	現代社会と社会教育 I	3前	2									2
	現代社会と社会教育 II	3前	2									3
	社会教育実習(野外活動実習等を含む)	3通	2				1			1		1
	社会教育課題研究	4通	2				1			1		1
	社会教育史	1後	2									1
	社会教育行政論	2前	2									1
	社会教育施設論	2前	2									1
	博物館概論	2前	2				1					
	文化財概論	2前	2				1					
	図書館概論	2前	2							1		

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論A	1後	2				1					
	教育社会学概論A	2前	2				1					
	教育社会学各論	2後	2				1					2
	家族社会学	2前	2									1
	生涯学習概論	1通	4				1					
	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通	4				1					1
	児童・家庭福祉論	1通	4				1	1				
	生涯発達心理学概論	2前	2									3
	生涯発達心理学各論	2後	2									1
	教育心理学概論A	2前	2					1				
	教育心理学各論	2後	2					2				1
	教職論A	1前	2					1				
	教育情報学の基礎	2前	2						1			
	教育法規の研究	2前	2									1
教育史	2通	4				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	保育原理	1前		2		1						1
	保育者論	1後		2		1						2
	特別支援教育の基礎	2前	2			1	2	1				
	教育実践活動Ⅰ	1通		1		1	3					
	教育実践活動Ⅱ	2通		1			4					
専門基幹科目・C群	教育実践活動Ⅲ	3通		1		1	2	1				
	教育実践活動Ⅳ	4通		1		2	1	1				
	リエゾンゼミⅡ (福祉実践演習)	2通		2		1	2					4
	リエゾンゼミⅡ (専門基礎演習)	2通		2		17	15	5				
	リエゾンゼミⅢ (専門演習Ⅰ)	3通	2			22	17	6				
	リエゾンゼミⅣ (専門演習Ⅱ)	4通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミⅢ (社会教育演習Ⅰ)	3通		2		9	3	3				
	リエゾンゼミⅣ (社会教育演習Ⅱ)	4通		2			1	2				
	地域マネジメント論	2前		2								2
	地域活性化マネジメント論	2前		2								14
	地域共創福祉論	2後		2								1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通		4								5
	地域共創実学教育Ⅱ	2通		4								6
	地域共創実学教育Ⅲ	3通		4								6
地域共創実学教育Ⅳ	4通		4								1	
卒業論文	4通		4		20	12	5					
専門基幹科目・A群	保育相談支援	3前		1								1
	幼児理解と教育相談	3後		2			1					
	社会的養護	2前		2			1					
	社会的養護内容	3前		1								1
	保育の心理学Ⅰ	2前		2								1
	保育の心理学Ⅱ	2後		1								2
	子どもの保健Ⅰ	1通		4								2
	子どもの保健Ⅱ	2後		1								2
	子どもの食と栄養	1通		2		1						1
	乳児保育	2通		2								2
	障害児保育	2通		2								1
	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A	2前・後	2			1						
	教育デジタルコンテンツ作成論	2後		2					1			
	教育相談の理論と方法A	3前		2		1						
道徳の指導法A	2前		2								2	
道徳の教材研究	2後		2								1	
特別活動の指導法A	2前		2								2	
生徒指導・進路指導論A	3前		2				1					
教職実践演習	4後		2		9	8						
専門基幹科目・B群	保育課程論	3前		2		1						1
	保育内容総論	2後		1		1						2
	保育内容研究(健康)	2通		2		1						
	保育内容研究(環境)	2後		1								1
	保育内容研究(人間関係)	2通		2								1
	保育内容研究(言葉)	2通		2								2
	保育内容研究(表現・音楽)	2通		2			1					1
	保育内容研究(表現・美術)	2通		2			1					
	保育内容研究(運動あそび)	2通		2								2
	保育実習指導Ⅰ	2通		2		1	2					10
	保育実習指導Ⅱ	3前		1		1	2					10
	保育実習Ⅰ	3前		4		1	2					4
	保育実習Ⅱ	3後		2		1	2					4
	保育実践演習	3通		2		1	2					4
	初等教育課程の意義と編成	2前	2			1	1					1
	国語科概論(書写を含む)	1後		2		1	1					
	国語科の指導法	2前	2			1	1					1
	国語科教材研究	2後		2		1	1					2
	社会科概論	1後		2		3	1					1
	社会科の指導法	2前		2		1						2
	社会科教材研究	2後		2		1						2
	地域研究法(調査を含む)	3通		2		1						
	算数概論	1後		2		1			1			
	算数科の指導法	2前		2		1	1					1
	算数科教材研究	2後		2		1	1					
	理科概論	2前		2								1
	理科の指導法	2後		2		1						1
	理科教材研究(実験)	3前		2		1						2
	生活科概論	2前		2			1					
	生活科の指導法	2後		2			1					1
生活科教材研究	3前		2			1					1	
表現技術Ⅰ(音楽)	1通		2			1					3	
表現技術Ⅱ(音楽)	2通		2			1					3	
音楽科の指導法	2前		2			1						
音楽教育	3前		2			1					2	
表現技術Ⅲ(美術)	2前・後		1		1	1						
図画工作科の指導法	2後		2		1						1	
児童美術論	3前		2		1							
家庭科概論	2前		2								1	
家庭科の指導法	2後		2								2	
家庭科教材研究	3前		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	表現技術Ⅳ（体育実技）	2前		1			1					
	体育科の指導法	2後		2			1					2
	体育科教材研究	3前		2								1
	幼児運動論	2前		2			1					
	英語活動概論	2前		2			1					1
	英語活動の指導法	2後		2			2					
	英語活動の教材研究	3前		2			1					
	N I E 活動論	2前		2								1
	N I E 活動の教材研究	2後		2								1
	教育実習（幼・小）の事前指導	2後		1		3	5					4
	教育実習（幼・小）の事前事後指導	3前		1		3	2					
	教育実習（幼・小）	3通		4		4	4					4
	専門基幹科目群	特別支援教育総論	2後		2		3					
知的障害者の心理・生理・病理		3前		2			1					2
肢体不自由者の心理・生理・病理		3後		2			1					2
病弱者の心理・生理・病理		3後		2			1					2
聴覚障害者の心理		3前		2		1		1				
聴覚障害者の生理・病理		3前		2								1
知的障害者教育論		3前		2		1						
肢体不自由者教育論		2前		2		1	1					
病弱者教育論		2後		2		1	1					1
聴覚障害者教育論		3通		4		1	1					
重複障害者教育総論		3後		2		1	1					
発達障害者教育総論		3前		2		1		1				
自閉症者教育総論		3後		2		2						
言語障害者教育総論		3後		2		2		1				
視覚障害者教育総論		2前		2								1
特別支援教育実習の事前指導	3後		1		1	3	1					
特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		2							
特別支援教育実習	4通		2		2							
専門発展科目	障害児の学習支援	3前	2			1	1					
	学校経営と学校図書館	3前		2			1					
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3前		2			1					
	児童精神医学	3後		2								1
	睡眠健康科学	2前		2			1					
	家庭支援論	2前		2								2
	人間関係論	2前		2								1
	家族心理学	2前		2								1
	思春期の発達と臨床	2後		2								1
	臨床心理学	2前・後		2								3
	発達臨床心理学	2後		2			1					
	発達心理アセスメント概論	2後		2								1
	健康心理アセスメント概論	3前		2								1
	健康心理カウンセリング概論	3前		2			1					
	災害概論	2通		4								1
	地域減災論Ⅰ	2前		2		1						11
	原子力災害論	2後		2								1
社会貢献論	2前		2								1	
教育学特殊講義Ⅰ	2前		2				1				1	
教育学特殊講義Ⅱ	3前		2				1				1	
教育学特殊講義Ⅲ	3後		2								1	
関連科目	社会教育計画	2通		4		1						
	現代社会と社会教育Ⅰ	3前		2								1
	現代社会と社会教育Ⅱ	3前		2								1
	社会教育実習（野外活動実習等を含む）	3通		2		1						1
	社会教育課題研究	4通		2		1						1
	社会教育史	1後		2								1
	社会教育行政論	2前		2								1
	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2		1						
	文化財概論	2前		2		1						
図書館概論	2前		2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

--

【平成28年度】

--

【平成29年度】

【平成30年度】

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	143 科目	0 科目	159 科目	16 科目 [0]	146 科目 [3]	0 科目 [0]	162 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	原子力災害論	2	2	専門	選択	兼任1人が単独で開講（開講時期を後期に変更）(29) 一身上の都合で担当者退職。後任人選中 (28)
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「原子力災害論」前担当者（〇〇〇〇教授：兼任）が一身上の都合で退職したため、開設年度を迎えた1科目が未開講となった。次年度に向けて後任を人選中である。学生には、年度初めのガイダンスおよび教務部教務課の掲示板で告知する。(28)
「原子力災害論」について、兼任1人が単独で開講（開講時期を後期に変更）するため学生には不利益は生じないと判断できる(29)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{159} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
校 地 等	校舎敷地	140,416.350㎡ 137,710.020㎡ 135,464.250㎡ 133,520.690㎡	㎡	㎡	140,416.350㎡ 137,710.020㎡ 135,464.250㎡ 133,520.690㎡	借用面積：8,580.69㎡ 借用期間：30年			
	運動場用地	139,505.480㎡ 139,826.140㎡ 139,184.820㎡	㎡	㎡	139,505.480㎡ 139,826.140㎡ 139,184.820㎡				
	小 計	279,921.830㎡ 277,215.500㎡ 275,290.390㎡ 272,705.510㎡	㎡	㎡	279,921.830㎡ 277,215.500㎡ 275,290.390㎡ 272,705.510㎡				
	そ の 他	2,316,286.470㎡ 2,314,116.020㎡ 2,314,527.760㎡ 2,312,627.755㎡	㎡	㎡	2,316,286.470㎡ 2,314,116.020㎡ 2,314,527.760㎡ 2,312,627.755㎡				
	合 計	2,596,208.300㎡ 2,591,331.520㎡ 2,589,818.150㎡ 2,585,333.265㎡	㎡	㎡	2,596,208.300㎡ 2,591,331.520㎡ 2,589,818.150㎡ 2,585,333.265㎡				
(2) 校 舎	専 用	60,168.235㎡ 49,807.063㎡ (60,168.235㎡) -(49,807.063㎡)	共 用	3,385.575㎡ 2,213.175㎡ (3,385.575㎡) -(2,213.175㎡)	共用する他の 学校等の専用	452.890㎡ 748.452㎡ (452.890㎡) -(748.452㎡)	計	64,006.700㎡ 52,768.690㎡ (64,006.700㎡) -(52,768.690㎡)	東北福祉看護学校（通 信制看護師養成所）と 共用 収容定員500人 ※面積基準なし 校地・校舎取得のため (27)
	(3) 教 室 等								
		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		78室 49室	37室 30室	40室 39室	6室 (補助職員 0人)	5室 (補助職員 0人)	大学全体 校地・校舎取得のため(27)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		教育学部 教育学科 初等教育専攻			28 29 28			室 学科専任教員異動による (28)(29)	
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	届出学部学科全体
	教育学部 教育学科	7,150 [225] 7,889 535 5,379 -364 3,369 196 1,064 56 (1,430 [45])	100 [30] 117 8 119 -9 (100 [30])	25 [25] 約1,400 約1,400 (25 [25])	125 128 109 39 3	1,000 (250)	- (-)	外国書数の減少は、電子 ジャーナルへ切り替えた ため(27)(28)(29)(30) 電子ジャーナルの増加 はパッケージ契約 (Education research complete) による (29)(30) 教育環境充実化のため (27)(28)(29)(30)	
	計	7,150 [225] 7,889 535 5,379 -364 3,369 196 1,064 56 (1,430 [45])	100 [30] 117 8 119 -9 (100 [30])	25 [25] 約1,400 約1,400 (25 [25])	125 128 109 39 3	1,000 (250)	- (-)		
	(6) 図 書 館								
		面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			
		4,205.026 ㎡		599 席		399,861 冊			
(7) 体 育 館									
		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		9,666.801㎡		ゴルフ練習場1面 野球場2面		テニスコート3面 弓道場1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部学科全体
		教員1人当り研究費等	320千円	320千円	図書購入費	3,320千円	3,400千円	3,400千円	
	共同研究費等	1,000千円	2,500千円	設備購入費	100千円	34,500千円	34,500千円	図書購入費には、電子 ジャーナル・デー タベースの整備費(運用 コストを含む)を含 む。	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,144千円	1,044千円	1,044千円	1,044千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東北福祉大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院・通学課程									
総合福祉学研究科		33	—	69		0.36		宮城県仙台市青葉区国見ヶ 丘六丁目149番1号	
社会福祉学専攻博士課程	3	3	—	9	博士 (社会福祉学)	0.66	平成14年度	同上	
社会福祉学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (社会福祉学)	0.40	昭和51年度	同上	
福祉心理学専攻修士課程	2	20	—	40	修士 (福祉心理学)	0.27	平成14年度	同上	
教育学研究科									
教育学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (教育学)	0.15	平成27年度	同上	
大学院・通信制									
総合福祉学研究科	2	20	—	40		1.00		宮城県仙台市青葉区国見ヶ 丘六丁目149番1号	
社会福祉学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (社会福祉学)	1.85	平成14年度	同上	
福祉心理学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (福祉心理学)	0.15	平成14年度	同上	
大学の名称	東北福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
学部・通学課程									
総合福祉学部	4	620	—	2480		1.15		宮城県仙台市青葉区国見一 丁目8番1号	
社会福祉学科	4	400	—	1600	学士 (社会福祉学)	1.15	昭和37年度	同上	平成27年度 より100名の
福祉行政学科	4	100	—	400	学士 (福祉行政学)	1.16	平成27年度	同上	
福祉心理学科	4	120	—	480	学士 (福祉心理学)	1.18	昭和49年度	同上	
社会教育学科	4	—	—	—	学士 (社会教育学)	—	昭和46年度	同上	平成27年よ り学生募集
総合マネジメント学部	4	200	—	800		1.12	平成20年度	同上	
産業福祉マネジメント学科	4	100	—	400	学士 (産業福祉学)	1.14	平成20年度	同上	
情報福祉マネジメント学科	4	100	—	400	学士 (情報福祉学)	1.10	平成20年度	同上	
子ども科学部									
子ども教育学科	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	平成18年度	同上	平成27年よ り学生募集
教育学部						1.12			
教育学科	4	250	—	1000	学士 (教育学)	1.12	平成27年度	同上	
初等教育専攻	4	210	—	840	学士 (教育学)	1.12	平成27年度	同上	
中等教育専攻	4	40	—	160	学士 (教育学)	1.15	平成27年度	同上	
健康科学部	4	230	—	920		1.13			

保健看護学科	4	70	—	280	学士 (看護学)	1.14	平成18年度	同上
リハビリテーション学科	4	80	—	320	学士 (リハビリテーション学)	1.18	平成20年度	同上
理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 (リハビリテーション学)	1.24	平成20年度	同上
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 (リハビリテーション学)	1.13	平成20年度	同上
医療経営管理学科	4	80	—	320	学士 (医療経営管理学)	1.08	平成20年度	同上
学部・通信教育部								
総合福祉学部	4	800	—	3200		0.71	平成14年度	仙台市宮城野区榴岡二丁目 5番26号
社会福祉学科	4	600	—	2400	学士 (社会福祉学)	0.73	平成14年度	同上
福祉心理学科	4	200	—	800	学士 (福祉心理学)	0.63	平成14年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育学科 初等教育専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成27年度】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	(58) <平成27年4月> 生徒指導論(進路指導を含む)A 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(58) <平成27年4月> 生徒指導論(進路指導を含む)A 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(59) <平成27年4月> 教職論A 道徳の指導法A※ 生徒指導論(進路指導を含む)A 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授 (学長)	(60) <平成27年4月> 教職論A 初等教育課程の意義と編成※ 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授 (学長)	(61) <平成27年4月> 教職論A 初等教育課程の意義と編成※ 算数概論 算数科教材研究 算数科の指導法 教育実践活動Ⅳ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(50) <平成27年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	専	教授	(51) <平成27年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 特別支援教育総論 特別支援教育総論 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) インターンシップⅠ※	専	教授	(52) <平成27年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 聴覚障害者教育論 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅰ) インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※	専	教授	(53) <平成27年4月> ことばと表現※ 現代社会を見る眼※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 特別支援教育総論 聴覚障害者教育論 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文 インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※			
専	教授	(57) <平成27年4月> ことばと表現 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(57) <平成27年4月> 国語科概論(書写を含む) 教職論B 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(58) <平成27年4月> 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(59) <平成27年4月> 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(60) <平成27年4月> ことばと表現※ 国語科概論(書写を含む) 国語科教材研究 国語科の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(65) <平成28年4月> 特別支援教育総論 肢体不自由者教育論 病弱者教育論 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	専	教授	(66) <平成28年4月> 特別支援教育総論 病弱者の心理・生理・病理※ 肢体不自由者教育論 病弱者教育論 重複障害者教育総論 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	専	教授	(67) <平成28年4月> 病弱者の心理・生理・病理※ 肢体不自由者教育論 病弱者教育論 重複障害者教育総論 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	(67) <平成27年4月>> 初等教育課程の意義と編成 理科教材研究(実験) 教育実践活動Ⅳ 理科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(60) <平成27年4月> 社会福祉原論(職業指導を含む) 人権と現代福祉
専	教授	(65) <平成27年4月> 図画工作科の指導法 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(63) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論A 教育史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(53) <平成28年4月> 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅳ 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(63) <平成27年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	(67) <平成27年4月> 初等教育課程の意義と編成 理科教材研究(実験) 教育実践活動Ⅳ 理科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(60) <平成27年4月> 社会福祉原論(職業指導を含む)
専	教授	(65) <平成27年4月> 図画工作科の指導法 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(63) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論A 教育史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(53) <平成27年4月> 健康科学※ 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅳ 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(63) <平成27年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	(68) <平成27年4月> 理科教材研究(実験) 教育実践活動Ⅳ 理科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(61) <平成27年4月> 社会福祉原論(職業指導を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)
専	教授	(66) <平成27年4月> 図画工作科の指導法※ 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(64) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論A 教育史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(54) <平成27年4月> 健康科学※ 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅳ 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(64) <平成27年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	(69) <平成27年4月> 理科教材研究(実験) 教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ 理科の指導法 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(62) <平成27年4月> 社会福祉原論(職業指導を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)
専	教授	(67) <平成27年4月> 図画工作科の指導法※ 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(65) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論A 教育史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(55) <平成27年4月> 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論※ 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅳ 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(65) <平成27年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	(70) <平成27年4月> 理科教材研究(実験) 教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ 理科の指導法 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(63) <平成27年4月> 社会福祉原論(職業指導を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(68) <平成27年4月> 図画工作科の指導法※ 表現技術Ⅲ(美術) 児童美術論 教職実践演習 リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(66) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論A 教育史 教職実践演習 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
専	教授	(56) <平成27年4月> 言語障害者教育総論※ 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅳ 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(66) <平成27年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>			
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	教授	食と生活 子どもの食と栄養 保育内容研究(健康) 健康科学 リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	食と生活 子どもの食と栄養※ 保育内容研究(健康) 健康科学※ リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	食と生活 子どもの食と栄養※ 保育内容研究(健康) 健康科学※ リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	食と生活 子どもの食と栄養※ 保育内容研究(健康) 健康科学※ リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文			
								(57) <平成29年4月> 特別支援教育総論 発達障害者教育総論 自閉症者教育総論 障害児の学習支援 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門演習Ⅰ)			(58) <平成29年4月> 特別支援教育総論 発達障害者教育総論 自閉症者教育総論 障害児の学習支援 特別支援教育実習の事前指導 リエゾンゼミⅡ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)			
専	教授	(50) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論 保育原理 保育者論 保育課程論※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(50) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論 保育原理 保育者論※ 保育課程論※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(51) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論 保育原理 保育者論※ 保育課程論※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(52) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論 保育原理 保育者論※ 保育課程論※ 社会的養護内容 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 教育実習(幼・小)の事前指導 リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	教授	(53) <平成27年4月> 児童・家庭福祉論※ 保育原理 保育者論※ 保育課程論※ 社会的養護内容※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実践演習 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(44) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(44) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(45) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(表現・美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(46) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(表現・美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 教育実習(幼・小)の事前指導 保育実践演習 リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(47) <平成27年4月> 表現技術Ⅲ(美術) 保育内容研究(表現・美術) 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 保育実践演習 リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(49) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究	兼任	講師	(49) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究	兼任	講師	(50) <平成27年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究	専	准教授	(51) <平成29年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	専	准教授	(52) <平成29年4月> 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語活動概論 英語活動の指導法 英語活動の教材研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)
		(44)			(44)			(45)			(46)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	准教授	<平成27年4月> 発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(61) <平成27年4月>> 生徒指導論(進路指導を含む)A 生活科概論 生活科教材研究 教育実践活動Ⅱ 生活科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(56) <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(56) <平成28年4月> 国語科の指導法 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 学校経営と学校図書館 情報メディアの活用
専	准教授	(55) <平成28年4月> 道徳の指導法A
		(56) <平成28年4月> 道徳の指導法A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	准教授	<平成27年4月> 発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(61) <平成27年4月>> 生徒指導論(進路指導を含む)A 生活科概論 生活科教材研究 教育実践活動Ⅱ 生活科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(56) <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(56) <平成28年4月> 国語科の指導法 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 学校経営と学校図書館 情報メディアの活用
専	准教授	(55) <平成28年4月> 道徳の指導法A
		(56) <平成28年4月> 道徳の指導法A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	准教授	<平成27年4月> 発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(62) <平成27年4月>> 生徒指導論(進路指導を含む)A 生活科概論 生活科教材研究 生活科の指導法 道徳の指導法A※ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(55) <平成28年4月> 理科の指導法
		(57) <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(56) <平成28年4月> 国語科の指導法 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 学校経営と学校図書館 情報メディアの活用
		(55) <平成28年4月> 道徳の指導法A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	准教授	<平成27年4月> 発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(63) <平成27年4月>> 初等教育課程の意義と編成※ 生徒指導・進路指導論A 生活科概論 生活科教材研究 教育実践活動Ⅱ 生活科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
兼任	講師	(56) <平成28年4月> 理科教材研究(実験) 理科の指導法
		(58) <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(57) <平成29年4月> 国語科の指導法 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 学校経営と学校図書館 情報メディアの活用
		(56) <平成28年4月> 道徳の指導法A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	准教授	<平成27年4月> 発達臨床心理学 健康心理カウンセリング概論 知的障害者の心理・生理・病理※ 幼児理解と教育相談 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(64) <平成27年4月>> 初等教育課程の意義と編成※ 生徒指導・進路指導論A 生活科概論 生活科教材研究 教育実践活動Ⅱ 生活科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	准教授	(59) <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ 表現技術Ⅳ(体育実技) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(58) <平成29年4月> 国語科概論(書写を含む) 国語科の指導法 国語科教材研究 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) 教職実践演習 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 学校経営と学校図書館 情報メディアの活用
専	准教授	(57) <平成30年4月> 教育実践活動Ⅰ 道徳の指導法A
		(57) <平成28年4月> 道徳の指導法A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(50) <平成27年4月>
専	准教授	教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(47) <平成27年4月>
専	准教授	保育内容研究(音楽) 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(43) <平成27年4月>
兼任	准教授	保育原理 保育者論 保育内容総論 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習
		(58) <平成27年4月>
専	教授	社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 教育相談の理論と方法A リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(50) <平成27年4月>
専	准教授	教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(47) <平成27年4月>
専	准教授	Study Abroad D(ヨーロッパ) 保育内容研究(音楽) 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(43) <平成27年4月>
兼任	准教授	保育原理※ 保育者論※ 保育内容総論 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習
		(58) <平成27年4月>
専	教授	社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 教育相談の理論と方法A 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(51) <平成27年4月>
専	准教授	教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(48) <平成27年4月>
専	准教授	Study Abroad D(ヨーロッパ) 保育内容研究(表現・音楽) 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(44) <平成27年4月>
兼任	准教授	家庭支援論 保育原理※ 保育者論※ 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ(保育所・入所施設) 保育実習Ⅱ(保育所) 保育実践演習
		(59) <平成27年4月>
専	教授	社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 道徳の指導法A※ 教育相談の理論と方法A 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前事後指導 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(52) <平成27年4月>
専	教授	教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(49) <平成27年4月>
専	准教授	Study Abroad D(ヨーロッパ) 保育内容研究(表現・音楽) 英語活動の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(45) <平成27年4月>
兼任	准教授	家庭支援論 保育原理※ 保育者論※ 保育の心理学Ⅰ※ 保育の心理学Ⅱ※ リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) 教育実習(幼・小)の事前指導 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習
		(60) <平成27年4月>
専	教授	社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 教育相談の理論と方法A 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月>
		(53) <平成27年4月>
専	教授	道徳の教材研究 家庭科概論 家庭科の指導法 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 教育心理学各論 教育心理学概論A 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(50) <平成27年4月>
専	准教授	Study Abroad D(ヨーロッパ) 保育内容研究(表現・音楽) 英語活動の指導法 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
		(46) <平成27年4月>
専	准教授	保育者論※ 保育の心理学Ⅰ※ 保育の心理学Ⅱ※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 教育実習(幼・小)の事前指導 保育内容総論※ 保育実習指導Ⅰ※ 保育実習指導Ⅱ※ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 卒業論文
		(61) <平成27年4月>
専	教授	社会科概論 社会科教材研究 社会科の指導法 教育相談の理論と方法A 教育実践活動Ⅰ 教職実践演習 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	(51) <平成27年4月> 健康科学 幼児運動論【隔年】 体育科の指導法 睡眠健康科学【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(51) <平成27年4月> 健康科学 幼児運動論【隔年】 体育科の指導法 睡眠健康科学【隔年】 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(52) <平成27年4月> 健康科学 幼児運動論 体育科の指導法 睡眠健康科学 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(53) <平成27年4月> 健康科学 幼児運動論 体育科の指導法 睡眠健康科学 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(54) <平成27年4月> 健康科学 幼児運動論 体育科の指導法 睡眠健康科学 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(44) <平成27年4月> 発達障害教育総論 障害児の学習支援 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	講師	(44) <平成27年4月> 発達障害教育総論 障害児の学習支援 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	講師	(45) <平成27年4月> 発達障害教育総論 障害児の学習支援 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文 インターンシップⅠ※	専	准教授	(46) <平成27年4月> 発達障害教育総論 障害児の学習支援 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文 インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ アジア共同体に向けて※	専	准教授	(47) <平成27年4月> 発達障害教育総論 障害児の学習支援 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文 インターンシップⅠ※ インターンシップⅡ※ アジア共同体に向けて※
			専	講師	(34) <平成27年4月> 物理学の基礎 リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	専	講師	(35) <平成27年4月> 物理学の基礎 教育学特殊講義Ⅰ(教育情報学の基礎) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	専	講師	(36) <平成27年4月> 物理学の基礎 算数概論 教育学特殊講義Ⅰ(教育情報学の基礎) 教育学特殊講義Ⅱ(教育デジタルコンテンツ作成論) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	専	講師	(37) <平成27年4月> 物理学の基礎 算数概論 教育学特殊講義Ⅰ(教育情報学の基礎) 教育学特殊講義Ⅱ(教育デジタルコンテンツ作成論) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文
専	講師	(44) <平成27年4月> 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	講師	(44) <平成27年4月> 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	講師	(45) <平成27年4月> 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(46) <平成27年4月> 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	(47) <平成27年4月> 表現技術Ⅰ(音楽) 表現技術Ⅱ(音楽) 音楽教育 音楽科の指導法 教育実践活動Ⅰ 教育実習(幼・小)の事前指導 教育実習(幼・小)の事前事後指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

--

【平成28年度】

--

【平成29年度】

--

【平成30年度】

--

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
13 名	7 名

教育学部教育学科全体

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
15	11	2	1	29	14	12	2	0	28	14	12	2	0	28
(15)	(11)	(3)	(1)	(30)						[Δ1]	[1]	[0]	[Δ1]	[Δ1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{28}{29} = \boxed{96.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授		選択	特別支援教育総論	①	辞任（一身上の都合のため）（平成27年3月）（27）	
			選択	教職論B	①		
			選択	教育実践活動I	①		
			選択	特別支援教育実習の事前指導	①		
			選択	特別支援教育実習の事前事後指導	①		
			選択	特別支援教育実習	①		
			選択	教職実践演習	①		
			必修	リエゾンゼミⅠ（基礎演習）	①		
			必修	リエゾンゼミⅡ（専門基礎演習）	①		
			必修	リエゾンゼミⅢ（専門演習Ⅰ）	①		
			必修	リエゾンゼミⅣ（専門演習Ⅱ）	①		
		選択	卒業論文	①			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	12 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授		選択	知的障害者教育論	①	H30年3.31付で、一身上の都合により辞任(30)	
			選択	自閉症者教育総論	①		
			選択	特別支援教育実習の事前指導	①		
			選択	特別支援教育実習の事前事後指導	①		
			選択	特別支援教育実習	①		
			必修	リエゾンゼミⅢ（専門演習Ⅰ）	①		
			必修	リエゾンゼミⅣ（専門演習Ⅱ）	①		
			選択	卒業論文	①		
2	助教		選択	発達障害者教育総論	①	H28年3.31.付、一身上の都合により辞任(28)	
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
2	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」

に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

- また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	15	科目	選択	15	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	21	科目	計	21	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{29} = \boxed{10.34} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

添付資料「別紙3） 就業規則（関連部分）」「別紙4）嘱託教授任用規定」を参照

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授		選択	教育心理学概論B	①	H30. 3. 31付け73歳で定年延長後に退職 (30)
			選択	教育心理学各論	②	
			選択	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)A	①	
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①	
			選択	卒業論文	①	
2	准教授		選択	国語科概論(書写を含む)	①	H30. 3. 31付け70歳で定年退職 (30)
			選択	国語科教材研究	①	
			選択	教育実習(幼・小)の事前指導	①	
			選択	教育実習(幼・小)の事前事後指導	①	
			選択	教育実習(幼・小)	①	
			選択	教職実践演習	①	
			必修	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	①	
			必修	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	①	
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①	
3	教授		選択	生涯発達心理学概論	②	H29. 3. 31付け73歳で定年延長後に退職 (29)
			選択	生涯発達心理学各論	②	
			選択	保育の心理学Ⅰ	①	
			選択	保育の心理学Ⅱ	①	
			選択	保育相談支援	②	
			選択	障害児保育	②	
4	教授		選択	聴覚障害者教育論	①	H28. 3. 31付け74歳で定年延長後に嘱託教授1年就任してから退職 (29)
			選択	生活科概論	①	
			選択	生活科教材研究	①	
			選択	教育実践活動Ⅲ	①	
			選択	教職論A	①	
			選択	生活科の指導法	①	

5	教授	選択	教育実習（幼・小）の事前指導	①	H28. 3. 31付け70歳で定年退職（28）		
		選択	教育実習（幼・小）の事前事後指導	①			
		選択	教育実習（幼・小）	①			
		選択	教職実践演習	①			
		必修	リエゾンゼミⅣ（専門演習Ⅱ）	①			
		選択	卒業論文	①			
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
5	人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目
		選択	28 科目	選択	23 科目	選択	5 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	35 科目	計	30 科目	計	5 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>大学の所見：</p> <p>辞任した教員が1名出たが、既に担当していた科目の担当者を含めて専任教員を新規に採用している。したがって、教育課程の質の維持に支障はない(27)</p> <p>退職により辞任した2名の専任教員が担当（予定に）していた科目については、すべて他の専任教員または兼担教員が担当するため、提供する教育の質保証や学生の履修に関しては支障はない(28)</p> <p>退職により辞任した専任教員が2名出たが、既に後任の専任教員を採用している。したがって、教育課程の質の維持に支障はない(29)</p> <p>退職により辞任した専任教員が3名出たが、既に後任の専任教員を採用している、あるいは、他の専任教員、兼担・兼任教員が担当するため、すべての科目の質が担保されている。したがって、教育課程の質の維持に支障はない(30)</p> <p>学生への周知方法：</p> <p>年度当初から教務部の担当窓口掲示板にて退職教員について告知しているほか、大学ホームページに学科担当教員が公開されており、学生が科目履修や学習面で混乱が生じないように配慮している(27)</p> <p>学生には、年度はじめのガイダンスおよび配布する便覧（抜き刷り）、さらにWeb上の学科サイトにて周知をする(28)</p> <p>学生には、年度はじめのガイダンスおよび配布する便覧（抜き刷り）、さらにWeb上の学科サイトにて周知をする(29)</p> <p>学生には、年度はじめのガイダンスおよび配布する便覧（抜き刷り）、さらにWeb上の学科サイトにて周知をする(30)</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年 2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年 2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年 2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科 初等教育専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったものに該当する事柄はなし。	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究等の実施に関する対応として「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組」（FD：ファカルティ・ディベロップメント）を行っている。本学は平成13年4月1日にFD委員会を発足させ、定期的に全学FDセミナーを開催している。また、学科等FD委員会も発足させるとともに学科毎FDセミナーも開催している。テーマは単に授業内容の改善、方法、ICTの活用のみではなく、心理学、教育学、医学、福祉学、社会貢献などの分野による、倫理性、知的誠実性を含めた提言など、多岐にわたっている。高度な専門職としての大学教員は、研究などの専門性は求められているが、さらに、「多様な職業人の養成」「社会貢献」なども大学の重要なミッションだと考えている。そこで、本学では社会貢献に力を入れて取り組むとともに、教員の教育業績だけでなく社会貢献へのかかわりを積極的に評価している。

なお、本学における授業内容方法の改善を図るための組織的な取組としてのFD活動は、「FD委員会」がFDに関する施策の検討をし、教務部内に設置されている「教育開発支援室」がFDに関する施策の実施を行う実働機関に位置付けられている。（FD委員会規程及び学科等FD委員会規程は別添資料の別紙1、別紙2の通りである）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は、①大学の役職にある教員（若干名） ②FDに携わる教職員 ③各学科及び各研究科の長の推薦する教員 ④その他、必要と認められる者、から構成されている。そして、委員長は副学長とし、委員会の議長となる。現在（平成30年5月）は、計36名（教員30名、職員6名）の教職員が委員となっている。このような構成員及び出席者により、平成29年～平成30年4月末日において、平成29年3月23日及び5月24日、平成30年4月25日の計3回委員会を開催した。

また、学科等FD委員会は、各学科におけるFD活動を円滑に行うこと目的として、各学科長が必要に応じて設置し、学科長が責任をもって学科等FD委員会を運営することとされている。その構成員は、①全学のFD委員のうち学科に所属する教員、および②学科に所属する教員のうちから学科長が指名した者から成る。教育学科においては、各年度初めに学科FDの計画を立て、毎年計2～3回程度のFDセミナーを開催しており、大学院の教育学研究科等との合同開催も行っている。

c 委員会の審議事項等

FD委員会は、次に掲げる審議（業務）を行う。

- (1) 教育能力向上及び教育改善に資する教育プログラム又は教育システムの企画及び開発
- (2) 研修会の開催
- (3) 授業内容、方法の改善、向上
- (4) 教員間での教育能力向上及び教育改善に関する認識の共有
- (5) 教員の教育、研究、社会貢献、管理運営等に関する資質向上
- (6) 教員の教育能力向上及び教育改善のための調査並びに学習効果の把握等の実施の統括とその分析とその分析を踏まえた教育等の開発、改善及び向上
- (7) 教育業績評価委員会に審査された教員に対する教育能力の支援
- (8) FDの専門家の養成
- (9) 教育等の改善に関する連携支援
- (10) 教育情報分析に関する連携支援
- (11) 成績評価及び学修成果に関する連携支援
- (12) ICTの教育活用及びeラーニングに関する連携支援
- (13) 教育開発に関する連携支援
- (14) 教員個人の自己点検・評価と業績評価の項目検討に関する連携支援
- (15) アカデミック・ポートフォリオ（ティ칭ングを含む）に関する連携支援
- (16) 職員の職能開発及び資質向上に関する連携支援
- (17) 学科等が行う学修成果の把握・評価に対する連携支援
- (18) 感性福祉研究所との共同による教育能力向上の研究
- (19) 関連福祉施設との共同による教育能力向上の研究
- (20) IRセンターとの共同による教育能力向上の研究
- (21) その他、教育能力向上のために必要と認められる事項

また、学科等FD委員会は、学科長のもと、次に掲げる学科のFDに関する審議（業務）を行う。

- (1) FDセミナー
- (2) 授業参観（授業公開を含む）
- (3) 内部質保証を目的とした各種調査の実施及び学科会議での結果の報告等
- (4) 学修ポートフォリオお開発及び活用等
- (5) 学修成果の把握及び評価並びにその方法及び指標の開発等

- (6) F Dの教育及び研究への活用等
- (7) F Dの検証及び改善等
- (8) その他、学科のF Dに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

F D委員会規程においては、上述したような審議事項等が定められており、F D活動に関して包括的な議論を進めているが、その都度、焦点を絞って議論と活動を行うことが教育効果に実効性があると考えられるため、具体的には、主に以下の事項を実施している。

- ・ F Dセミナー（全学、学科別研修会）の実施
- ・ 学生アンケート
- ・ 教員アンケート
- ・ 卒業生アンケート
- ・ 授業評価
- ・ GPA
- ・ 追跡調査
- ・ 学修成果の把握
- ・ 中退防止の検証
- ・ 学内教員間相互授業参観・授業公開
- ・ 学外者の意見聴取
- ・ 学生からの意見聴取
- ・ マイ授業ビデオ撮影（自己評価・相互評価）
- ・ F Dセミナー公開Q&A
- ・ ベストティーチャー等
- ・ 志願者動向分析
- ・ 初年次教育の検証
- ・ キャリア教育の検証
- ・ 学修成果の把握
- ・ 3つのポリシーに照らした取り組みの適切性の検証

b 実施方法

(1) F Dセミナーの実施

全学的には、定期的なF Dセミナーを企画し、実施している。F Dセミナーはビデオ撮影して教職員に動画公開しており、欠席の教員も含め、全教員がF Dセミナーに参加できる環境を整備している。同時に資料も公開している。F Dセミナーは、大学院生にも参加を勧めており、プレF Dを兼ねている。また、職員の参加も認めており、職員の資質向上にも役立っている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/plan.html>)

(2) 学生アンケート

本学では、各種学生アンケートを実施し、P D C A (Plan-Do-Check-Action) に基づく教育改善サイクルに役立っている。具体的には、「入学時アンケート」「学修活動アンケート」「学生生活アンケート」「進路・キャリアアンケート」「リエゾンゼミ教育効果アンケート」「卒業時アンケート」などを実施している。これらは、個人情報に配慮された形で集計・分析をした上で次年度の教育内容の改善に活かしている。なお、これらの結果については、ホームページ上に公開されている。

(http://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_student.html)

(3) 教員アンケート

本学では、各種教員アンケートを実施し、P D C A (Plan-Do-Check-Action) に基づく教育改善サイクルに役立っている。また、社会に貢献すると思われる分析と知見は公開している。具体的には、「教員間相互授業聴講・授業公開に関するアンケート」「F Dに関するアンケート」「ICT等の教育活用に関するアンケート」「授業等に関するアンケート」を実施している。2016年度及び2017年度の結果が公表されている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_teacher.html)

(4) 卒業生アンケート

I Rセンターとの共同で「卒業生アンケート」を実施している。アンケート内容としては、「在学中の経験と卒業後の関連」、「在学中の学内施設の利用と卒業後の関連」、「在学中の学び」、「回答者の調査時の大学へ対する思い」、「現在大切にしていること」などを大項目として、中項目、小項目を設け質問している。これらの結果に対しては、大学としてのコメントを付けて公開している。直近の調査としては、2015年度から2016年度の間に東北福祉大学を卒業した通学の正科生に対して、ホームページ上調査への協力を呼びかけを行った上で、Googleのサービスを利用しインターネット上でアンケートの回答を募った。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_graduate.html)

(5) 授業評価

後掲の「③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況」において詳述するため、ここでは省略する。

(6) G P Aの検証

本学では、G P Aを活用し厳格な成績評価による質保証努めている。G P Aの成績評価の分布および平均値について、社会的説明責任、教員間の成績評価基準の平準化とさらなる適正な成績評価、学生の成績の状況に応じた学習支援、学生自らの成績の相対的位置の把握と向上を目的としている。現在、2014年度～2016年度のG P Aの分布を公開している。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/gpa.html>)

(7) 追跡調査

本学は、入学者選抜方法ごとに入学後の成績や活動実績、留年・中退率、卒業後の進路等について調査を行い、入学者選抜方法の妥当性の検証を行っている。現在、2011年度～2014年度および2012年度～2015年度、2013年度～2016年度入学者の追跡調査の結果が表示されているが、教職員のみ公開に留めている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/followup.html>)

(8) 学修成果の把握

本学は、学修前（1年次入学時）と学修後（4年次卒業時）の双方の時点において、学修ポートフォリオを用いて学士力と専門性の修得について把握することで、本学における教育・学習の検証を行っている。本学教職員と学生のみが閲覧可能となっている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/grasp.html>)

(9) 中退防止の検証

本学は、中退の防止に積極的に取り組んできており、本学の中退率は、1年中退率、卒業までの中退率とも、私立大学の全国平均に比べて、非常に低い数字になっている。また、中退等の調査により中退防止の検証を行っており、中退防止の強化に努めている。現在、2011年度～2016年度中退等防止調査結果を公開している。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/dropout_prevention.html)

(10) 学内教員間相互授業参観・授業公開

本学における授業改善への取り組みの一環として、教員間での授業の相互聴講を実施している。授業設計のコツや展開の方法などテクニカルな要素と同時に、授業運営上の問題となっている事柄についての情報も共有し、解決策を見出すことで授業改善に役立っている。たとえば、教育学科では、土台となっている特別支援教育関連科目や「リエゾンゼミⅠ（基礎演習）」は学科教員の相互授業参観の場となっている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/attend.html>)

(11) 学外者の意見聴取

本学では、卒業生のみならず学外者からの意見聴取として、企業、地元産業界、業界別団体、地方自治体、専門職の職能団体等とともに、高校や高大連携関係団体等より意見を聴取し、入試や入学前教育、初年次教育の改善に役立っている。また、入学時アンケートにより、本学の学生募集広報活動や入試、入学前教育に対する評価・意見を聴取し、改善に役立っている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/company.html>)

(12) 学生からの意見聴取

本学では、各学科所属の学生より、意見を聴取し、授業や教育プログラムの改善に役立っている。平成28年度の学生意見聴取が本学ホームページ上で掲示されているが、現在は教職員のみ閲覧となっている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/hearing_student.html)

(13) マイ授業ビデオ撮影（自己評価・相互評価）

自らの授業をビデオ撮影して視聴することで、授業の自己評価をすることができるため、本学では授業の授業撮影をすることができる。同時に、教員間あるいは学科等FDで相互評価に活用することができる。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/video.html>)

(14) FDセミナー公開Q&A

学内のFDセミナー終了後にセミナー講師に対するご質問、またはFDセミナーに関するご質問をQ&Aとして受け付けている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/qa.html>)

(15) ベストティーチャー等

本学は、①教育の質に関して著しく優れた業績を挙げた者、②学生の成長又は学生の学修成果に関して著しく優れた業績を挙げた者、③教育の質の向上に関して著しく優れた業績を挙げた者、④教育の質の向上についての研究に関して著しく優れた業績を挙げた者をベストティーチャーとして表彰し、副賞を授与している。また、グッドティーチャーやグッドレクチャーも表彰している。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/best_teacher.html)

(16) 志願者動向分析

本学は、一般入試・推薦入試・A0入試の志願者動向の分析に取り組んでおり、これからの社会に求められる人材の育成を踏まえ、志願者のニーズに配慮した適切な学生募集と教育の質を保証する適正な定員管理に努めている。現在は2015年～2017年度の分析結果が公開されている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/applicant_trend.html)

(17) 初年次教育の検証

本学では、1996年度より少人数クラスごとの1年生ゼミ「人間基礎論」を導入し、早くから初年次教育に取り組んできた。そして、学士力やキャリア教育、高大接続の重視を受けて、2011年度より「リエゾンゼミ」（現在は「リエゾンゼミⅠ」）に改称し、大学生活への適応、汎用的スキルの修得、地域や社会とのつながり、専門へのつながり、キャリア形成を目的とした初年次教育に取り組んでいる。その教育効果の検証については、2011年度より学生アンケートを通して行っているが、よりきめこまかい検証として2015年度より学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）も併用し、改善・向上に取り組んでいる。2016年度の結果が公表されている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/liaison.html>)

(18) キャリア教育の検証

本学のキャリア教育では、自らかかわる（主体性）、自ら考える・気づく（課題発見能力など）、自らアクションを起こす（実行力）ことを目標にし、そのために「リエゾン型キャリア教育」を開発した。そこでは、「リエゾンゼミⅠ～Ⅳ」「キャンパスライフ入門」「キャリアデザイン」などの講義・演習科目を通して、1年次から4年次まで段階的・連続的に学びを深めるとともに、インターンシップや福祉ボランティア活動、キャリア支援講座などの実践的科目を通して学びを深める。また、就業力（卒業後、社会的・職業的自立を図るために必要な能力）を踏まえた学修ポートフォリオ「キャリア形成判定」を開発し、活用している。その教育効果の検証については、2011年度より学生アンケートを通して行っていますが、よりきめこまかい検証として2016年度より学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）も併用している。現在、2016年度キャリア形成（就業力の達成度）の結果が公表されている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/career.html>)

(19) 学修成果の把握

本学では、2013年に「学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）」を定め、学修成果の把握・評価に取り組んでいる。特に、「学士力」「卒業認定・学位授与の方針における学生が身に付けるべき資質・能力」「人間力」「社会力」を把握している。現在は、2016年度の結果が公開されている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/assessment.html>)

(20) 3つのポリシーの検証

本学では、3つのポリシーの検証について、2015年度より全学的に学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）のデータを活用して行っており、その結果、入学者受入れの方針に合う学生が入学し、教育課程編成・実施の方針に基づいて学修に取り組み、学位授与の方針における学生が身に付けるべき資質・能力を高めていることが示されている。現在は、2017年度の結果が公開されている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/3policy.html>)

(21) SD研修会の開催とFDとの連携

本学では職員を中心としてSD研修会を開催しているが、職員だけではなくテーマによってはFD研修会と連携をとりながら開催しており、教職員の情報の共有化を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD関連施策の実施状況は、上記「b 実施方法」で記した通りである。これらのなかで研修会（FDセミナー）の具体的な取り組みは、FD委員会で検討・実施されるが、学科FDセミナーは、各学科でのFD担当者が主体となって実施される。平成29年度の全学FDセミナー（研修会）は、以下のテーマにおいて実施された。参加状況については、各セミナー（研修会）につき80名から153名の参加を得て実施された。

4月19日（「営業秘密について」「コンプライアンス教育」：SD研修会との共催）、5月24日（「リエゾンゼミI研修」「ブックリーディング」「レポート指導の仕方」）、6月21日（「リエゾンゼミI研修」「プレゼンの指導の仕方」）、7月26日（「学生のメンタルヘルス」「障がい学生の理解と支援」）、9月20日（「アカデミックポートフォリオについて」）、10月11日（「新任教員等研修」「研究倫理について」）、11月29日（「キャリア形成支援について」「地域共創について」）、3月14日（「Edu Trackの活用法」「模擬授業（アクティブラーニングを含む）」）で各回約60名～130名の出席があった。

また、学科等FDセミナーは、大学院各研究科や通信教育部を含めて延べ33回開催された。そのうち、教育学科においては、本学科が力を入れているICTを活用した授業づくりのできる教員養成のために各教科の指導法等の講義の「タブレットPCを用いた授業方法について」（40台のタブレットを備えた専用教室において12月20日実施）、頭をフル回転させて相手と対話することの力を養うことを教員養成に入れる試みとしての「教師教育にインプロを！」（2月21日実施）、さらに、大学院教育学研究科との共催で「歴史学習・人物学習の陥穽」（12月20日）、「障害理解に向けた疑似体験の意義」（2月21日）を実施した。いずれも、参加を促すため学科会議後に行われ全専任教員の参加があった。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/plan.html>)

さらに、学内SD研修会は、以下の通り開催している。4月19日（「営業秘密について」「コンプライアンス教育」）、6月30日（「3ポリシーに基づく自己点検・評価と内部質保証」「大学教育改革」）、7月10日（「ハラスメント」「学生相談・支援の基礎」）、7月19日（「大学設置に係る関係法令と手続き」）、7月26日（「学生のメンタルヘルス」「障がい学生の理解と支援」）、8月22日～25日（「一般職向け研修：主体性発揮研修」）、8月29日・30日（「指導監督職向け研修：目標管理研修」）、9月27日（「大学のグローバル化を考えるー多様性と共に生きる」）、1月26日（「よくわかる有給休暇」）であり、そのうち4月19日と7月26日はFD研修会との共同開催で有り、教職員一体となって情報共有化に努めた。参加者数は30名～112名であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各種FD活動及びSD活動との連携に関する有効性については、毎年、年度末に教員を対象にFDに関するアンケート調査を実施しその有効性を検証及び改善に努めている。その結果、回答者のうち、全学FDが教育力向上に「かなり役立った」が約3割、「少し役立った」が約6割であった。また、FDサイトについては約9割が閲覧し、情報共有に「かなり役立った」が約3割、「少し役立った」が約5割であった。この結果から、FDが教員の教育に関する資質向上に有効であったことが示された。

また、年度初めに活動計画を立案し、前期終了時に進捗状況を確認し、PDCAサイクルによるFD活動に取り組んでいる。FD委員会の議事録、当該年度の目標と進捗状況、活動報告、FDアンケートの結果は教職員に公開し、FD委員会のFD活動が有効に機能しているかどうかを教職員が確認できるようにしている。さらに、教員の教育研究活動及び社会的な活動等については「教育・研究業績書」としてまとめ、大学ホームページにおいて公表している。

なお、大学としての各教員の教育力評価、研究活動評価、社会貢献や管理業務に関わる評価については、部長学科長会議を構成する者を中心とする「教育業績評価委員会」が設置されており、各種の評価を行っている。

さらに、個別的取り組みとして、リエゾンゼミI（1年次開講科目：全学必修）の教育効果については、入学時（リエゾンゼミIIは2年次進級時）と比した学士力到達度・専門性・意欲の伸びを学科別に集計・分析され、このアンケート結果に基づき学科会議において授業改善の議論がなされ、次年度のシラバス作成に活かされている。また、卒業時アンケートにおいても、同様に4年間を通して、学士力到達度・専門性・意欲の伸びが学科別に集計され、学科の教育課程のあり方を再検討する際の参考資料となっている。これらの結果について、コメントを付けて公開している。そして、学生アンケートにおいては、それら内容を学科会議において共有するとともに、改善策等を議論している。

次に、入学時アンケートについては、「大学・学科志望順位」「入学後の学業に対する不安」「入学後の生活面での不安」「学内での相談相手」「卒業後の希望進路をと問うことによって、新入生への授業方法や学生相談の方針の改善にも活かしている。

授業評価アンケートについては、下記の③「a 実施の有無及び実施期間」及び「b 教員や学生への公開状況、方法等」に記載した通り、その結果を「授業レベル」（マイクロ）での改善の取り組み、「学科等レベル」（メゾ）及び「全学レベル」（マクロ）での組織的な教育力向上の取り組みへ結びつけている。2016年度後期分に関してみると、①シラバスを学修について見通すために活用する工夫をする。②学習内容・方法について、意欲的、主体的に取り組ませる（アクティブ・ラーニング）ための工夫をする。③「授業後の感想（コメントペーパー等）」や「オフィスアワー」などを活用し、質問に対するフィードバックを授業中やEduTrackなどで積極的に行う、などが共通の課題としておげられ、共有化が図られた。さらに、教育学科所属教員が実施している授業は受講の95%が「満足」「ほぼ満足」しているが、授業外の時間を使って主体的に調べたり復習する時間をうまく作ることができない受講生もいることがわかり、改善の努力が必要と認識された。

なお、本学の中途退学率は比較的低位に推移しているとはいえ、毎年ある程度の中途退学者を出している現状に鑑み、教務部、キャリアセンター、学生生活支援センター、入学センター、ウエルネス支援室等関係部署からなる委員会を立ち上げて、継続的に対策を検討を行っている。現在、本学での中退率は1.5%前後であり、教育学科においては、これまでに20名程度の中退者にとどまっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では授業評価を行い、結果を集計・分析するとともに担当教員および受講学生にフィードバックしている。

具体的には、授業評価の方法は以下の通りである。

- ・実施学部・学科＝全学部・全研究科において実施する。

- ・実施授業科目＝原則として全授業について実施する。
- ・実施回数・時期＝学期ごとに1回、11回目から15回目に実施する。
- ・配付・回収＝WEB方式（UNIVERSAL PASSPORT）で、無記名で実施する。
- ・評価項目＝共通項目と科目群項目、学科オリジナル項目により構成する。共通項目は、授業改善目的の3つの側面と教員・学生の関わりに基づき、基本属性、受講学生の取り組み方、教員の取り組み方（授業姿勢、授業スキルなど）、授業を受けた結果（学修成果など）、良かった点と改善して欲しい点・要望より構成される。
- ・結果のフィードバック＝授業ごとの結果について、回答期間終了後に、受講学生（回答者）と担当教員にフィードバックする。
- ・実施結果の公表及び授業レベルでの改善の取り組み＝下記の「b 教員や学生への公開状況、方法等」にて記載するためにここでは省略する。
- ・学科レベルでの組織的な教育向上の取り組み＝授業評価の高い教育マインドや授業スキルについて、学科等FDを通じて共有することになる。授業評価の低い教員は、学科長等の助言・指導を受け、「授業における向上・改善・開発（PDCA）」に取り組むことになる。
- ・全学レベルでの組織的な教育向上の取り組み＝授業評価優れて高い教員は、ベストティーチャーとして表彰され、全学FDにおいて模擬講義等を行うなど優れた教育マインドや授業スキルについてFD等で共有することになる。
- ・授業評価のPDCA＝教員アンケートにより、授業評価についての評価と要望を把握して、授業評価の改善に努めることも重要な取り組みと考えている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果は、年に1度、ホームページ上で全学、総合基礎教育課程・学科・研究科専攻等ごとの基幹的科目の集計結果及び個々の結果について公開することになる。担当教員は、授業評価の結果に基づいて、次年度の授業の改善に取り組む。担当教員は、改善について「授業における向上・改善・開発（PDCA）」に記入し、回答期間終了後1か月以内に受講学生に公開される。同時に、次年度の授業の受講学生にも公開されることになっている。

- （注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学部教育学科は、「学ぶ喜び」「考える楽しさ」を伝える専門職を育成することを目的としている。そのためには、乳幼児児童生徒一人ひとりの発達特性を理解し、通常学級や特別支援学校においてさまざまな教育的ニーズを必要とする子どもたちの保育・教育、支援において生じるさまざまな課題の解決に向け多角的・科学的にアプローチするという専門性の高い理論と実践力を身につける必要がある。そのことによって実践的指導力とコーディネート力を持つ保育・教育現場の中核となり、同僚・専門機関さらには大学等の教育研究者と協働し、新たな保育・教育法の開発に寄与し、共生社会に貢献できる専門性の高い保育士・教員の養成をするという趣旨・目的によって設置された。

開設1年目の初年次では、「リエゾンゼミⅠ（基礎演習）」というアクティブラーニングによる「大学での学び方」や仲間づくりや学修活動の中での対話の基礎となる「コミュニケーション能力」の育成、専門教育の土台となる「汎用的スキル」の学修、さらに1年次からの「キャリアサポート」が本格的に始まった。新入生アンケートにおいても「リエゾンゼミⅠ」の学修に対する満足度が非常に高く、特に「コミュニケーション能力」が伸びたと感じた学生が多かったという結果になった。

開設2年目にあたる平成28年度は、初等教育専攻では、履修登録の結果、「幼保コース」約100名、「小幼コース」約30名、「小特コース」約130名と各履修コースに分れ、保育士・幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭を目指した専門基礎科目や専門基幹科目等の学修が始まった。「幼保コース」では、保育実習をより学びの多いものにしていくために保育の心理、乳児保育、障害児保育といった専門科目を学ぶ。「小幼コース」では、幼稚園教育の目標や内容との連続性を意識しながら、いくつかの教科の指導法について学ぶ。「小特コース」では、特別支援教育の総論だけでなく各障害領域の専門分野を学びながら、基礎免許状となる小学校教諭の専門性にかかわる初等教育課程の意義と編成及び各教科の指導法を学ぶ。こうした学びが、2年次のリエゾンゼミⅡ（福祉実践演習や専門基礎演習）という担当教員の専門性を生かし、学生自身の自律した問題解決型学習による学びと融合し、相乗的な教育効果が目指されることになる。学修生活アンケートでも「専門教科の学びが深められた」「先輩の話を聞いて自分を見つめ直すことができた」など、保育内容研究や各教科の指導法やリエゾンゼミⅡなどの授業の内容に手応えを感じている学生やサークル・ボランティア活動で学科や学年を超えたさまざまな人と交流し、まさに人間力を育てていると判断できる。

開設3年目の平成29年度は、保育実習や（4年次に特別支援学校教諭免許状を取得希望する学生の）小、中学校実習の事前・事後指導を年度当初から開始した。さらに、「障害児の学習支援」という本学科の必修の科目も含めた特別支援教育関連科目も本格的に開講され、本学科の特色として謳ってきた専門性の高い教科学習や特別支援教育に関する学修が、1、2年の学びを土台に展開されてきた。なお、もう一つの本学科の特色である学校インターンシップにあたる教育実践活動Ⅰ、Ⅱ、Ⅲという科目の履修者も250名を超え、小、特支の教育実習の事前体験学修や教育実習後の発展学修として学生に活用され、実習との連携がスムーズであることについて多くの現場で好評価を得ていることにも手応えを感じている。

なお、後期からではあったが、ICTを活用した授業力養成のため40台のタブレットや移動式ディスプレイを備えた「マルチメディア教室」が整備され、各教科指導法の授業やゼミナールにおける模擬授業の実践的学修に活用可能となった。

また、小学校の教員採用試験対策についても、来年度を見据え、夏季休業後半から面接、集団討論、一般教養や専門教養等の対策講座が本格的に始動した。12月には教育実習の事前指導の中で外部講師（現場教員）を招いて「模擬授業」を行い、各自のスタートラインとしての自分について「足りないところ」「どう改善すればいいか」といった実践的かつ客観的な意見交換をする場をすでに取り入れてきた。年度末の春期休業には、各自治体別の教職教養、教科専門教養、小論文の対策講座も開講された。

以上のように、来る採用試験や就職試験でこれまでの3年間の授業の成果をいかんなく発揮できるよう、学生たちの“自分の生き方を自分で選択する”という意識改革をする体制づくりを確実に進めてきたと考えている。

開設4年目の平成30年度は、特別支援学校及び幼稚園や小学校への実習の事前・事後指導が年度開始と同時に本格始動した。さらに、昨年度から始まっていた教員採用試験対策についても、これまでの内容に加えて、体育、図画工作、ピアノ等の実技試験対策も本格的に始動した。一部のゼミナールや学生グループは、ラーニングcommonsやマルチメディア教室などをうまく使い、模擬授業や集団討論の実施や振り返りなど、自己研鑽を積むことを目指した自主的な集まりを組織し取り組んでいる。（なお、教育学科の「学び」の様子は、<https://www.tfu.ac.jp/education/fe/index.html>にて随時「教育学科のお知らせ」の最新トピックスとして更新されている。また、社会福祉学科にある保育士養成課程と連携し、「TFU保育士・幼稚園課程 学生プロジェクト「びよねっと」」(<https://www.tfu.ac.jp/education/hoiku/piyo/index.html>)

と称したサイトを課程担当教員が監修のもと学生主体で記事やコンテンツを作成・運営している。このサイトでは、日々の保育実習指導などの授業風景の記事にまとめることによって、実習・ボランティア・就職に役立つ情報を発信することで学生の学びを支えるとともに、「実習を核としたカリキュラム」「PDCA型学習（リフレクション）」「ダイアログ（対話）による協働する力」を大切にした養成をしていることを卒業生・受験生・保育関係者などにも情報を発信している。このコーナーも含めて教育学科のサイトについて、これから入学する大学を決めようとする高校生、関係者等の閲覧数が、本学HPの中でも突出して高いことも付け加えたい。

また、昨年度からも一部取り組んでいたが、総合基礎教育科目の中の教育学科必修科目である英語Ⅰ～Ⅲにおいて外部テスト（TOEIC）を取り入れた授業構成にすることや、英語活動関連3科目について幼稚園と小学校別クラスで開講しそれぞれの学修目標やスキルアップをめざせるようにすることなど、小学校英語の教科化への対策もすでに取り組んでいる。

なお、本学科への志願者数は、学科単独では毎年のべ2,000名に迫る高い割合で維持されている。高校生のニーズをとらえた広報を行っているという手応えと同時に、「人づくりのための人づくり」という責任感を改めて感じている。これまでも増して今後も入試広報（大学ホームページ（スマートフォン対応を含めて）や高等学校への学校訪問、個別説明会、等）や高等学校の模擬授業などを通じて、高校3年生だけでなく1、2年生への情報発信を積極的に行い、教育学部教育学科の設置の目的や意義、さらに教育課程の特色について直接体験をするオープンキャンパスに数多く足を運んでもらい、志願者数の拡大・維持に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年6月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年6月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

本学は、2016年度に学校教育法に定める認証評価について文部科学大臣の認証を受けた（財）大学基準協会による大学評価（認証評価）を受け、評価の結果「大学基準に適合している」と認定された。認定機関は2017年4月から2024年3月31日までである。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 2018年 10月 1日 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人梅檀学園

(2) 大学名

東北福祉大学

(3) 大学の位置

〒981-8522

宮城県仙台市青葉区国見1丁目8番-1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コジマ タイドウ) 小島 泰道 (平成24年11月)	(キミコウベ ケンシ) 喜美候部 謙史 (平成27年5月)	前理事長が平成27年4月30日付けで辞任のため(27)
		(ヨコイ シンシ) 横井 真之 (平成29年2月)	平成29年2月16日をもって前理事長が辞任したため(29)
学長	(ハギノ コウキ) 萩野 浩基 (平成6年7月)	(オオタニ テツオ) 大谷 哲夫 (平成27年12月)	前学長が平成27年10月18日に死亡のため(28)
学部長	(キムラ ススム) 木村 進 (平成27年4月)	(オカダ セイイチ) 岡田 清一 (平成27年4月)	木村進、東北福祉大学大学院教育学研究科科長就任のため(27)
		(テラシタ アキラ) 寺下 明 (平成29年4月)	平成29年3月をもって前学部長が、任期満了となったため(29)
学科長等	(オカダ セイイチ) 岡田 清一 (平成27年4月)	(イシハラ スナオ) 石原 直 (平成29年4月)	平成29年3月をもって前学科長が、任期満了となったため(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 教育学科 中等教育専攻 学士(教育学)	教育学・保育学	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 () [-]	—人 () [-]	40人 () [-]	—人 () [-]	40人 () [-]	—人 () [-]	40人 () [-]	—人 () [-]	1.15倍	
志願者数	321 () [-]	— () [-]	313 () [-]	— () [-]	494 () [-]	— () [-]	357人 () [-]	— () [-]		
受験者数	318 () [-]	— () [-]	303 () [-]	— () [-]	492 () [-]	— () [-]	338人 () [-]	— () [-]		
合格者数	119 () [-]	— () [-]	150 () [-]	— () [-]	124 () [-]	— () [-]	109人 () [-]	— () [-]		
B 入学者数	43 () [-]	— () [-]	52 () [-]	— () [-]	45 () [-]	— () [-]	45人 () [-]	— () [-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.30		1.12		1.12			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	43人 [-] (-)	[-] (-)	52人 [-] (-)	[-] (-)	45人 [-] (-)	[-] (-)	45人 [-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		43人 [-] (-)	[-] (-)	52人 [-] (-)	[-] (-)	46人 [-] (1)	[-] (-)	
3年次			/		/		42人 [-] (-)	[-] (-)	50人 [-] (-)
4年次	/						/		/
計			43人 [-] (-)	95人 [-] (-)	139人 [-] (-)	181人 [-] (1)			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	43 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	95 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	139 人	3 人	平成27年度	2 人	0 人	進路変更のため(1名)、転科のため(1名)
			平成28年度	1 人	0 人	就職のため(1名)
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	181 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	転籍(通信教育部)のため(1名)
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	458 人	4 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{139} = \boxed{2.15} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{181} = \boxed{0.55} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科 中等教育専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2								1
	教育学概論B	1後	2			1					
	教育社会学概論B	2前	2								1
	教育社会学各論	2後	2	2		1					2
	家族社会学	2前	2	2							1
	生涯学習概論	1通	4			1					
	社会福祉原論 (職業指導を含む)	2通	4			1					
	児童・家庭福祉論	1通	4			1	1				1
	生涯発達心理学概論	2前	2			1					1
	生涯発達心理学各論	2後	2			1					1
	教育心理学概論B	2前	2			1					
	教育心理学各論	2後	2			1	1				
	教職論B	1前	2				1				
	教育法規の研究	2前	2								1
	教育史	2通	4			1					
	保育原理	1前	2			1					1
	保育者論	1後	2			1					1
	特別支援教育総論	2通	4								
	教育実践活動Ⅰ	1通	1				2				
教育実践活動Ⅱ	2通	1			1	1					
教育実践活動Ⅲ	3通	1			2						
教育実践活動Ⅳ	4通	1			2						
専門基礎科目L・C群	リエゾンゼミⅡ (専門基礎演習)	2通	2			11	10	5			
	リエゾンゼミⅢ (専門演習Ⅰ)	3通	2			20	11	3			
	リエゾンゼミⅣ (専門演習Ⅱ)	4通	2			20	11	3			
	リエゾンゼミⅢ (社会教育演習Ⅰ)	3通	2				1	2			
	リエゾンゼミⅣ (社会教育演習Ⅱ)	4通	2				1	2			
	地域マネジメント論	2前	2								2
	地域活性化マネジメント論	2前	2			1		1			9
	地域共創福祉論	2後	2								1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通	4								1
	地域共創実学教育Ⅱ	2通	4								1
	地域共創実学教育Ⅲ	3通	4								1
	地域共創実学教育Ⅳ	4通	4								1
	卒業論文	4通	4			20	12	5			
専門機関科目A群	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B	2前	2			1					
	教育相談の理論と方法B	3前	2								1
	道徳の指導法B	2前	2			1					
	道徳の教材研究	2後	2				1				
	特別活動の指導法B	2前	2								1
	生徒指導論(進路指導を含む)B	3前	2								1
	教職実践演習	4後	2			8	6	2			
中等社会科の教育課程(高校地理公民の教育課程を含む)	社会科の指導法Ⅰ(地理歴史)	2後	2			2					
	社会科の指導法Ⅱ(公民)	2後	2			2					1
	地理歴史科指導法	2後	2			1					
	公民科指導法	2後	2								1
	人文地理学	2通	4								1
	自然地理学	2通	4					1			
	地誌	2通	4					1			
	地域研究法(調査を含む)	3通	2			1					
	日本史概説	1通	4			2					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論B	1後	2				1					
	教育社会学概論B	2前	2									1
	教育社会学各論	2後	2	2			1					2
	家族社会学	2前	2	2								1
	生涯学習概論	1通	4				1					
	社会福祉原論 (職業指導を含む)	2通	4				1					1
	児童・家庭福祉論	1通	4				1					3
	生涯発達心理学概論	2前	2				1					2
	生涯発達心理学各論	2後	2				1					1
	教育心理学概論B	2前	2									2
	教育心理学各論	2後	2				1					2
	教職論B	1前	2					1				
	教育情報学の基礎	2前	2						1			
	教育法規の研究	2前	2									1
	教育史	2通	4				1					
	保育原理	1前	2				1					
	保育者論	1後	2				1	1				1
	特別支援教育の基礎	2前	2					2	1			
教育実践活動Ⅰ	1通	1				1	4					
教育実践活動Ⅱ	2通	1					3					
教育実践活動Ⅲ	3通	1				1	3	1				
教育実践活動Ⅳ	4通	1				2	2	1				
専門基礎科目L・C群	リエゾンゼミⅡ (専門基礎演習)	2通	2			16	18	5				
	リエゾンゼミⅢ (専門演習Ⅰ)	3通	2			19	17	5				
	リエゾンゼミⅣ (専門演習Ⅱ)	4通	2			19	15	5				
	リエゾンゼミⅢ (社会教育演習Ⅰ)	3通	2			8	5					
	リエゾンゼミⅣ (社会教育演習Ⅱ)	4通	2			8	3	2				1
	地域マネジメント論	2前	2									1
	地域活性化マネジメント論	2前	2									12
	地域共創福祉論	2後	2									1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通	4						1			5
	地域共創実学教育Ⅱ	2通	4									6
	地域共創実学教育Ⅲ	3通	4									7
	地域共創実学教育Ⅳ	4通	4									1
	卒業論文	4通	4				19	15	4			
専門機関科目A群	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B	2前	2			1						
	教育デジタルコンテンツ作成論	2後	2				2		1			
	教育相談の理論と方法B	3前	2									1
	道徳の指導法B	2前	2				1					
	道徳の教材研究	2後	2					1				
	特別活動の指導法B	2前	2									1
	生徒指導・進路指導論B	3前	2					1				
教職実践演習	4後	2				9	8					
中等教育課程の意義と編成	社会科の指導法Ⅰ(地理歴史)	2通	4			1	1					
	社会科の指導法Ⅱ(公民)	2通	4									1
	地理歴史科指導法	2通	4				1	1				
	公民科指導法	2通	4									1
	人文地理学	2通	4									1
	自然地理学	2通	4					1				
	地誌	2通	4					1				
	地域研究法(調査を含む)	3通	2					1				
	日本史概説	1通	4					2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基幹科目C群	日本文化史	2通		4		1						
	日本仏教史	2前		2								1
	日本思想史	3通		4		1						
	日本美術史	3前		2				1				
	東洋史概説	2後	2									1
	西洋史概説	2前・後	2			1						
	西洋美術史	3後		2								1
	社会学原論	2通		4								1
	福祉社会学	1前		2								2
	経済原論（国際経済を含む）	2通	4									3
	政治学原論（国際政治を含む）	2通		4		1						1
	法学概論（国際法を含む）	2前	2									1
	倫理学概論	2通		4								1
	心理学概論	2前	2						1			2
	宗教学概論	2後		2								1
	仏教学概論	2通		4								1
	教育実習（中・高）の事前指導	2後		1		3						
教育実習（中・高）の事前事後指導	3前		1		3							
教育実習（中・高）	3通		4		3							
専門発展科目	障害児の学習支援	3後	2					1				
	学校経営と学校図書館	3前		2								1
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3前		2								1
	N I E 活動論	2前		2								1
	N I E 活動の教材研究	2後		2								1
	教育学特殊講義Ⅰ	2前		2								1
	教育学特殊講義Ⅱ	3前		2								1
	教育学特殊講義Ⅲ	3後		2								1
	児童精神医学	3後		2								1
	睡眠健康科学	2前		2			1					
	家庭支援論	2前		2								1
	人間関係論	2前		2								1
	家族心理学	2前		2								1
	思春期の発達と臨床	2後		2								1
臨床心理学	2前・後		2								3	
発達臨床心理学	2後		2			1						
発達心理アセスメント概論	2後		2								1	
健康心理アセスメント概論	3前		2								1	
健康心理カウンセリング概論	3前		2			1						
災害概論	2通		4								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基幹科目C群	日本文化史	2通		4						1		
	日本仏教史	2前		2								1
	日本思想史	3通		4						1		
	日本美術史	3前		2						1		
	東洋史概説	2後	2									1
	西洋史概説	2前・後	2					1				
	西洋美術史	3後		2								1
	社会学原論	2通		4								3
	福祉社会学	1前		2								3
	経済原論（国際経済を含む）	2通	4									2
	政治学原論（国際政治を含む）	2通		4		1						1
	法学概論（国際法を含む）	2前	2									1
	倫理学概論	2通		4								1
	心理学概論	2前	2							1		2
	宗教学概論	2後		2								1
	仏教学概論	2通		4								1
	教育実習（中・高）の事前指導	2後		1			1	2				
教育実習（中・高）の事前事後指導	3前		1			1	2					
教育実習（中・高）	3通		4			1	2					
専門基幹科目D群	特別支援教育総論	2後		2			2	1				
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2				1				2
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2				1				2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2				1				2
	聴覚障害者の心理	3前		2			1		1			
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2								1
	知的障害者教育論	3前		2			1					
	肢体不自由者教育論	2前		2			1	1				
	病弱者教育論	2後		2			1					
	聴覚障害者教育論	3通		4			1	1				
	重複障害者教育総論	3後		2			1	1				
	発達障害者教育総論	3前		2			1	1				
	自閉症者教育総論	3後		2			1					
	言語障害者教育総論	3後		2			2		1			
	視覚障害者教育総論	2前		2								1
	特別支援教育実習の事前指導	3後		1			2	3	1			
	特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1			1	3	1			
特別支援教育実習	4通		2			1	3	1				
専門発展科目	障害児の学習支援	3前	2					1	1			
	学校経営と学校図書館	3前		2					1			
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3前		2					1			
	N I E 活動論	2前		2								1
	N I E 活動の教材研究	2後		2								1
	教育学特殊講義Ⅰ	2前		2						1		
	教育学特殊講義Ⅱ	3前		2						1		
	教育学特殊講義Ⅲ	3後		2								1
	児童精神医学	3後		2								1
	睡眠健康科学	2前		2					1			
	家庭支援論	2前		2								2
	人間関係論	2前		2								1
	家族心理学	2前		2								1
	思春期の発達と臨床	2後		2								1
臨床心理学	2前・後		2								2	
発達臨床心理学	2後		2					1				
発達心理アセスメント概論	2後		2								1	
健康心理アセスメント概論	3前		2								1	
健康心理カウンセリング概論	3前		2					1				
災害概論	2通		4								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目	原子力災害論	2前		2								1
	社会貢献論	2前		2								1
	社会教育計画	2通		4		1						
	現代社会と社会教育Ⅰ	3前		2								2
	現代社会と社会教育Ⅱ	3前		2								3
	社会教育実習（野外活動実習等を含む）	3通		2		1			1			1
	社会教育課題研究	4通		2		1			1			1
	社会教育史	1後		2								1
	社会教育行政論	2前		2								1
	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2		1						
	博物館経営論	3後		2								1
	博物館資料論	2後		2								1
	博物館資料保存論	3前		2								1
	博物館展示論	3前		2					1			
	博物館教育論	3前		2								1
	博物館情報・メディア論	3前		2								1
	博物館実習	3通		3		1			1			2
	文化財概論	2前		2		1						
	文化財各論（文化財保護法を含む）	2後		2		1						3
	考古学概論	2前		2		1						
	考古学各論	2後		2		2						
	考古学特殊講義	3前		2		1						1
	考古学実習	3通		2		1						1
	古文書学概論	2前		2		1						
	古文書学各論	2後		2		1						
	日本史特殊講義	3後		2								1
	古文書学実習	3通		2		1						
	民俗学概論	2前		2								1
	民俗学各論	2後		2								1
	民俗学特殊講義	3前		2			1					
	民俗学実習	3前		2			1					
	文化人類学	2前		2			1					
	美術史特殊講義	3後		2				1				
	美術実習	3通		2					1			
	図書館概論	2前		2					1			
	図書館情報技術論	3前		2								1
	図書館制度・経営論	3前		2								1
	図書館サービス概論	2前		2								1
	情報サービス論	2後		2					1			
児童サービス論	3前		2								1	
情報サービス演習	3通		2					1				
図書館情報資源概論	3前		2						1			
情報資源組織論	2後		2						1			
情報資源組織演習	3通		2						1			
図書館基礎特論	3前		1								1	
図書館サービス特論	3後		1								1	
図書館情報資源特論	3後		1								1	
図書・図書館史	3後		1								1	
図書館施設論	3後		1								1	
図書館総合演習	3後		1					1				
図書館実習	3通		1					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目	原子力災害論	2後		2								1
	社会貢献論	2前		2								1
	社会教育計画	2通		4		1						
	現代社会と社会教育Ⅰ	3前		2								1
	現代社会と社会教育Ⅱ	3前		2								1
	社会教育実習（野外活動実習等を含む）	3通		2		1			1			1
	社会教育課題研究	4通		2				2				1
	社会教育史	1後		2								1
	社会教育行政論	2前		2								1
	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2					1			
	博物館経営論	3後		2								1
	博物館資料論	2後		2								1
	博物館資料保存論	3前		2								1
	博物館展示論	3前		2							1	
	博物館教育論	3前		2								1
	博物館情報・メディア論	3前		2								1
	博物館実習	3通		3					2			4
	文化財概論	2前		2		1						
	文化財各論（文化財保護法を含む）	2後		2		1						3
	考古学概論	2前		2		1						
	考古学各論	2後		2					1			
	考古学特殊講義	3前		2		1						
	考古学実習	3通		2		1						1
	古文書学概論	2前		2		1						
	古文書学各論	2後		2		1						
	日本史特殊講義	3後		2								1
	古文書学実習	3通		2		1						
	民俗学概論	2前		2								1
	民俗学各論	2後		2								1
	民俗学特殊講義	3前		2					1			
	民俗学実習	3前		2					1			
	文化人類学	2前		2					1			
	美術史特殊講義	3後		2						1		
	美術実習	3通		2							1	
	図書館概論	2前		2						1		
	図書館情報技術論	3前		2								1
	図書館制度・経営論	3前		2								1
	図書館サービス概論	2前		2								1
	情報サービス論	2後		2						1		
児童サービス論	2前		2								1	
情報サービス演習	3通		2									
図書館情報資源概論	3前		2							1		
情報資源組織論	2後		2							1		
情報資源組織演習	3通		2							1		
図書館基礎特論	3前		1								1	
図書館サービス特論	3後		1								1	
図書館情報資源特論	3後		1								1	
図書・図書館史	3後		1								1	
図書館施設論	3後		1								1	
図書館総合演習	3後		1						1			
図書館実習	3通		1						1			

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論B	1後	2			1						

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論B	1後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	教育社会学概論B	2前		2								1
	教育社会学各論	2後		2		1						2
	家族社会学	2前		2								1
	生涯学習概論	1通		4		1						
	社会福祉原論（職業指導を含む）	2通		4		1						
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1					2
	生涯発達心理学概論	2前		2		1						1
	生涯発達心理学各論	2後		2		1						1
	教育心理学概論B	2前		2		1						1
	教育心理学各論	2後		2		1	1					1
	教職論B	1前		2		1						
	教育法規の研究	2前		2								1
	教育史	2通		4		1						
	保育原理	1前		2		1						1
	保育者論	1後		2		1						2
	特別支援教育の基礎	2前	2			1						
教育実践活動Ⅰ	1通		1		1	2						
教育実践活動Ⅱ	2通		1		1	1						
教育実践活動Ⅲ	3通		1		2							
教育実践活動Ⅳ	4通		1		2							
専門基礎科目L・C群	リエゾンゼミⅡ（専門基礎演習）	2通		2		11	10	5				
	リエゾンゼミⅢ（専門演習Ⅰ）	3通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミⅣ（専門演習Ⅱ）	4通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミⅢ（社会教育演習Ⅰ）	3通		2			1	2				
	リエゾンゼミⅣ（社会教育演習Ⅱ）	4通		2			1	2				
	地域マネジメント論	2前		2								2
	地域活性化マネジメント論	2前		2		1		1				9
	地域共創福祉論	2後		2								1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通		4					1			4
	地域共創実学教育Ⅱ	2通		4								1
	地域共創実学教育Ⅲ	3通		4								1
地域共創実学教育Ⅳ	4通		4								1	
卒業論文	4通		4		20	12	5					
専門機関科目A群	教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）B	2前		2		1						
	教育相談の理論と方法B	3前		2								1
	道徳の指導法B	2前		2		1						
	道徳の教材研究	2後		2								1
	特別活動の指導法B	2前		2								1
	生徒指導論（進路指導を含む）B	3前		2								1
	教職実践演習	4後		2		7	6	2				
専門基礎科目C群	中等教育課程の意義と編成	2前		2								1
	社会科の指導法Ⅰ（地理歴史）	2通		4								
	社会科の指導法Ⅱ（公民）	2通		4								1
	地理歴史科指導法	2通		4		1						1
	公民科指導法	2通		4								1
	人文地理学	2通		4								1
	自然地理学	2通		4				1				
	地誌	2通		4				1				
	地域研究法（調査を含む）	3通		2		1						
	日本史概説	1通		4		2						
	日本文化史	2通		4				1				
	日本仏教史	2前		2								1
	日本思想史	3通		4				1				
	日本美術史	3前		2				1				
	東洋史概説	2後		2								1
	西洋史概説	2前・後		2		1						
	西洋美術史	3後		2								1
社会学原論	2通		4								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	教育社会学概論B	2前		2								1
	教育社会学各論	2後		2		1						2
	家族社会学	2前		2								1
	生涯学習概論	1通		4		1						
	社会福祉原論（職業指導を含む）	2通		4		1						1
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1					2
	生涯発達心理学概論	2前		2		1						1
	生涯発達心理学各論	2後		2		1						1
	教育心理学概論B	2前		2		1						1
	教育心理学各論	2後		2		1	1					1
	教職論B	1前		2				1				
	教育情報学の基礎	2前		2					1			
	教育法規の研究	2前		2								1
	教育史	2通		4		1						
	保育原理	1前		2		1						1
	保育者論	1後		2		1						2
特別支援教育の基礎	2前	2					2					
教育実践活動Ⅰ	1通		1			2	1					
教育実践活動Ⅱ	2通		1			1						
教育実践活動Ⅲ	3通		1			2						
教育実践活動Ⅳ	4通		1			2						
専門基礎科目L・C群	リエゾンゼミⅡ（専門基礎演習）	2通		2		16	13	6				
	リエゾンゼミⅢ（専門演習Ⅰ）	3通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミⅣ（専門演習Ⅱ）	4通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミⅢ（社会教育演習Ⅰ）	3通		2			1	2				
	リエゾンゼミⅣ（社会教育演習Ⅱ）	4通		2			1	2				
	地域マネジメント論	2前		2								2
	地域活性化マネジメント論	2前		2				1				12
	地域共創福祉論	2後		2								1
	地域共創実学教育Ⅰ	1通		4								5
	地域共創実学教育Ⅱ	2通		4								7
	地域共創実学教育Ⅲ	3通		4								1
地域共創実学教育Ⅳ	4通		4								1	
卒業論文	4通		4		20	12	5					
専門機関科目A群	教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）B	2前		2		1						
	教育相談の理論と方法B	3前		2								1
	道徳の指導法B	2前		2		1						
	道徳の教材研究	2後		2								1
	特別活動の指導法B	2前		2								1
	生徒指導論（進路指導を含む）B	3前		2								1
	教職実践演習	4後		2		7	6	2				
専門基礎科目C群	中等教育課程の意義と編成	2前		2								1
	社会科の指導法Ⅰ（地理歴史）	2通		4								
	社会科の指導法Ⅱ（公民）	2通		4								1
	地理歴史科指導法	2通		4		1			2	1		
	公民科指導法	2通		4								1
	人文地理学	2通		4								1
	自然地理学	2通		4					1			
	地誌	2通		4					1			
	地域研究法（調査を含む）	3通		2		1			1			
	日本史概説	1通		4		2						
	日本文化史	2通		4						1		
	日本仏教史	2前		2								1
	日本思想史	3通		4						1		
	日本美術史	3前		2						1		
	東洋史概説	2後		2								1
	西洋史概説	2前・後		2		1						
	西洋美術史	3後		2								1
社会学原論	2通		4								3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	福祉社会学	1前		2							2
	経済原論（国際経済を含む）	2通		4							3
	政治学原論（国際政治を含む）	2通		4		1					1
	法学概論（国際法を含む）	2前		2							1
	倫理学概論	2通		4							1
	心理学概論	2前		2				1			2
	宗教学概論	2後		2							1
	仏教学概論	2通		4							1
	教育実習（中・高）の事前指導	2後		1		3					
	教育実習（中・高）の事前事後指導	3前		1		3					
教育実習（中・高）	3通		4		3						
専門基幹科目D群											
専門発展科目	障害児の学習支援	3前	2				1				
	学校経営と学校図書館	3前		2							1
	学校図書館メディアの構成	3前		2							1
	学習指導と学校図書館	3前		2							1
	読書と豊かな人間性	3後		2							1
	情報メディアの活用	3前		2							1
	N I E 活動論	2前		2							1
	N I E 活動の教材研究	2後		2							1
	教育学特殊講義 I	2前		2							1
	教育学特殊講義 II	3前		2							1
教育学特殊講義 III	3後		2							1	
児童精神医学	3後		2							1	
睡眠健康科学	2前		2			1					
家庭支援論	2前		2							1	
人間関係論	2前		2							1	
家族心理学	2前		2							1	
思春期の発達と臨床	2後		2							1	
臨床心理学	2前・後		2							3	
発達臨床心理学	2後		2			1					
発達心理アセスメント概論	2後		2							1	
健康心理アセスメント概論	3前		2							1	
健康心理カウンセリング概論	3前		2			1					
災害概論	2通		4							1	
原子力災害論	2前		2							1	
社会貢献論	2前		2							1	
社会教育計画	2通		4		1						
現代社会と社会教育 I	3前		2							2	
現代社会と社会教育 II	3前		2							3	
社会教育実習（野外活動実習等を含む）	3通		2		1			1		1	
社会教育課題研究	4通		2		1			1		1	
社会教育史	1後		2							1	
社会教育行政論	2前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	福祉社会学	1前		2								3
	経済原論（国際経済を含む）	2通		4								3
	政治学原論（国際政治を含む）	2通		4		1						1
	法学概論（国際法を含む）	2前		2								1
	倫理学概論	2通		4								1
	心理学概論	2前		2					1			2
	宗教学概論	2後		2								1
	仏教学概論	2通		4								1
	教育実習（中・高）の事前指導	2後		1		1	2					
	教育実習（中・高）の事前事後指導	3前		1		3						
教育実習（中・高）	3通		4		3							
専門基幹科目D群	特別支援教育総論	2後		2		2						
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2			1					1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2								2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2								2
	聴覚障害者の心理	3前		2		1						
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2								1
	知的障害者教育論	3前		2		1						
	肢体不自由者教育論	2前		2		1	1					
	病弱者教育論	2後		2		1						1
	聴覚障害者教育論	3通		4		1						
重複障害者教育総論	3後		2								1	
発達障害者教育総論	3前		2						1			
自閉症者教育総論	3後		2		1							
言語障害者教育総論	3後		2		1							
視覚障害者教育総論	2前		2								1	
特別支援教育実習の事前指導	3後		1		2							
特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		2							
特別支援教育実習	4通		2		2							
専門発展科目	障害児の学習支援	3前	2							1		
	学校経営と学校図書館	3前		2								1
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3前		2								1
	N I E 活動論	2前		2								1
	N I E 活動の教材研究	2後		2								1
	教育学特殊講義 I	2前		2						1		
	教育学特殊講義 II	3前		2								1
教育学特殊講義 III	3後		2								1	
児童精神医学	3後		2								1	
睡眠健康科学	2前		2			1						
家庭支援論	2前		2								2	
人間関係論	2前		2								1	
家族心理学	2前		2								1	
思春期の発達と臨床	2後		2								1	
臨床心理学	2前・後		2								3	
発達臨床心理学	2後		2			1						
発達心理アセスメント概論	2後		2								1	
健康心理アセスメント概論	3前		2								1	
健康心理カウンセリング概論	3前		2			1						
災害概論	2通		4								1	
原子力災害論	2前		2								1	
社会貢献論	2前		2								1	
社会教育計画	2通		4		1							
現代社会と社会教育 I	3前		2								2	
現代社会と社会教育 II	3前		2								3	
社会教育実習（野外活動実習等を含む）	3通		2		1			1			1	
社会教育課題研究	4通		2		1			1			1	
社会教育史	1後		2								1	
社会教育行政論	2前		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2		1						
	博物館経営論	3後		2								1
	博物館資料論	2後		2								1
	博物館資料保存論	3前		2								1
	博物館展示論	3前		2					1			
	博物館教育論	3前		2								1
	博物館情報・メディア論	3前		2								1
	博物館実習	3通		3		1			1			2
	文化財概論	2前		2		1						
	文化財各論（文化財保護法を含む）	2後		2		1						3
	考古学概論	2前		2		1						
	考古学各論	2後		2		2						
	考古学特殊講義	3前		2		1						1
	考古学実習	3通		2		1						1
	古文書学概論	2前		2		1						
	古文書学各論	2後		2		1						
	日本史特殊講義	3後		2								1
	古文書学実習	3通		2		1						
	民俗学概論	2前		2								1
	民俗学各論	2後		2								1
	民俗学特殊講義	3前		2			1					
	民俗学実習	3前		2			1					
	文化人類学	2前		2			1					
	美術史特殊講義	3後		2					1			
	美術実習	3通		2						1		
	図書館概論	2前		2					1			
	図書館情報技術論	3前		2								1
	図書館制度・経営論	3前		2								1
	図書館サービス概論	2前		2								1
	情報サービス論	2後		2					1			
	児童サービス論	2前		2								1
情報サービス演習	3通		2					1				
図書館情報資源概論	3前		2					1				
情報資源組織論	2後		2					1				
情報資源組織演習	3通		2					1				
図書館基礎特論	3前		1								1	
図書館サービス特論	3後		1								1	
図書館情報資源特論	3後		1								1	
図書・図書館史	3後		1								1	
図書館施設論	3後		1								1	
図書館総合演習	3後		1					1				
図書館実習	3通		1					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2		1						
	博物館経営論	3後		2								1
	博物館資料論	2後		2								1
	博物館資料保存論	3前		2								1
	博物館展示論	3前		2						1		
	博物館教育論	3前		2								1
	博物館情報・メディア論	3前		2								1
	博物館実習	3通		3		1			1			2
	文化財概論	2前		2		1						
	文化財各論（文化財保護法を含む）	2後		2		1						3
	考古学概論	2前		2		1						
	考古学各論	2後		2		1						
	考古学特殊講義	3前		2		1						1
	考古学実習	3通		2		1						1
	古文書学概論	2前		2		1						
	古文書学各論	2後		2		1						
	日本史特殊講義	3後		2								1
	古文書学実習	3通		2		1						
	民俗学概論	2前		2								1
	民俗学各論	2後		2								1
	民俗学特殊講義	3前		2			1					
	民俗学実習	3前		2			1					
	文化人類学	2前		2			1					
	美術史特殊講義	3後		2					1			
	美術実習	3通		2						1		
	図書館概論	2前		2					1			
	図書館情報技術論	3前		2								1
	図書館制度・経営論	3前		2								1
	図書館サービス概論	2前		2								1
	情報サービス論	2後		2					1			
	児童サービス論	2前		2								1
情報サービス演習	3通		2					1				
図書館情報資源概論	3前		2					1				
情報資源組織論	2後		2					1				
情報資源組織演習	3通		2					1				
図書館基礎特論	3前		1								1	
図書館サービス特論	3後		1								1	
図書館情報資源特論	3後		1								1	
図書・図書館史	3後		1								1	
図書館施設論	3後		1								1	
図書館総合演習	3後		1					1				
図書館実習	3通		1					1				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎	日本国憲法	1前・後	2									1
	教育学概論B	1後		2		1						
	教育社会学概論B	2前		2								1
	教育社会学各論	2後		2		1						2
	家族社会学	2前		2								1
	生涯学習概論	1通		4		1						
	社会福祉原論（職業指導を含む）	2通		4		1						1
	児童・家庭福祉論	1通		4		1	1					
	生涯発達心理学概論	2前		2								3
	生涯発達心理学各論	2後		2								1
教育心理学概論B	2前		2		1						1	
教育心理学各論	2後		2		2						1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科目	教職論B	1前		2		1						
	教育情報学の基礎	2前		2				1				
	教育法規の研究	2前		2							1	
	教育史	2通		4		1						
	保育原理	1前		2		1					1	
	保育者論	1後		2		1					2	
	特別支援教育の基礎	2前	2			1	2	1				
	教育実践活動Ⅰ	1通		1		1	3					
	教育実践活動Ⅱ	2通		1			4					
	教育実践活動Ⅲ	3通		1		1	2	1				
	教育実践活動Ⅳ	4通		1		2	1	1				
専門基幹科目L・C群	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通		2		17	15	5				
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	3通	2			22	17	6				
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	4通	2			20	11	3				
	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	3通		2		9	3	3				
	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	4通		2			1	2				
	地域マネジメント論	2前		2							2	
	地域活性化マネジメント論	2前		2							14	
	地域共創福祉論	2後		2							1	
	地域共創実学教育Ⅰ	1通		4							5	
	地域共創実学教育Ⅱ	2通		4							6	
	地域共創実学教育Ⅲ	3通		4							6	
地域共創実学教育Ⅳ	4通		4							1		
卒業論文	4通		4		20	12	5					
専門機関科目A群	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B	2前		2		1						
	教育デジタルコンテンツ作成論	2後		2				1				
	教育相談の理論と方法B	3前		2							1	
	道徳の指導法B	2前		2		1						
	道徳の教材研究	2後		2							1	
	特別活動の指導法B	2前		2							1	
	生徒指導・進路指導論B	3前		2			1				1	
	教職実践演習	4後		2		9	8					
専門基幹科目C群	中等教育課程の意義と編成	2前		2		1						
	社会科の指導法Ⅰ(地理歴史)	2通		4		2	1				1	
	社会科の指導法Ⅱ(公民)	2通		4							1	
	地理歴史科指導法	2通		4		1	1				1	
	公民科指導法	2通		4							1	
	人文地理学	2通		4							1	
	自然地理学	2通		4			1					
	地誌	2通		4			1					
	地域研究法(調査を含む)	3通		2		1						
	日本史概説	1通		4		2						
	日本文化史	2通		4				1				
	日本仏教史	2前		2							1	
	日本思想史	3通		4				1				
	日本美術史	3前		2				1				
	東洋史概説	2後		2							1	
	西洋史概説	2前・後		2		1						
	西洋美術史	3後		2							1	
	社会学原論	2通		4							3	
	福祉社会学	1前		2							3	
	経済原論(国際経済を含む)	2通		4							3	
	政治学原論(国際政治を含む)	2通		4		1					1	
	法学概論(国際法を含む)	2前		2							1	
	倫理学概論	2通		4							1	
心理学概論	2前		2				1			2		
宗教学概論	2後		2							1		
仏教学概論	2通		4							1		
教育実習(中・高)の事前指導	2後		1		1	2						
教育実習(中・高)の事後指導	3前		1		1	2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育実習(中・高)	3通		4		1	2					
専門 基幹 科目 D 群	特別支援教育総論	2後		2		3						2
	知的障害者の心理・生理・病理	3前		2			1					2
	肢体不自由者の心理・生理・病理	3後		2			1					2
	病弱者の心理・生理・病理	3後		2			1					2
	聴覚障害者の心理	3前		2		1		1				
	聴覚障害者の生理・病理	3前		2								1
	知的障害者教育論	3前		2		1						
	肢体不自由者教育論	2前		2		1	1					
	病弱者教育論	2後		2		1						1
	聴覚障害者教育論	3通		4		1	1					
	重複障害者教育総論	3後		2		1	1					
	発達障害者教育総論	3前		2		1		1				
	自閉症者教育総論	3後		2		2						
	言語障害者教育総論	3後		2		2		1				
視覚障害者教育総論	2前		2								1	
特別支援教育実習の事前指導	3後		1		1	3	1					
特別支援教育実習の事前事後指導	4前		1		2							
特別支援教育実習	4通		2		2							
専門 発展 科目	障害児の学習支援	3前	2			1	1					
	学校経営と学校図書館	3前		2			1					
	学校図書館メディアの構成	3前		2								1
	学習指導と学校図書館	3前		2								1
	読書と豊かな人間性	3後		2								1
	情報メディアの活用	3前		2			1					
	N I E活動論	2前		2								1
	N I E活動の教材研究	2後		2								1
	教育学特殊講義 I	2前		2				1				1
	教育学特殊講義 II	3前		2				1				1
	教育学特殊講義 III	3後		2								1
	児童精神医学	3後		2								1
	睡眠健康科学	2前		2			1					2
	家庭支援論	2前		2								1
	人間関係論	2前		2								1
	家族心理学	2前		2								1
	思春期の発達と臨床	2後		2								1
臨床心理学	2前・後		2								3	
発達臨床心理学	2後		2			1						
発達心理アセスメント概論	2後		2								1	
健康心理アセスメント概論	3前		2								1	
健康心理カウンセリング概論	3前		2			1						
災害概論	2通		4								1	
原子力災害論	2後		2								1	
社会貢献論	2前		2								1	
関連	社会教育計画	2通		4		1						
	現代社会と社会教育 I	3前		2								1
	現代社会と社会教育 II	3前		2								1
	社会教育実習(野外活動実習等を含む)	3通		2		1						1
	社会教育課題研究	4通		2		1						1
	社会教育史	1後		2								1
	社会教育行財政論	2前		2								1
	社会教育施設論	2前		2								1
	博物館概論	2前		2		1						
	博物館経営論	3後		2								1
	博物館資料論	2後		2								1
	博物館資料保存論	3前		2								1
	博物館展示論	3前		2					1			
	博物館教育論	3前		2								1
	博物館情報・メディア論	3前		2								1
	博物館実習	3通		3		2						2
	文化財概論	2前		2		1						
	文化財各論(文化財保護法を含む)	2後		2		1						3
	考古学概論	2前		2		1						
考古学各論	2後		2		1							
考古学特殊講義	3前		2		1							
考古学実習	3通		2		1						1	
古文書学概論	2前		2		1							
古文書学各論	2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科目	日本史特殊講義	3後		2								1
	古文書学実習	3通		2		1						
	民俗学概論	2前		2								1
	民俗学各論	2後		2								1
	民俗学特殊講義	3前		2								1
	民俗学実習	3前		2								1
	文化人類学	2前		2			1					
	美術史特殊講義	3後		2				1				
	美術実習	3通		2					1			
	図書館概論	2前		2				1				
	図書館情報技術論	3前		2								1
	図書館制度・経営論	3前		2								1
	図書館サービス概論	2前		2								1
	情報サービス論	2後		2				1				
	児童サービス論	2前		2								1
	情報サービス演習	3通		2				1				
	図書館情報資源概論	3前		2				1				
	情報資源組織論	2後		2				1				
	情報資源組織演習	3通		2				1				
	図書館基礎特論	3前		1								1
	図書館サービス特論	3後		1								1
	図書館情報資源特論	3後		1								1
	図書・図書館史	3後		1								1
	図書館施設論	3後		1								1
	図書館総合演習	3後		1				1				
	図書館実習	3通		1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

--

【平成28年度】

--

【平成29年度】

【平成30年度】

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	118 科目	0 科目	146 科目	28 科目 [0]	138 科目 [20]	0 科目 [0]	166 科目 [20]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	原子力災害論	2	2	専門	選択	兼担1人が単独で開講（開講時期を後期に変更）(29) 一身上の都合で担当者退職。後任人選中 (28)
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「原子力災害論」前担当者（〇〇〇〇教授：兼担）が一身上の都合で退職したため、開設年度を迎えた1科目が未開講となった。次年度に向けて後任を人選中である。学生には、年度初めのガイダンスおよび教務部教務課の掲示板で告知する。(28)
「原子力災害論」について、兼担1人が単独で開講（開講時期を後期に変更）するため学生には不利益は生じないと判断できる(29)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{159} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
校 地 等	校舎敷地	140,416.350㎡ 137,710.020㎡ 135,464.250㎡ 133,520.690㎡	㎡	㎡	140,416.350㎡ 137,710.020㎡ 135,464.250㎡ 133,520.690㎡	借用面積：8,580.69㎡ 借用期間：30年				
	運動場用地	139,505.480㎡ 139,826.140㎡ 139,184.820㎡	㎡	㎡	139,505.480㎡ 139,826.140㎡ 139,184.820㎡					
	小 計	279,921.830㎡ 277,215.500㎡ 275,290.390㎡ 272,705.510㎡	㎡	㎡	279,921.830㎡ 277,215.500㎡ 275,290.390㎡ 272,705.510㎡					
	そ の 他	2,316,286.470㎡ 2,314,116.020㎡ 2,314,527.760㎡ 2,312,627.755㎡	㎡	㎡	2,316,286.470㎡ 2,314,116.020㎡ 2,314,527.760㎡ 2,312,627.755㎡					
	合 計	2,596,208.300㎡ 2,591,331.520㎡ 2,589,818.150㎡ 2,585,333.265㎡	㎡	㎡	2,596,208.300㎡ 2,591,331.520㎡ 2,589,818.150㎡ 2,585,333.265㎡					
(2) 校 舎	専 用	60,168.235㎡ 49,807.063㎡ (60,168.235㎡) (- 49,807.063㎡)	共 用	3,385.575㎡ 2,213.175㎡ (3,385.575㎡) (- 2,213.175㎡)	共用する他の 学校等の専用	計	452.890㎡ 748.452㎡ (452.890㎡) (- 748.452㎡)	64,006.700㎡ 52,768.690㎡ (64,006.700㎡) (- 52,768.690㎡)	東北福祉看護学校（通 信制看護師養成所）と 共用 収容定員500人 ※面積基準なし 校地・校舎取得のため (27)	
	講 義 室	78室 49室	演 習 室	37室 30室	実験実習室	40室 39室	情報処理学習施設	6室 (補助職員 0人)	語学学習施設	5室 (補助職員 0人)
(3) 教 室 等	新設学部等の名称				室 数				学科専任教員異動による (28) (29) (30)	
(4) 専任教員研究室	教育学部 教育学科 中等教育専攻				22 21 20 17 11 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	届出学部学科全体	
	教育学部 教育学科	7,150 [225] 7,889 535 5,379 -361 3,369 196 1,064 56 (1,430 [45])	100 [30] 117 8 119 -9 (100 [30])	25 [25] 約1,400 約1,400 (25 [25])	125 128 109 39 3	1,000 (250)	— (—)	— (—)	外国書数の減少は、電子 ジャーナルへ切り替えた ため(27) (28) (29) (30) 電子ジャーナルの増加 はパッケージ契約 (Education research complete) による (29) (30) 教育環境充実化のため (27) (28) (29) (30)	
	計	7,150 [225] 7,889 535 5,379 -361 3,369 196 1,064 56 (1,430 [45])	100 [30] 117 8 119 -9 (100 [30])	25 [25] 約1,400 約1,400 (25 [25])	125 128 109 39 3	1,000 (250)	— (—)	— (—)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				大学全体	
	4,205.026 ㎡		599 席		399,861 冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体	
	9,666.801㎡		ゴルフ練習場1面 野球場2面			テニスコート3面 弓道場1面				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部学科全体	
		教員1人当り研究費等	320千円	320千円	図書購入費	3,320千円	3,400千円	3,400千円		
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	2,500千円	設備購入費	100千円	34,500千円	34,500千円	図書購入費には、電子 ジャーナル・デー タベースの整備費(運用 コストを含む)を含 む。		
	学生1人当 り 納付金	第1年次 1,144千円	第2年次 1,044千円	第3年次 1,044千円	第4年次 1,044千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、

複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東北福祉大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院・通学課程									
総合福祉学研究科		33	—	69		0.36		宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘六丁目149番1号	
社会福祉学専攻博士課程	3	3	—	9	博士 (社会福祉学)	0.66	平成14年度	同上	
社会福祉学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (社会福祉学)	0.40	昭和51年度	同上	
福祉心理学専攻修士課程	2	20	—	40	修士 (福祉心理学)	0.27	平成14年度	同上	
教育学研究科									
教育学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (教育学)	0.15	平成27年度	同上	
大学院・通信制									
総合福祉学研究科	2	20	—	40		1.00		宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘六丁目149番1号	
社会福祉学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (社会福祉学)	1.85	平成14年度	同上	
福祉心理学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (福祉心理学)	0.15	平成14年度	同上	
大学の名称	東北福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
学部・通学課程									
総合福祉学部	4	620	—	2480		1.15		宮城県仙台市青葉区国見一丁目8番1号	
社会福祉学科	4	400	—	1600	学士 (社会福祉学)	1.15	昭和37年度	同上	平成27年度より100名の
福祉行政学科	4	100	—	400	学士 (福祉行政学)	1.16	平成27年度	同上	
福祉心理学科	4	120	—	480	学士 (福祉心理学)	1.18	昭和49年度	同上	
社会教育学科	4	—	—	—	学士 (社会教育学)	—	昭和46年度	同上	平成27年より学生募集
総合マネジメント学部	4	200	—	800		1.12	平成20年度	同上	
産業福祉マネジメント学科	4	100	—	400	学士 (産業福祉学)	1.14	平成20年度	同上	
情報福祉マネジメント学科	4	100	—	400	学士 (情報福祉学)	1.10	平成20年度	同上	
子ども科学部									
子ども教育学科	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	平成18年度	同上	平成27年より学生募集
教育学部						1.12			
教育学科	4	250	—	1000	学士 (教育学)	1.12	平成27年度	同上	
初等教育専攻	4	210	—	840	学士 (教育学)	1.12	平成27年度	同上	
中等教育専攻	4	40	—	160	学士 (教育学)	1.15	平成27年度	同上	
健康科学部	4	230	—	920		1.13			

保健看護学科	4	70	—	280	学士 (看護学)	1.14	平成18年度	同上
リハビリテーション学科	4	80	—	320	学士 (リハビリテーション学)	1.18	平成20年度	同上
理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 (リハビリテーション学)	1.24	平成20年度	同上
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 (リハビリテーション学)	1.13	平成20年度	同上
医療経営管理学科	4	80	—	320	学士 (医療経営管理学)	1.08	平成20年度	同上
学部・通信教育部								
総合福祉学部	4	800	—	3200		0.71	平成14年度	仙台市宮城野区榴岡二丁目 5番26号
社会福祉学科	4	600	—	2400	学士 (社会福祉学)	0.73	平成14年度	同上
福祉心理学科	4	200	—	800	学士 (福祉心理学)	0.63	平成14年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成27年度】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名			
専	教授	(59) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授	(59) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授	(60) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授	(61) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B リエゾンゼミI(基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIII(社会教育演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授	(62) <平成27年4月> 教育学の基礎 教育学概論B 道徳の指導法B 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)B 教職実践演習 リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIII(社会教育演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) リエゾンゼミIV(社会教育演習II) 卒業論文
専	教授	(68) <平成27年4月> 歴史学の基礎 中等社会科の教育課程(高校地歴・公民の教育課程を含む) 日本史概説 地域研究法(調査を含む) 社会科の指導法I(地理歴史) 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 文化財各論(文化財保護法を含む)※ 地域活性化マゼンタ論※ リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授 (学部長) (学部長)	(68) <平成27年4月> 社会科概論※ 中等社会科の教育課程(高校地歴・公民の教育課程を含む) 日本史概説 地域研究法(調査を含む) 社会科の指導法I(地理歴史) 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 文化財各論(文化財保護法を含む)※ 地域活性化マゼンタ論※ リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授 (学部長) (学部長)	(69) <平成27年4月> 社会科概論※ 日本史概説 地域研究法(調査を含む) 社会科の指導法I(地理歴史) 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授	(70) <平成27年4月> 歴史学の基礎 社会科概論※ 日本史概説 地域研究法(調査を含む) 社会科の指導法I(地理歴史)	専	教授	(71) <平成27年4月> 歴史学の基礎 日本史概説 地域研究法(調査を含む)
専	教授	(62) <平成27年4月> 考古学概論 考古学各論 考古学特殊講義 博物館概論 博物館実習※ 文化財概論 リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授	(62) <平成27年4月> Study Abroad E(その他の地域) 考古学概論 考古学各論 考古学特殊講義 博物館概論 博物館実習※ 文化財概論 リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授	(63) <平成27年4月> Study Abroad E(その他の地域) 福祉ボランティア活動I(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動II(社会貢献活動を含む) 地域減災論I※ 考古学概論 考古学各論 考古学特殊講義 博物館概論 博物館実習※ 文化財概論 リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授	(64) <平成27年4月> Study Abroad D(ヨーロッパ) Study Abroad E(その他の地域) 福祉ボランティア活動I(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動II(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動III(社会貢献活動を含む) 地域減災論I※ 考古学概論 考古学各論 考古学特殊講義 考古学実習 博物館概論 博物館実習※ リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIII(社会教育演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) 卒業論文	専	教授	(65) <平成27年4月> Study Abroad D(ヨーロッパ) 福祉ボランティア活動I(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動II(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動III(社会貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動IV(社会貢献活動を含む) 地域減災論I※ 考古学概論 考古学各論 考古学実習 博物館概論 博物館実習※ リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIII(社会教育演習I) リエゾンゼミIV(専門演習II) リエゾンゼミIV(社会教育演習II) 卒業論文
		(55) <平成27年4月> 歴史学の基礎 リエゾンゼミI(基礎演習)			(56) <平成27年4月> 歴史学の基礎 リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習)			(57) <平成27年4月> 歴史学の基礎 リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIII(社会教育演習I)			(58) <平成27年4月> 歴史学の基礎 リエゾンゼミI(基礎演習) リエゾンゼミII(専門基礎演習) リエゾンゼミIII(専門演習I) リエゾンゼミIII(社会教育演習I)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	政治学の基礎 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	政治学の基礎 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	アジア共同体に向けて※ 政治学の基礎 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	アジア共同体に向けて※ 政治学の基礎 社会科概論※ 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	アジア共同体に向けて※ 政治学の基礎 社会科概論※ 政治学原論(国際政治を含む) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
兼担	教授	(65) <平成27年10月> 芸術入門 西洋美術史 博物館実習※	(65) <平成27年10月> 芸術入門 西洋美術史 博物館実習※	(66) <平成27年10月> 芸術入門 西洋美術史 博物館実習※	(66) <平成27年10月> 芸術入門 西洋美術史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) 博物館実習※	(67) <平成27年10月> 芸術入門 西洋美術史 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文 博物館実習※
専	教授	(61) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	(61) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	(62) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	(63) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	(64) <平成27年4月> 生涯学習概論 教育社会学各論 教育社会学概論A 社会教育計画 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 社会教育課題研究 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文
				(58) <平成28年4月> 地理学の基礎 社会科概論※ 自然地理学 地誌 地理歴史科指導法※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 教育実習(中・高)の事前指導	(59) <平成28年4月> 地理学の基礎 社会科概論※ 自然地理学 地誌 地理歴史科指導法※ 社会科の指導法Ⅰ(地理歴史)※ 教育実践活動Ⅰ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(基礎演習Ⅰ) 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高)	(60) <平成28年4月> 地理学の基礎 社会科概論※ 自然地理学 地誌 地理歴史科指導法※ 社会科の指導法Ⅰ(地理歴史)※ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(基礎演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(基礎演習Ⅱ) 教職実践演習 教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) 卒業論文
				(62) <平成28年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) 特別支援教育の基礎	(63) <平成28年4月> リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) 特別支援教育の基礎 聴覚障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導	(64) <平成28年4月> 教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 特別支援教育の基礎 聴覚障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)									
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>								
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名									
					(37) <平成28年10月>	兼任	講師	図書館サービス概論			(38) <平成28年10月>	兼任	講師	学校図書館メディアの構成 図書館サービス概論 図書・図書館史 図書館情報資源特論			(39) <平成30年4月>	専任	准教授	リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習 情報資源組織論 情報資源組織演習 図書館サービス概論 図書・図書館史 図書館情報資源特論 図書館総合演習 図書館実習
		(57) <平成28年4月>			(57) <平成28年4月>	兼任	講師	算数科教材研究 算数科の指導法			(58) <平成28年4月>	専任	准教授	算数科教材研究 算数科の指導法 生徒指導・進路指導論B 教育実践活動Ⅰ 教育実践活動Ⅱ 教育実践活動Ⅲ			(59) <平成28年4月>	専任	准教授	算数科教材研究 算数科の指導法 生徒指導・進路指導論B 教育実践活動Ⅰ 教育実践活動Ⅱ 教育実践活動Ⅲ 教職実践演習
		算数科教材研究 算数科の指導法			算数科教材研究 算数科の指導法 教育実践活動Ⅰ 教育実践活動Ⅱ 教育実践活動Ⅲ			教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)			教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)			教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高) リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文						
		(47) <平成27年4月>			(48) <平成27年4月>	専任	准教授	文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習			(49) <平成27年4月>	専任	准教授	文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習			(50) <平成27年4月>	専任	准教授	文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習
		文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習			文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習			リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文			リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文			リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文						
		(47) <平成27年4月>			(47) <平成27年4月>	専任	准教授	文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習			(49) <平成27年4月>	専任	准教授	文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習			(50) <平成27年4月>	専任	准教授	文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習
		文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習			文化人類学 民俗学特殊講義 民俗学実習			リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文			リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文			リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 卒業論文						
		(61) <平成27年4月>			(62) <平成27年4月>	専任	准教授	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)			(63) <平成27年4月>	専任	准教授	教育実践活動Ⅲ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ)			(64) <平成27年4月>	専任	准教授	教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅤ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅥ(社会教育演習Ⅱ) 特別支援教育総論 知的障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 卒業論文
		リエゾンゼミⅠ(基礎演習)			リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)			知的障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導			知的障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導			特別支援教育総論 知的障害者教育論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 卒業論文						
		(48) <平成28年4月>			(48) <平成28年4月>	専任	准教授	特別支援教育の基礎 肢体不自由者教育論 リエゾンゼミⅠ(基礎演習)			(49) <平成28年4月>	専任	准教授	特別支援教育の基礎 肢体不自由者教育論 教育実践活動Ⅱ リエゾンゼミⅠ(基礎演習)			(50) <平成28年4月>	専任	准教授	特別支援教育の基礎 肢体不自由者教育論 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)
		特別支援教育の基礎 肢体不自由者教育論 リエゾンゼミⅠ(基礎演習)			特別支援教育の基礎 肢体不自由者教育論 教育実践活動Ⅱ リエゾンゼミⅠ(基礎演習)			リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)			特別支援教育の基礎 肢体不自由者教育論 教育実践活動Ⅱ リエゾンゼミⅠ(基礎演習)			特別支援教育の基礎 肢体不自由者教育論 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) キャンパスライフ入門 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	担当授業科目名
								リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) 身体不自由者の心理・生理・病理※ 重複障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導			リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 身体不自由者の心理・生理・病理※ 重複障害者教育総論 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 卒業論文				
					(41) <平成27年4月>			(42) <平成27年4月>			(43) <平成27年4月>			(44) <平成27年4月>	
			専	講師	倫理学入門 リエゾンゼミⅠ(基礎演習)			倫理学入門 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)			倫理学入門 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)			倫理学入門 リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ) 社会教育実習(野外活動実習等を含む) 日本文化史 日本思想史 卒業論文	
											(31) <平成29年4月>			(32) <平成29年4月>	
											特別支援教育の基礎 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論※ 特別支援教育実習の事前指導			特別支援教育の基礎 聴覚障害者の心理 言語障害者教育総論※ 特別支援教育実習の事前指導 特別支援教育実習の事前事後指導 特別支援教育実習 教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ	
											リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)			リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	
専	助教	(40) <平成29年4月>	専	助教	(40) <平成27年4月>	専	助教	(41) <平成27年4月>	専	助教	(42) <平成27年4月>	専	助教	(43) <平成27年4月>	
		博物館展示論 博物館実習※ 美術実習			リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 博物館展示論 博物館実習※ 美術実習			博物館展示論 博物館実習※ 美術実習			博物館展示論 美術実習			博物館展示論 博物館実習※ 美術実習	
専	助教	(36) <平成28年4月>	専	講師	(36) <平成27年4月>	専	講師	(37) <平成27年4月>	専	講師	(38) <平成27年4月>	専	講師	(39) <平成27年4月>	
		心理学概論			心理学の基礎 心理学概論			心理学の基礎 心理学概論 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)			心理学の基礎 心理学概論 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)			心理学の基礎 心理学概論 リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ) 卒業論文	

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

--

【平成28年度】

--

【平成29年度】

--

【平成30年度】

--

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
13 名	7 名

教育学部教育学科全体

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
8	1	3	3	15	12	8	2	1	23	12	8	2	1	23
(9)	(2)	(6)	(1)	(18)						[4]	[7]	[Δ 1]	[Δ 2]	[8]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{15} = \boxed{153.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{23} = \boxed{4.34} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授		選択	日本文化史	①	辞任（病気療養のため）（平成27年3月）(27)	
			選択	日本思想史	①		
			必修	エゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①		
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①		
			選択	卒業論文	①		
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

添付資料「別紙3） 就業規則（関連部分）」「別紙4）嘱託教授任用規定」を参照

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授		選択	図書館概論	①	H30年3.31付で、一身上の都合により辞任(30)
			選択	情報サービス論	①	
			選択	情報サービス演習	①	
			選択	図書館情報資源概論	②	
			選択	情報資源組織論	①	
			選択	情報資源組織演習	①	
			選択	図書館総合演習	①	
			選択	図書館実習	①	
			必修	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	①	
			必修	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	①	
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①	
			選択	リエゾンゼミⅢ(社会教育演習Ⅰ)	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	②	
			選択	リエゾンゼミⅣ(社会教育演習Ⅱ)	①	
			選択	卒業論文	①	
2	講師		選択	地理学の基礎	①	平成28年1月2日死亡のため辞任(28)
			選択	自然地理学	①	
			選択	地誌	①	
			選択	地域活性化マネジメント論※	②	
			選択	キャリアデザインⅠ	②	
			選択	インターンシップⅠ	②	
			選択	インターンシップⅡ	②	
			必修	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	①	

		必修	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	①				
		必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①				
		必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①				
		選択	卒業論文	①				
合計 (F)								
後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2 人	必修	8 科目	必修	7 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	19 科目	選択	14 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	27 科目	計	21 科目	計	6 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
3 人	必修	10 科目	必修	9 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	
	選択	22 科目	選択	17 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	32 科目	計	26 科目	計	6 科目	計	0 科目	

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{15} = \boxed{20} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

添付資料「別紙3 就業規則(関連部分)」 「嘱託教授任用規定」を参照

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授		選択	地理歴史科指導法	①	H29. 3. 31付け70歳で定年退職 (29)
			選択	教育実習 (中・高) の事前指導	①	
			選択	教育実習 (中・高) の事前事後指導	①	
			選択	教育実習 (中・高)	①	
			選択	教職実践演習	①	
			選択	考古学各論	①	
			選択	考古学実習	①	
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①	
2	教授		選択	古文書学概論	①	H28. 3. 31付け70歳で定年退職 (28)
			選択	古文書学各論	①	
			選択	古文書学実習	①	
			必修	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	①	
			必修	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	①	
			選択	卒業論文	①	
合計					後任補充状況の集計	

辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
5 人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	12	科目	選択	12	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：

辞任した教員が1名出たが、既に2名が担当していた科目の担当者を含めて専任教員を新規に採用している。したがって、教育課程の質の維持に支障はない(27)

死亡及び退職により辞任した2名の専任教員が担当(予定に)していた科目については、すべて他の専任教員または兼担教員が担当するため、提供する教育の質保証や学生の履修に関しては支障はない(28)

退職により辞任した専任教員が1名出たが、既に後任の専任教員を採用している。したがって、教育課程の質の維持に支障はない(29)

退職により辞任した専任教員が1名出たが、既に後任の専任教員を採用している、あるいは、他の専任教員、兼担教員が担当するため、すべての科目の質が担保されている。したがって、教育課程の質の維持に支障はない(30)

学生への周知方法：

年度当初から教務部の担当窓口掲示板にて退職教員について告知しているほか、大学ホームページに学科担当教員が公開されており、学生が科目履修や学習面で混乱が生じないように配慮している(27)

学生には、年度はじめのガイダンスおよび配布する便覧(抜き刷り)、さらにWeb上の学科サイトにて周知をする(28)

学生には、年度はじめのガイダンスおよび配布する便覧(抜き刷り)、さらにWeb上の学科サイトにて周知をする(29)

学生には、年度はじめのガイダンスおよび配布する便覧(抜き刷り)、さらにWeb上の学科サイトにて周知をする(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年 2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年 2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年 2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜教育学部 教育学科 中等教育専攻＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったものに該当する事柄はなし。	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究等の実施に関する対応として「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組」（FD：ファカルティ・ディベロップメント）を行っている。本学は平成13年4月1日にFD委員会を発足させ、定期的に全学FDセミナーを開催している。また、学科等FD委員会も発足させるとともに学科毎FDセミナーも開催している。テーマは単に授業内容の改善、方法、ICTの活用のみではなく、心理学、教育学、医学、福祉学、社会貢献などの分野による、倫理性、知的誠実性を含めた提言など、多岐にわたっている。高度な専門職としての大学教員は、研究などの専門性は求められているが、さらに、「多様な職業人の養成」「社会貢献」なども大学の重要なミッションだと考えている。そこで、本学では社会貢献に力を入れて取り組むとともに、教員の教育業績だけでなく社会貢献へのかかわりを積極的に評価している。

なお、本学における授業内容方法の改善を図るための組織的な取組としてのFD活動は、「FD委員会」がFDに関する施策の検討をし、教務部内に設置されている「教育開発支援室」がFDに関する施策の実施を行う実働機関に位置付けられている。（FD委員会規程及び学科等FD委員会規程は別添資料の別紙1、別紙2の通りである）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は、①大学の役職にある教員（若干名） ②FDに携わる教職員 ③各学科及び各研究科の長の推薦する教員 ④その他、必要と認められる者、から構成されている。そして、委員長は副学長とし、委員会の議長となる。現在（平成30年5月）は、計36名（教員30名、職員6名）の教職員が委員となっている。このような構成員及び出席者により、平成29年～平成30年4月末日において、平成29年3月23日及び5月24日、平成30年4月25日の計3回委員会を開催した。

また、学科等FD委員会は、各学科におけるFD活動を円滑に行うこと目的として、各学科長が必要に応じて設置し、学科長が責任をもって学科等FD委員会を運営することとされている。その構成員は、①全学のFD委員のうち学科に所属する教員、および②学科に所属する教員のうちから学科長が指名した者から成る。教育学科においては、各年度初めに学科FDの計画を立て、毎年計2～3回程度のFDセミナーを開催しており、大学院の教育学研究科等との合同開催も行っている。

c 委員会の審議事項等

FD委員会は、次に掲げる審議（業務）を行う。

- (1) 教育能力向上及び教育改善に資する教育プログラム又は教育システムの企画及び開発
- (2) 研修会の開催
- (3) 授業内容、方法の改善、向上
- (4) 教員間での教育能力向上及び教育改善に関する認識の共有
- (5) 教員の教育、研究、社会貢献、管理運営等に関する資質向上
- (6) 教員の教育能力向上及び教育改善のための調査並びに学習効果の把握等の実施の統括とその分析とその分析を踏まえた教育等の開発、改善及び向上
- (7) 教育業績評価委員会に審査された教員に対する教育能力の支援
- (8) FDの専門家の養成
- (9) 教育等の改善に関する連携支援
- (10) 教育情報分析に関する連携支援
- (11) 成績評価及び学修成果に関する連携支援
- (12) ICTの教育活用及びeラーニングに関する連携支援
- (13) 教育開発に関する連携支援
- (14) 教員個人の自己点検・評価と業績評価の項目検討に関する連携支援
- (15) アカデミック・ポートフォリオ（ティ칭ングを含む）に関する連携支援
- (16) 職員の職能開発及び資質向上に関する連携支援
- (17) 学科等が行う学修成果の把握・評価に対する連携支援
- (18) 感性福祉研究所との共同による教育能力向上の研究
- (19) 関連福祉施設との共同による教育能力向上の研究
- (20) IRセンターとの共同による教育能力向上の研究
- (21) その他、教育能力向上のために必要と認められる事項

また、学科等FD委員会は、学科長のもと、次に掲げる学科のFDに関する審議（業務）を行う。

- (1) FDセミナー
- (2) 授業参観（授業公開を含む）
- (3) 内部質保証を目的とした各種調査の実施及び学科会議での結果の報告等
- (4) 学修ポートフォリオお開発及び活用等
- (5) 学修成果の把握及び評価並びにその方法及び指標の開発等
- (6) FDの教育及び研究への活用等
- (7) FDの検証及び改善等
- (8) その他、学科のFDに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

FD委員会規程においては、上述したような審議事項等が定められており、FD活動に関して包括的な議論を進めているが、その都度、焦点を絞って議論と活動を行うことが教育効果に実効性があると考えられるため、具体的には、主に以下の事項を実施している。

- ・FDセミナー（全学、学科別研修会）の実施
- ・学生アンケート
- ・教員アンケート
- ・卒業生アンケート
- ・授業評価
- ・GPA
- ・追跡調査
- ・学修成果の把握
- ・中退防止の検証
- ・学内教員間相互授業参観・授業公開
- ・学外者の意見聴取
- ・学生からの意見聴取
- ・マイ授業ビデオ撮影（自己評価・相互評価）
- ・FDセミナー公開Q&A
- ・ベストティーチャー等
- ・志願者動向分析
- ・初年次教育の検証
- ・キャリア教育の検証
- ・学修成果の把握
- ・3つのポリシーに照らした取り組みの適切性の検証

b 実施方法

(1) FDセミナーの実施

全学的には、定期的なFDセミナーを企画し、実施している。FDセミナーはビデオ撮影して教職員に動画公開しており、欠席の教員も含め、全教員がFDセミナーに参加できる環境を整備している。同時に資料も公開している。FDセミナーは、大学院生にも参加を勧めており、プレFDを兼ねている。また、職員の参加も認めており、職員の資質向上にも役立っている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/plan.html>)

(2) 学生アンケート

本学では、各種学生アンケートを実施し、PDCA（Plan-Do-Check-Action）に基づく教育改善サイクルに役立っている。具体的には、「入学時アンケート」「学修活動アンケート」「学生生活アンケート」「進路・キャリアアンケート」「リエゾンゼミ教育効果アンケート」「卒業時アンケート」などを実施している。これらは、個人情報に配慮された形で集計・分析をした上で次年度の教育内容の改善に活かしている。なお、これらの結果については、ホームページ上に公開されている。

(http://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_student.html)

(3) 教員アンケート

本学では、各種教員アンケートを実施し、PDCA（Plan-Do-Check-Action）に基づく教育改善サイクルに役立っている。また、社会に貢献すると思われる分析と知見は公開している。具体的には、「教員間相互授業聴講・授業公開に関するアンケート」「FDに関するアンケート」「ICT等の教育活用に関するアンケート」「授業等に関するアンケート」を実施している。2016年度及び2017年度の結果が公表されている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_teacher.html)

(4) 卒業生アンケート

IRセンターとの共同で「卒業生アンケート」を実施している。アンケート内容としては、「在学中の経験と卒業後の関連」、「在学中の学内施設の利用と卒業後の関連」、「在学中の学び」、「回答者の調査時の大学へ対する思い」、「現在大切にしていること」などを大項目として、中項目、小項目を設け質問している。これらの結果に対しては、大学としてのコメントを付けて公開している。直近の調査としては、2015年度から2016年度の間東北福祉大学を卒業した通学の正科生に対して、ホームページ上調査への協力を呼びかけを行った上で、Googleのサービスを利用しインターネット上でアンケートの回答を募った。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_graduate.html)

(5) 授業評価

後掲の「③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況」において詳述するため、ここでは省略する。

(6) GPAの検証

本学では、GPAを活用し厳格な成績評価による質保証努めている。GPAの成績評価の分布および平均値について、社会的説明責任、教員間の成績評価基準の平準化とさらなる適正な成績評価、学生の成績の状況に応じた学習支援、学生自らの成績の相対的位置の把握と向上を目的としている。現在、2014年度～2016年度のGPAの分布を公開してい

る。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/gpa.html>)

(7) 追跡調査

本学は、入学者選抜方法ごとに入学後の成績や活動実績、留年・中退率、卒業後の進路等について調査を行い、入学者選抜方法の妥当性の検証を行っている。現在、2011年度～2014年度および2012年度～2015年度、2013年度～2016年度入学者の追跡調査の結果が表示されているが、教職員のみ公開に留めている。

(8) 学修成果の把握

本学は、学修前（1年次入学時）と学修後（4年次卒業時）の双方の時点において、学修ポートフォリオを用いて士力と専門性の修得について把握することで、本学における教育・学習の検証を行っている。本学教職員と学生のみが閲覧可能となっている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/grasp.html>)

(9) 中退防止の検証

本学は、中退の防止に積極的に取り組んできており、本学の中退率は、1年中退率、卒業までの中退率とも、私立大学の全国平均に比べて、非常に低い数字になっている。また、中退等の調査により中退防止の検証を行っており、中退防止の強化に努めている。現在、2011年度～2016年度中退等防止調査結果を公開している。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/dropout_prevention.html)

(10) 学内教員間相互授業参観・授業公開

本学における授業改善への取り組みの一環として、教員間での授業の相互聴講を実施している。授業設計のコツや展開の方法などテクニカルな要素と同時に、授業運営上の問題となっている事柄についての情報も共有し、解決策を見出すことで授業改善に役立っている。たとえば、教育学科では、土台となっている特別支援教育関連科目や「リエゾンゼミⅠ（基礎演習）」は学科教員の相互授業参観の場となっている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/attend.html>)

(11) 学外者の意見聴取

本学では、卒業生のみならず学外者からの意見聴取として、企業、地元産業界、業界別団体、地方自治体、専門職の職能団体等とともに、高校や高大連携関係団体等より意見を聴取し、入試や入学前教育、初年次教育の改善に役立っている。また、入学時アンケートにより、本学の学生募集広報活動や入試、入学前教育に対する評価・意見を聴取し、改善に役立っている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/company.html>)

(12) 学生からの意見聴取

本学では、各学科所属の学生より、意見を聴取し、授業や教育プログラムの改善に役立っている。平成28年度の学生意見聴取が本学ホームページ上で掲示されているが、現在は教職員のみ閲覧となっている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/hearing_student.html)

(13) マイ授業ビデオ撮影（自己評価・相互評価）

自らの授業をビデオ撮影して視聴することで、授業の自己評価をすることができるため、本学では授業の授業撮影をすることができる。同時に、教員間あるいは学科等FDで相互評価に活用することができる。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/video.html>)

(14) FDセミナー公開Q&A

学内のFDセミナー終了後にセミナー講師に対するご質問、またはFDセミナーに関するご質問をQ&Aとして受け付けている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/qa.html>)

(15) ベストティーチャー等

本学は、①教育の質に関して著しく優れた業績を挙げた者、②学生の成長又は学生の学修成果に関して著しく優れた業績を挙げた者、③教育の質の向上に関して著しく優れた業績を挙げた者、④教育の質の向上についての研究に関して著しく優れた業績を挙げた者をベストティーチャーとして表彰し、副賞を授与している。また、グッドティーチャーやグッドレクチャーも表彰している。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/best_teacher.html)

(16) 志願者動向分析

本学は、一般入試・推薦入試・AO入試の志願者動向の分析に取り組んでおり、これからの社会に求められる人材の育成を踏まえ、志願者のニーズに配慮した適切な学生募集と教育の質を保証する適正な定員管理に努めている。現在は2015～2017年度の分析結果が公開されている。

(https://www.tfu.ac.jp/fd/action/applicant_trend.html)

(17) 初年次教育の検証

本学では、1996年度より少人数クラスごとの1年生ゼミ「人間基礎論」を導入し、早くから初年次教育に取り組んできた。そして、士力やキャリア教育、高大接続の重視を受けて、2011年度より「リエゾンゼミ」（現在は「リエゾンゼミⅠ」）に改称し、大学生活への適応、汎用的スキルの修得、地域や社会とのつながり、専門へのつながり、キャリア形成を目的とした初年次教育に取り組んでいる。その教育効果の検証については、2011年度より学生アンケートを通して行っているが、よりきめこまかい検証として2015年度より学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）も併用し、改善・向上に取り組んでいる。2016年度の結果が公表されている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/liaison.html>)

(18) キャリア教育の検証

本学のキャリア教育では、自らかかわる（主体性）、自ら考える・気づく（課題発見能力など）、自らアクションを起こす（実行力）ことを目標にし、そのために「リエゾン型キャリア教育」を開発した。ここでは、「リエゾンゼミⅠ～Ⅳ」「キャンパスライフ入門」「キャリアデザイン」などの講義・演習科目を通して、1年次から4年次まで段階的・連続的に学びを深めるとともに、インターンシップや福祉ボランティア活動、キャリア支援講座などの実践的科目を通して学びを深める。また、就業力（卒業後、社会的・職業的自立を図るために必要な能力）を踏まえた学修ポートフォリオ

「キャリア形成判定」を開発し、活用している。その教育効果の検証については、2011年度より学生アンケートを通して行っていますが、よりきめこまかい検証として2016年度より学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）も併用している。現在、2016年度キャリア形成（就業力の達成度）の結果が公表されている。
(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/career.html>)

(19) 学修成果の把握

本学では、2013年に「学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）」を定め、学修成果の把握・評価に取り組んでいる。特に、「学士力」「卒業認定・学位授与の方針における学生が身に付けるべき資質・能力」「人間力」「社会力」を把握している。現在は、2016年度の結果が公開されている。
(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/assessment.html>)

(20) 3つのポリシーの検証

本学では、3つのポリシーの検証について、2015年度より全学的に学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）のデータを活用して行っており、その結果、入学者受入れの方針に合う学生が入学し、教育課程編成・実施の方針に基づいて学修に取り組み、学位授与の方針における学生が身に付けるべき資質・能力を高めていることが示されている。現在は、2017年度の結果が公開されている。
(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/3policy.html>)

(21) SD研修会の開催とFDとの連携

本学では職員を中心としてSD研修会を開催しているが、職員だけではなくテーマによってはFD研修会と連携をとりながら開催しており、教職員の情報の共有化を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD関連施策の実施状況は、上記「b 実施方法」で記した通りである。これらのなかで研修会（FDセミナー）の具体的な取り組みは、FD委員会で検討・実施されるが、学科FDセミナーは、各学科でのFD担当者が主体となって実施される。平成29年度の全学FDセミナー（研修会）は、以下のテーマにおいて実施された。参加状況については、各セミナー（研修会）につき80名から153名の参加を得て実施された。

4月19日（「営業秘密について」「コンプライアンス教育」：SD研修会との共催）、5月24日（「リエゾンゼミⅠ研修」「ブックリーディング」「レポート指導の仕方」）、6月21日（「リエゾンゼミⅠ研修」「プレゼンの指導の仕方」）、7月26日（「学生のメンタルヘルス」「障がい学生の理解と支援」）、9月20日（「アカデミックポートフォリオについて」）、10月11日（「新任教員等研修」「研究倫理について」）、11月29日（「キャリア形成支援について」「地域共創について」）、3月14日（「Edu Trackの活用法」「模擬授業（アクティブラーニングを含む）」）で各回約60名～130名の出席があった。

また、学科等FDセミナーは、大学院各研究科や通信教育部を含めて延べ33回開催された。そのうち、教育学科においては、本学科が力を入れているICTを活用した授業づくりのできる教員養成のために各教科の指導法等の講義の「タブレットPCを用いた授業方法について」（40台のタブレットを備えた専用教室において12月20日実施）、頭をフル回転させて相手と対話することの力を養うことを教員養成に入れる試みとしての「教師教育にインプロを！」（2月21日実施）、さらに、大学院教育学研究科との共催で「歴史学習・人物学習の陥穽」（12月20日）、「障害理解に向けた疑似体験の意義」（2月21日）を実施した。いずれも、参加を促すため学科会議後に行われ全専任教員の参加があった。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/plan.html>)

さらに、学内SD研修会は、以下の通り開催している。4月19日（「営業秘密について」「コンプライアンス教育」）、6月30日（「3ポリシーに基づく自己点検・評価と内部質保証」「大学教育改革」）、7月10日（「ハラスメント」「学生相談・支援の基礎」）、7月19日（「大学設置に係る関係法令と手続き」）、7月26日（「学生のメンタルヘルス」「障がい学生の理解と支援」）、8月22日～25日（「一般職向け研修：主体性発揮研修」）、8月29日・30日（「指導監督職向け研修：目標管理研修」）、9月27日（「大学のグローバル化を考えるー多様性と共に生きる」）、1月26日（「よくわかる有給休暇」）であり、そのうち4月19日と7月26日はFD研修会との共同開催で有り、教職員一体となって情報共有化に努めた。参加者数は30名～112名であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各種FD活動及びSD活動との連携に関する有効性については、毎年、年度末に教員を対象にFDに関するアンケート調査を実施しその有効性を検証及び改善に努めている。その結果、回答者のうち、全学FDが教育力向上に「かなり役立った」が約3割、「少し役立った」が約6割であった。また、FDサイトについては約9割が閲覧し、情報共有に「かなり役立った」が約3割、「少し役立った」が約5割であった。この結果から、FDが教員の教育に関する資質向上に有効であったことが示された。

また、年度初めに活動計画を立案し、前期終了時に進捗状況を確認し、PDCAサイクルによるFD活動に取り組んでいる。FD委員会の議事録、当該年度の目標と進捗状況、活動報告、FDアンケートの結果は教職員に公開し、FD委員会のFD活動が有効に機能しているかどうかを教職員が確認できるようにしている。さらに、教員の教育研究活動及び社会的な活動等については「教育・研究業績書」としてまとめ、大学ホームページにおいて公表している。

なお、大学としての各教員の教育力評価、研究活動評価、社会貢献や管理業務に関わる評価については、部長学科長会議を構成する者を中心とする「教育業績評価委員会」が設置されており、各種の評価を行っている。

さらに、個別的取り組みとして、リエゾンゼミⅠ（1年次開講科目：全学必修）の教育効果については、入学時（リエゾンゼミⅡは2年次進級時）と比した学士力到達度・専門性・意欲の伸びを学科別に集計・分析され、このアンケート結果に基づき学科会議において授業改善の議論がなされ、次年度のシラバス作成に活かされている。また、卒業時アンケートにおいても、同様に4年間を通して、学士力到達度・専門性・意欲の伸びが学科別に集計され、学科の教育課程のあり方を再検討する際の参考資料となっている。これらの結果について、コメントを付けて公開している。そして、学生アンケートにおいては、それら内容を学科会議において共有するとともに、改善策等を議論している。

次に、入学時アンケートについては、「大学・学科志望順位」「入学後の学業に対する不安」「入学後の生活面での不安」「学内での相談相手」「卒業後の希望進路をと問うことによって、新入生への授業方法や学生相談の方針の改善にも活かしている。

授業評価アンケートについては、下記の③「a 実施の有無及び実施期間」及び「b 教員や学生への公開状況、方法等」に記載した通り、その結果を「授業レベル」（ミクロ）での改善の取り組み、「学科等レベル」（メゾ）及び「全学レベル」（マクロ）での組織的な教育力向上の取り組みへ結びつけている。2016年度後期分に関してみると、①シラバスを学修について見通すために活用する工夫をする。②学習内容・方法について、意欲的、主体的に取り組ませる（アクティブ・ラーニング）ための工夫をする。③「授業後の感想（コメントペーパー等）」や「オフィスアワー」などを活用

し、質問に対するフィードバックを授業中やEduTrackなどで積極的に行う、などが共通の課題としておげられ、共有化が図られた。さらに、教育学科所属教員が実施している授業は受講の95%が「満足」「ほぼ満足」しているが、授業外の時間を使って主体的に調べたり復習する時間をうまく作ることができない受講生もいることがわかり、改善の努力が必要と認識された。

なお、本学の中途退学率は比較的低位に推移しているとはいえ、毎年ある程度の中途退学者を出している現状に鑑み、教務部、キャリアセンター、学生生活支援センター、入学センター、ウエルネス支援室等関係部署からなる委員会を立ち上げて、継続的に対策を検討を行っている。現在、本学での中退率は1.5%前後であり、教育学科においては、これまでに20名程度の中退者にとどまっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では授業評価を行い、結果を集計・分析するとともに担当教員および受講学生にフィードバックしている。

具体的には、授業評価の方法は以下の通りである。

- ・実施学部・学科＝全学部・全研究科において実施する。
- ・実施授業科目＝原則として全授業について実施する。
- ・実施回数・時期＝学期ごとに1回、11回目から15回目に実施する。
- ・配付・回収＝WEB方式（UNIPA）で、無記名で実施する。
- ・評価項目＝共通項目と科目群項目、学科オリジナル項目により構成する。共通項目は、授業改善目的の3つの側面と教員・学生の関わりに基づき、基本属性、受講学生の取り組み方、教員の取り組み方（授業姿勢、授業スキルなど）、授業を受けた結果（学修成果など）、良かった点と改善して欲しい点・要望より構成される。
- ・結果のフィードバック＝授業ごとの結果について、回答期間終了後に、受講学生（回答者）と担当教員にフィードバックする。
- ・実施結果の公表及び授業レベルでの改善の取り組み＝下記の「b 教員や学生への公開状況、方法等」にて記載するためにここでは省略する。
- ・学科レベルでの組織的な教育向上の取り組み＝授業評価の高い教育マインドや授業スキルについて、学科等FDを通じて共有することになる。授業評価の低い教員は、学科長等の助言・指導を受け、「授業における向上・改善・開発（PDCA）」に取り組むことになる。
- ・全学レベルでの組織的な教育向上の取り組み＝授業評価優れて高い教員は、ベストティーチャーとして表彰され、全学FDにおいて模擬講義等を行うなど優れた教育マインドや授業スキルについてFD等で共有することになる。
- ・授業評価のPDCA＝教員アンケートにより、授業評価についての評価と要望を把握して、授業評価の改善に努めることも重要な取り組みと考えている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果は、年に1度、ホームページ上で全学、総合基礎教育課程・学科・研究科専攻等ごとの基幹的科目の集計結果及び個々の結果について公開することになる。担当教員は、授業評価の結果に基づいて、次年度の授業の改善に取り組む。担当教員は、改善について「授業における向上・改善・開発（PDCA）」に記入し、回答期間終了後1か月以内に受講学生に公開される。同時に、次年度の授業の受講学生にも公開されることになっている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学部教育学科は、「学ぶ喜び」「考える楽しさ」を伝える専門職を育成することを目的としている。そのためには、乳幼児児童生徒一人ひとりの発達特性を理解し、通常学級や特別支援学校においてさまざまな教育的ニーズを必要とする子どもたちの保育・教育、支援において生じるさまざまな課題の解決に向け多角的・科学的にアプローチするという専門性の高い理論と実践力を身につける必要がある。そのことによって実践的指導力とコーディネート力を持つ保育・教育現場の中核となり、同僚・専門機関さらには大学等の教育研究者と協働し、新たな保育・教育法の開発に寄与し、共生社会に貢献できる専門性の高い保育士・教員の養成をするという趣旨・目的によって設置された。

開設1年目の初年次では、「リエゾンゼミ（基礎演習）」というアクティブラーニングによる「大学での学び方」や仲間づくりや学修活動の中での対話の基礎となる「コミュニケーション能力」の育成、専門教育の土台となる「汎用的スキル」の学修、さらに1年次からの「キャリアサポート」が本格的に始まった。新入生アンケートにおいても「リエゾンゼミⅠ」の学修に対する満足度が非常に高く、特に「コミュニケーション能力」が伸びたと感じた学生が多くいたという結果になった。

開設2年目にあたる平成28年度は、中等教育専攻でも、今年度より特別支援教育学校一種免許状認定課程を設置することが認可され（平成27年12月）、中・高等学校の社会科や社会教育関連だけでなく、共生社会の構築に貢献できる高い専門性の基本的な理論と実践力を身につけた教員養成が可能となった点は特筆すべきことである。中等教育専攻学生の半数以上は特支免許状取得を希望しており、初等教育専攻と合わせて、本学が今まで力を入れてきた、教育の原点ともいわれる特別支援教育からの学びを土台にした教育者という専門職の育成に、学科全体が一丸となって取り組めることとなった。そのため、特別支援学校教諭の基礎免許状となる中学校社会及び高等学校地理歴史・公民といった高い専門性を要する通年科目（4単位）の各種概説・概論等との学習が両立するようリエゾンゼミⅡ（専門基礎演習）担当教員等が中心となって支援をしてきた。こうした学びが2年次のリエゾンゼミⅡ（専門基礎演習）の担当教員の専門性を活かし、学生自身の自律した問題解決学修による学びと融合し、相乗的な教育効果が目指されてきた。すべての科目が順当に実施されるようにさらに努めていきたい。学修生活アンケートでも「専門教科の学びが深められた」「先輩の話を聞いて自分を見つめ直すことができた」など、保育内容研究や各教科の指導法やリエゾンゼミⅡなどの授業の内容に手応えを感じている学生やサークル・ボランティア活動で学科や学年を超えたさまざまな人と交流し、まさに人間力を育てていると判断できる。

開設3年目の平成29年度は、4年次に特別支援学校教諭免許状を取得希望する学生の中、高等学校実習の事前・事後指導を年度当初から開始した。さらに、高等学校の地理歴史公民科といった専門性の高い教科の指導法、さらに「障害児の学習支援」という本学科の必修の科目も含めた特別支援教育関連科目も本格的に開講され、本学科の特色として謳ってきた専門性の高い教科学習や特別支援教育に関する学修が、1、2年の学びを土台に展開されてきた。なお、もう一つの本学科の特色である学校インターンシップにあたる教育実践活動Ⅰ、Ⅱ、Ⅲという科目の履修者も250名を超え、小、中、特支の教育実習の事前体験学修や教育実習後の発展学修として学生に活用され、実習との連携がスムーズであることについて多くの現場で好評価を得ていることにも手応えを感じている。なお、後期からではあったが、ICTを活用した授業力養成のため40台のタブレットや移動式ディスプレイを備えた「マルチメディア教室」が整備され、各教科指導法の授業やゼミナールにおける模擬授業の実践的学修に活用可能となった。

中等教育専攻では、社会科や特別支援教育の教員だけを目指すのではなく、社会教育学科時代に培った社会教育関連の就職先も視野に入れて将来を考えてほしいとの考えから、社会教育関連資格（社会教育主事、博物館学芸員、図書館司書、等）の合同説明会を9月に行い、大いに学生の興味・関心を引き付けた。

さらに、中等教育専攻の専任教員が担当している「リエゾンゼミⅡ～Ⅳ」や「社会教育演習Ⅰ、Ⅱ」の中には、長期休暇を利用して、さまざまな社会教育施設に加えて地理、歴史、文化、地域の中の暮らし等の観点から名所、遺跡、遺産となっている場所にフィールドワークに行き、それぞれの担当教員の専門性を生かして、“人間が生きてきた自然、暮らししてきた地域、そして作ってきた歴史や文化や思想”という視点から、座学で学んだそれぞれの学問分野に「人間とはなにか」という考えと関連づけられた“生きた学問”を学修する工夫をしてきた。

また、中・高等学校の教員採用試験対策についても、来年度を見据え、夏季休業後半から面接、集団討論、一般教養や専門教養等の対策講座が本格的に始動した。12月には教育実習の事前指導の中で外部講師（現場教員）を招いて「模擬授業」を行い、各自のスタートラインとしての自分について「足りないところ」「どう改善すればいいか」といった実践的かつ客観的な意見交換をする場をすでに取り入れてきた。年度末の春期休業には、各自自治体別の教職教養、教科専門教養、小論文の対策講座も開講された。

以上のように、来る採用試験や就職試験でこれまでの3年間の授業の成果をいかに発揮できるよう、学生たちの“自分の生き方を自分で選択する”という意識改革をする体制づくりを確実に進めてきたと考えている。

開設4年目の平成30年度は、中・高等学校や特別支援学校への実習の事前・事後指導が年度開始と同時に本格始動した。さらに、昨年度から始まっていた教員採用試験対策についても、一部のゼミナールや学生グループは、ラーニングコモンズやマルチメディア教室などをうまく使い、模擬授業や集団討論の実施や振り返りなど、自己研鑽を積むことを目指した自主的な集まりを組織し取り組んでいる。

（なお、教育学科の「学び」の様子は、<https://www.tfu.ac.jp/education/fe/index.html>にて随時「教育学科のお知らせ」の最新トピックスとして更新されている。このコーナーも含めて教育学科のサイトについて、これから入学する大学を決めようとする高校生、関係者等の閲覧数が、本学HPの中でも突出して高いことも付け加えたい）。

なお、本学科への志願者数は、学科単独では毎年のべ2,000名に迫る高い割合で維持されている。高校生のニーズをとらえた広報を行えているという手応えと同時に、「人づくりのための人づくり」という責任感を改めて感じている。これまでも増して今後も入試広報（大学ホームページ（スマートフォン対応を含めて）や高等学校への学校訪問、個別説明会、等）や高等学校の模擬授業などを通じて、高校3年生だけでなく1、2年生への情報発信を積極的に行い、教育学部教育学科の設置の目的や意義、さらに教育課程の特色について直接体験をするオープンキャンパスに数多く足を運んでもらい、志願者数の拡大・維持に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年6月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年6月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

本学は、2016年度に学校教育法に定める認証評価について文部科学大臣の認証を受けた（財）大学基準協会による大学評価（認証評価）を受け、評価の結果「大学基準に適合している」と認定された。認定機関は2017年4月から2024年3月31日までである。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

（ 2018年 10月 1日 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

○FD委員会規程

(設置)

第1条 本学に、FD (Faculty Development) 委員会 (以下「委員会」という。) を置く。

(目的)

第2条 委員会は、教員の教育能力等の資質向上を組織的かつ多面的に支援することを目的とする。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 大学の役職にある教職員 (若干名)
- (2) FDに携わる教職員
- (3) 各学科及び各研究科専攻の長の推薦する教員
- (4) その他、必要と認められる者

2 前項第3号の教員は、原則として教授又は准教授とする。

3 前2項の委員は、部長学科長会議を経て、学長が委嘱する。

4 その他必要あるときは、別に関係者をオブザーバーとして出席させることができる。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員長は、副学長とし、議長となる。

(任期)

第5条 第3条第1項第3号及び第4号に掲げる委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(業務)

第6条 委員会は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 教育能力向上及び教育改善に資する教育プログラム又は教育システムの企画及び開発
- (2) 研修会の開催
- (3) 授業内容・方法の改善及び向上
- (4) 教員間での教育能力向上及び教育改善に関する認識の共有

- (5) 教員の教育、研究、社会貢献、大学運営等に関する資質向上
- (6) 教員の教育能力向上、教育改善のための調査並びに検証及び学修成果の把握等の実施の統括とその分析を踏まえた教育等の開発、改善及び向上
- (7) 教育業績評価委員会に審査された教員に対する教育能力の支援
- (8) FDの専門家の養成
- (9) 教育等の改善に関する連携支援
- (10) 教育情報分析に関する連携支援
- (11) 成績評価に関する連携支援
- (12) ICTの教育活用及びeラーニングに関する連携支援
- (13) 教育開発に関する連携支援
- (14) 教員個人の自己点検・評価に関する連携支援
- (15) アカデミック・ポートフォリオ（ティーチング・ポートフォリオを含む）に関する連携支援
- (16) 職員の職能開発及び資質向上に関する連携支援
- (17) 感性福祉研究所との共同による教育能力向上の研究
- (18) 関連福祉施設との共同による教育能力向上の研究
- (19) IRセンターとの共同による教育能力向上の研究
- (20) その他、教育能力等の資質向上のために必要と認められる事項
(活動の評価)

第7条 委員会の活動は、大学の自己評価として報告書に掲載する。

(小委員会・専門委員会)

第8条 委員会において必要あるときは、小委員会・専門委員会を設けることができる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教務部教務課が行う。

(補則)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

- 1 この規程は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成18年9月1日から一部改正施行する。

- 3 この規程は、平成22年4月1日から一部改正施行する。
- 4 この規程は、平成27年4月1日から一部改正施行する。
- 5 この規程は、平成28年4月1日から一部改正施行する。
- 6 この規程は、平成28年10月1日から一部改正施行する。
- 7 この規程は、平成29年4月1日から一部改正施行する。

○学科等FD委員会規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、「学科会議規程」第8条の規定に基づき設置する学科等FD委員会の運営に関する事項を定める。

(設置等)

第2条 学科等FD委員会は、各学科におけるFD活動を円滑に行うことを目的として、各学科長が必要に応じて設置し、学科長が責任をもって運営する。

(構成員)

第3条 学科等FD委員会は、次に掲げる教員をもって構成する。

- (1) FD委員のうち、学科に所属する教員
- (2) 学科に所属する教員のうちから、学科長が学科等FD委員として指名した者

(業 務)

第4条 学科等FD委員会は、学科長のもと、次に掲げる学科のFDに関する業務を行う。

- (1) FDセミナー
- (2) 授業参観(授業公開を含む)
- (3) 内部質保証を目的とした各種調査の実施及び学科会議での結果の報告等
- (4) 学修ポートフォリオの開発及び活用等
- (5) 学修成果の把握及び評価等並びにその方法及び指標の開発等
- (6) FDの教育及び研究への活用等
- (7) FDの検証及び改善等
- (8) その他、学科のFDに関する事項

(同一学部内での連携・協力)

第5条 同じ学部内の学科等FD委員会は、必要に応じて連携及び協力を行う。

(研究科専攻との連携・協力)

第6条 学科等FD委員会は、必要に応じて学科と接続する大学院研究科専攻と連携及び協力を行う。

附 則

第2編 (学科等FD委員会規程)

- 1 この規程は、平成28年10月1日から施行する。

週間以内に学長等に対して意義の申し立てをすることができる。

第10章 休職及び退職

第1節 休 職

(休職の理由)

第71条 次の各号の一に該当する教職員は、一定期間に限り休職とすることができる。

- (1) 業務外の傷病により引続き6ヵ月以上欠勤したとき。
- (2) やむを得ない理由により引続き1ヵ月以上欠勤したとき。
- (3) 公職に就任し、学園の正常な業務に従事できないとき。
- (4) その他必要と認められるとき。

2 教員が国外及び国内留学したときは、休職として扱わない。ただし、その留学の期間が1年を超えるときは、休職とする。

(休職の期間)

第72条 休職の期間は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 前条第1項第1号の場合は、1年。ただし、本人の勤続年数、勤務年数によって延長することがある。
- (2) 前条第1項第2号の場合は、3ヵ月
- (3) 前条第1項第3号及び第4号の場合は、その都度決定する期間
- (4) 前条第2項の場合は、1年を超えて留学を承認された期間

(休職中の給与)

第73条 休職中の教職員の給与は、次の各号に掲げる期間に応じ、当該各号に掲げる額を支給する。

- (1) 休職期間が3ヵ月に及ぶまで 基本給の全額
- (2) 休職期間が3ヵ月を超え6ヵ月に及ぶまで 基本給の3分の2
- (3) 休職期間が6ヵ月を超え1年に及ぶまで 基本給の2分の1
- (4) 休職期間が1年を超え2年に及ぶまで 基本給の3分の1

第2節 退 職

(定 年)

第74条 教職員の定年は、次に掲げるとおりとする。(昭和57年から適用)

- (1) 教員、医師 満70歳
- (2) 前号以外の職員 満65歳

2 定年による退職日は、定年に達した日以後における最初の3月31日までの日とす

る。

(退職)

第75条 教職員は、次の各号のいずれかに該当するときは、教職員としての身分を失う。(以下「退職」という。)

- (1) 自己都合により退職を申し出て承認されたとき。
- (2) 死亡したとき。
- (3) 雇用期間のある場合において、その期間が満了したとき。
- (4) 第71条第1項第1号及び第2号の理由により休職期間が満了したとき。
- (5) 第71条第1項第4号の理由により休職期間が満了したとき。
- (6) 前条の規定により定年に達したとき。

2 前項の規定にかかわらず、前項第3号、第5号及び第6条の規定により退職することとなる場合において、学長が業務上特に必要と認めるときは、引続いて勤務させることがある。ただし、学長が定める引続いて勤務させる期間は当該教職員の定年退職日又は期間満了日(有期労働契約を締結した教員・医師の70歳到達日、有期労働契約を締結した職員の65歳到達日以後における最初の3月31日)の翌日から起算して原則3年を超えることはない。

(自己都合による退職手続)

第76条 教職員は、自己都合により退職しようとするときは、退職を予定する日の30日前までに、学長等に退職願を提出しなければならない。

2 教職員は、退職願を提出した後においても、退職予定日までは、引き続き職務に従事しなければならない。ただし、退職願を提出し30日を経過したときは、この限りではない。

(退職時の事務引継)

第77条 教職員は、第75条第1項第1号、第3号及び第6号により退職するときは、次に掲げる事項を記述した事務引継書を作成し、関係書類及び物品等を添え、後任者又は直属の上司に引き継ぐとともに、その内容について所属長を経て学長等に報告しなければならない。

- (1) 担当していた業務の内容
- (2) 担当業務の未処理及び懸案事項と処理方針
- (3) 担当業務等に対する意見
- (4) その他必要事項

○嘱託教授任用規程

- 第1条** 本学は、学部、大学院の教育研究のため必要あるときは、就業規則第75条第2項の規定にかかわらず、教授を特別に任用することができる。
- 2 前項による教授を嘱託教授と称する。ただし、前項による教授は、教育研究に熱意があり健康な者でなければならない。
- 3 嘱託教授の員数については、学部、大学院の年間授業計画に基づき、前年度末までに決定する。
- 第2条** 嘱託教授の任免は、就業規則第7条の規定にかかわらず学長が行う。
- 第3条** 嘱託教授は、専ら教育研究に従事し、職制による役職に、原則として、就くことはない。
- 2 嘱託教授の責任担当時間数は、原則として、週3コマ6時間以上とし、2日間以上の出勤を必要とする。
- 第4条** 嘱託教授は、教授会に出席することはない。
- 第5条** 嘱託教授の任期は、1ヶ年とする。
- 2 嘱託教授の任用については、75才を限度とする。
- 第6条** 嘱託教授の給与については、給与規程の内規に、別に定める。
- 第7条** 嘱託教授は、本学園の教育機関としての社会的使命を自覚し、誠実かつ公正に委嘱職務を遂行するとともに、委嘱職務に従事すべき時間においては、これに専念しなければならない。
- 第8条** 嘱託教授は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。嘱託教授の委嘱の終了後も同様とする。
- 第9条** 嘱託教授は、人権侵害及びハラスメントの防止に努めなければならない。
- 2 嘱託教授のハラスメント等の防止に関し必要な事項は、東北福祉大学ハラスメント防止等に関する規程によるものとする。
- 第10条** 本学園は、嘱託教授の安全及び衛生の確保に努めなければならない。
- 2 嘱託教授は、安全、衛生及び健康確保に努めるとともに、本学園が行う安全及び衛生に関する措置に協力しなければならない。
- 第11条** この規程の改廃は、部長学科長会議の意見を聴いて、学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、昭和54年12月1日から施行する。
- 2 昭和52年4月1日施行の特任教授任用規程は、昭和55年度を以って廃止する。
- 3 この規程は、平成27年4月1日から一部改正施行する。
- 4 この規程は、平成29年10月18日から一部改正施行する。